

**船員保険事業(健康づくりの支援)
に関するアンケート調査結果
(船舶所有者調査)**

平成28年(2016年)1月
全国健康保険協会 船員保険部

目 次

第1章 調査の概要	3
(1) 調査の目的	3
(2) 調査の設計	3
(3) 調査の項目	3
(4) 回収状況と回答者の属性	3
(5) 報告書を読む際の留意点	4
第2章 調査結果の分析	7
(1) 船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」の周知度	7
(2) 「生活習慣病予防健診」を知ったきっかけ	8
(3) 自社（船）の船員の生活習慣病予防健診の受診状況	9
(4) 「生活習慣病予防健診」の満足度	12
(5) 「生活習慣病予防健診」に満足している理由	13
(6) 「生活習慣病予防健診」に不満な理由	14
(7) 「生活習慣病予防健診」の案内パンフレット・受診券の受け取り状況	15
(8) 「生活習慣病予防健診」の案内パンフレット・受診券の配付状況	16
(9) 「生活習慣病予防健診」の案内パンフレット・受診券を配付しなかった理由	18
(10) 船員保険が「生活習慣病予防健診」費用の一部を負担していることの周知度	19
(11) 船員手帳を持参した場合、健康証明が受けられる医療機関があることの周知度	21
(12) 船員手帳の「健康証明書」欄の写しについての提供依頼の周知度	24
(13) 船員手帳の「健康証明書」欄の写しを提供することが難しい最も大きな理由	27
(14) 船員に対する健診受診の推奨状況	28
(15) 「巡回健診」の周知度	29
(16) 「特定保健指導」無料提供の周知度	31
(17) 「特定保健指導」の満足度	34
(18) 「特定保健指導」に満足している理由	35
(19) 「特定保健指導」に不満な理由	36
(20) 「特定保健指導」の利用者が少ない最も大きな理由	37
(21) 「特定保健指導」サービスの利用意向	39
(22) 無料の「出前健康講座」の周知度	40
(23) 「出前健康講座」を知ったきっかけ	42
(24) 申し込んでみたい無料の「出前健康講座」のテーマ	43
(25) 会社（船）における「船員の健康」に対する意識	46
(26) 船員の健康づくりの取り組み状況	49
(27) 船員の健康づくりに関する具体的な取り組みの内容	53
(28) 船員の健康づくりについて取り組まれていない理由	56
(29) 船員が抱えている健康上の課題	57
(30) 健康の保持・増進を図る上での生活習慣上の課題	59
(31) 船員の健康づくりを進めるうえで、船員保険からの必要な支援	63
(32) 船員の喫煙状況	67
(33) 船内における分煙への取り組み状況	70
(34) 船内における禁煙運動への取り組み状況	75
第3章 意見・要望（自由回答）	81
(1) 健康づくりに関する意見・要望（自由回答）	81
第4章 調査票	87

第 1 章 調査の概要

(1) 調査の目的

船員保険において実施している健診事業等の保健事業に対する船舶所有者の意識やニーズ、さらには、船員の生活習慣や船員労働に特有の健康上の課題等を把握し、健診の受診率の向上等に向けて、保健事業をより効果的かつ効率的に実施する上での課題等を明らかにすることを目的として実施した。

(2) 調査の設計

- ・調査対象：船舶所有者
- ・調査対象数：4,158
- ・調査方法：郵送による配布・回収
- ・調査期間：平成27年11月4日～12月4日
- ・調査機関：株式会社サーベイリサーチセンター

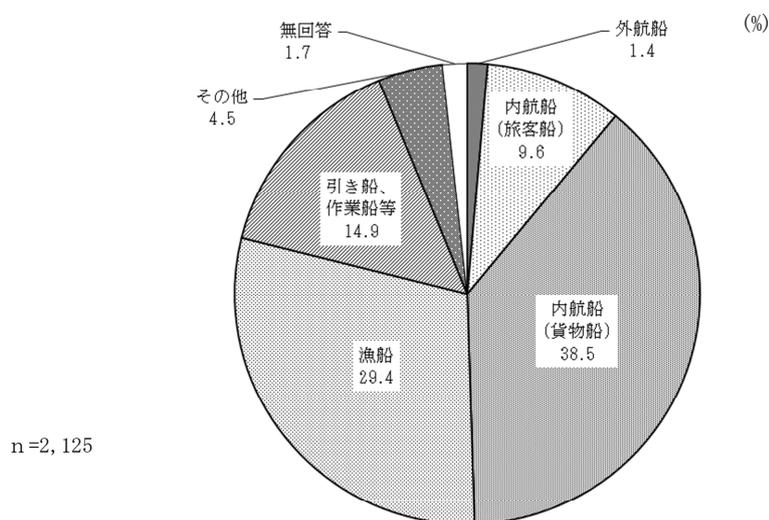
(3) 調査の項目

- ①「生活習慣病予防健診」について
- ②「巡回健診」について
- ③「特定保健指導」について
- ④「出前健康講座」について
- ⑤ 船員の健康づくりの取り組み状況について
- ⑥ 禁煙・分煙への取り組み状況について
- ⑦ 自由回答
- ⑧ 船舶所有者の概要について

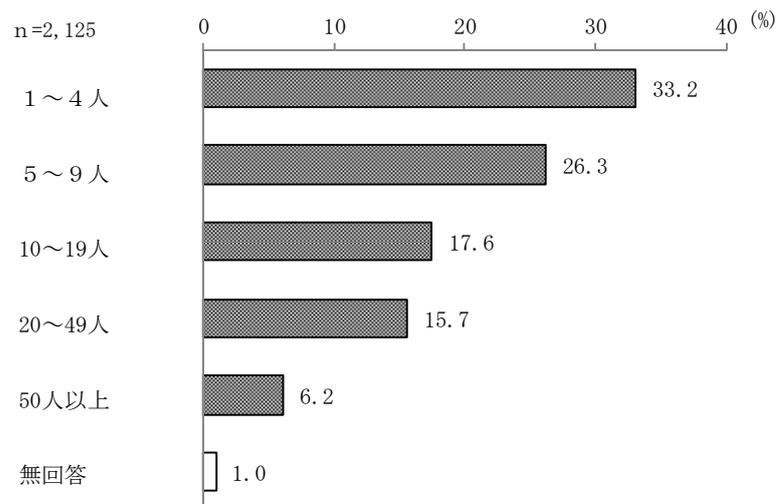
(4) 回収状況と回答者の属性

調査対象数	有効回収数	回収率
4,158	2,125	51.1%

●所有船の事業内容



●被保険者数



(5) 報告書を読む際の留意点

- 図表中の「n」とは、その質問への回答者数を表す。
- 調査結果の比率は、その質問の回答者数を基数（100.0%）として、小数点第2位を四捨五入して算出している。なお、四捨五入の関係で合計が100%にならない場合がある。
- 図表中、回答のなかった選択肢は「-」として表記している。なお、帯グラフについては、グラフの見やすさの点から、「-」を表記していない場合がある。
- 複数回答形式の場合、回答比率の合計は通常100%を超える。
- クロス集計とは、異なる質問をクロス（例：所有船の事業内容別「特定保健指導」無料提供の周知度）して集計している。
- クロス集計の表側では、表側とした質問の「無回答」は表示していないため、各回答選択肢の回答者数の合計が全体の回答者数と一致しない。
- 回答選択肢の語句が長い場合、本文や表・グラフ中では省略した表現を用いていることがある。
- 問36(所有している船舶の事業内容)については、選択肢「引き船、作業船等」を新設した。

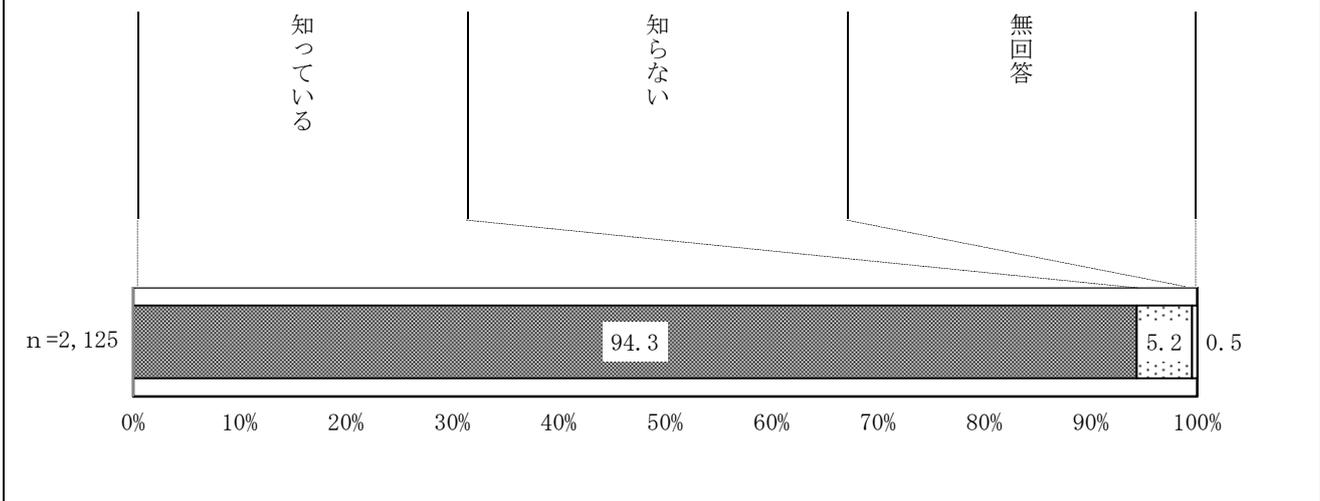
—— 第2章 調査結果の分析 ——

(1) 船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」の周知度

◆周知度は94.3%

問1. あなたは、船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」をご存じですか。(○は1つだけ)

図表2-1 「生活習慣病予防健診」の周知度



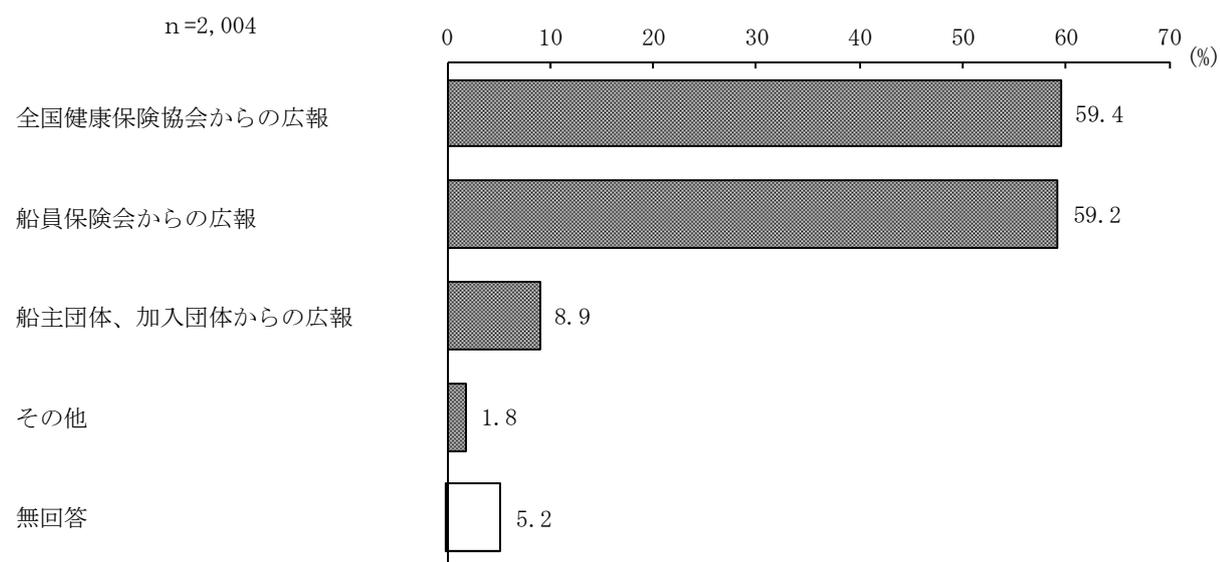
船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」を「知っている」は、94.3%で周知度は極めて高くなっている。(図表2-1)

(2) 「生活習慣病予防健診」を知ったきっかけ

◆「全国健康保険協会からの広報」、「船員保険会からの広報」で約6割

問2. この健診をどこでお知りになりましたか。(〇はいくつでも)

図表2-2 「生活習慣病予防健診」を知ったきっかけ



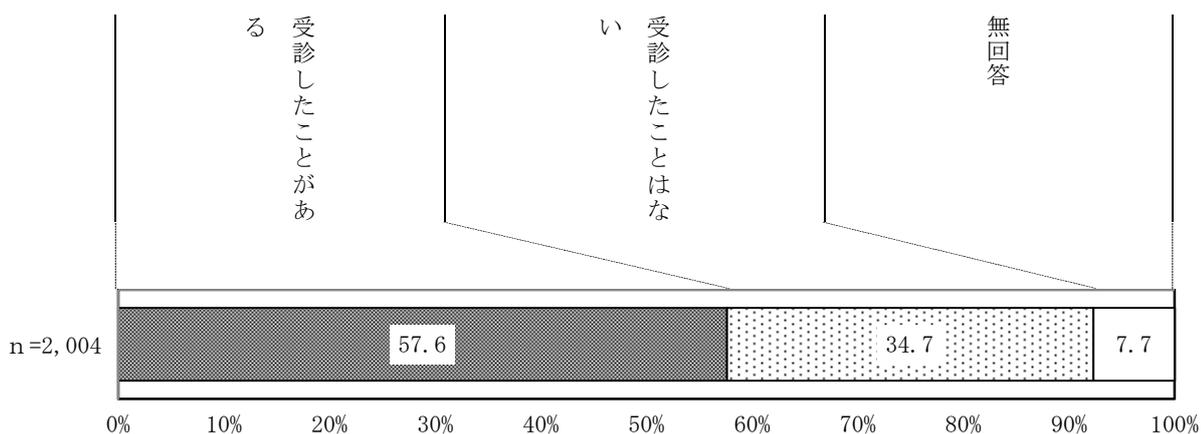
船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」を知ったきっかけは、「全国健康保険協会からの広報」(59.4%)、「船員保険会からの広報」(59.2%)がいずれも約6割で多くなっている。(図表2-2)

(3) 自社（船）の船員の生活習慣病予防健診の受診状況

◆受診率は6割弱

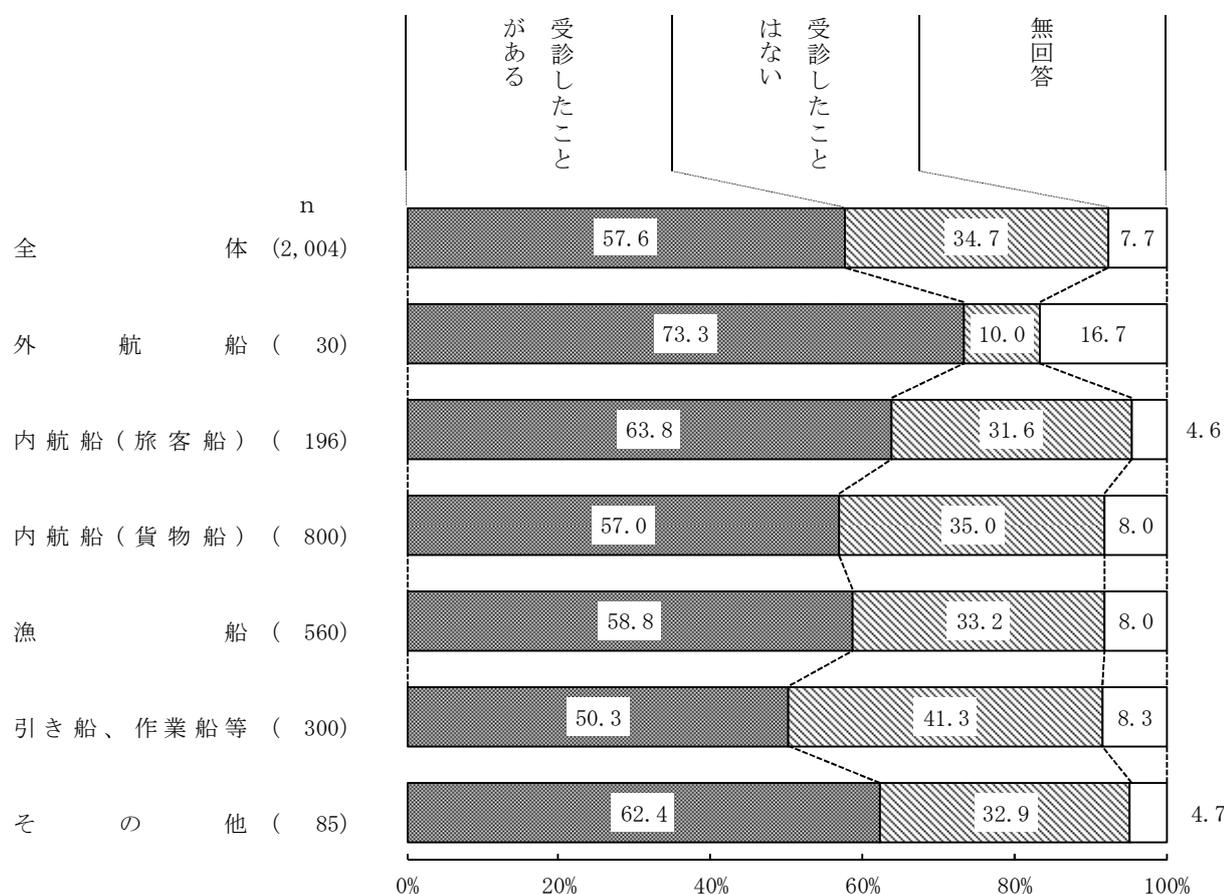
問 3. これまでに、自社（船）の船員が生活習慣病予防健診を受診したことがありますか。（○は1つだけ）

図表 2-3 自社（船）の船員の生活習慣病予防健診の受診状況



船員保険が実施している生活習慣病予防健診について「受診したことがある」は57.6%で受診率は6割弱を占めているが、「受診したことはない」も34.7%と全体の1/3強を占めている。（図表2-3）

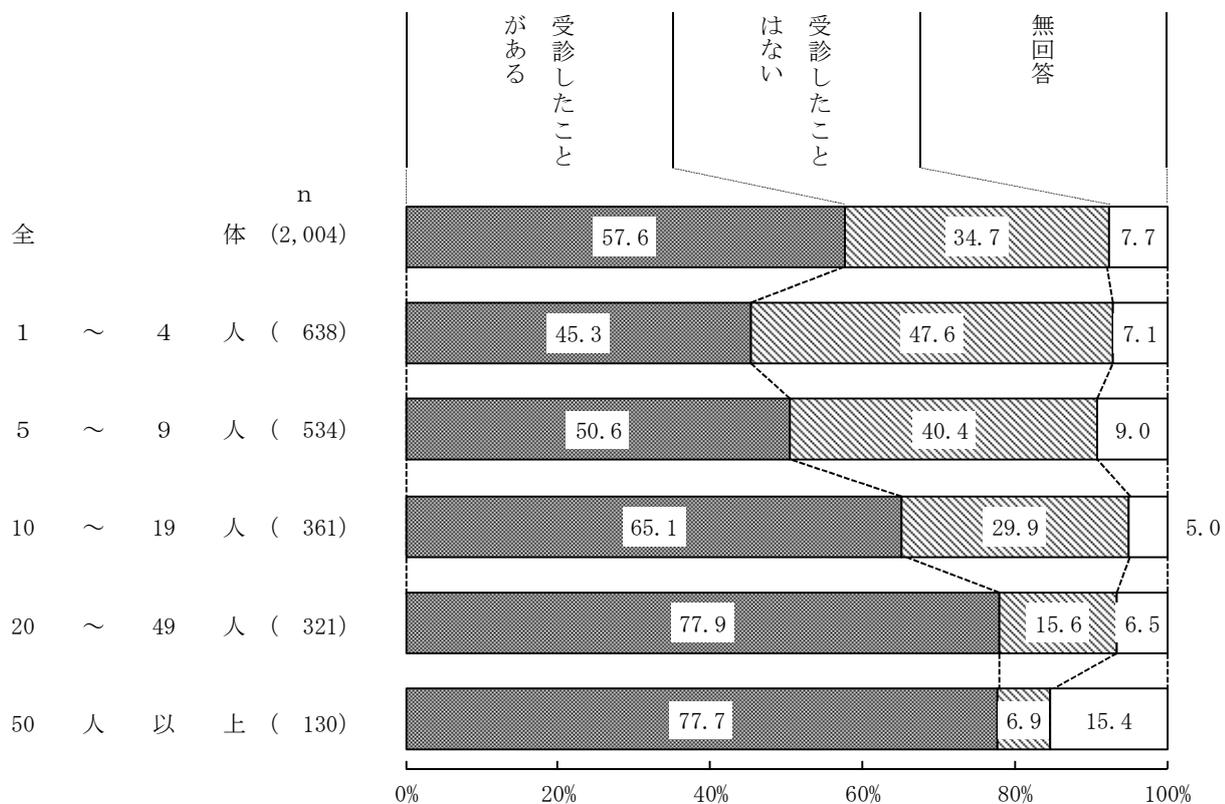
図表 2-4 【所有船の事業内容別】自社（船）の船員の生活習慣病予防健診の受診状況



※《外航船》は調査数（n）が30と少ないため参考数値

所有船の事業内容別にみると、受診率は“外航船”、“内航船（旅客船）”でやや高く、“引き船、作業船等”でやや低くなっている。（図表 2-4）

図表 2-5 【被保険者数別】自社（船）の船員の生活習慣病予防健診の受診状況



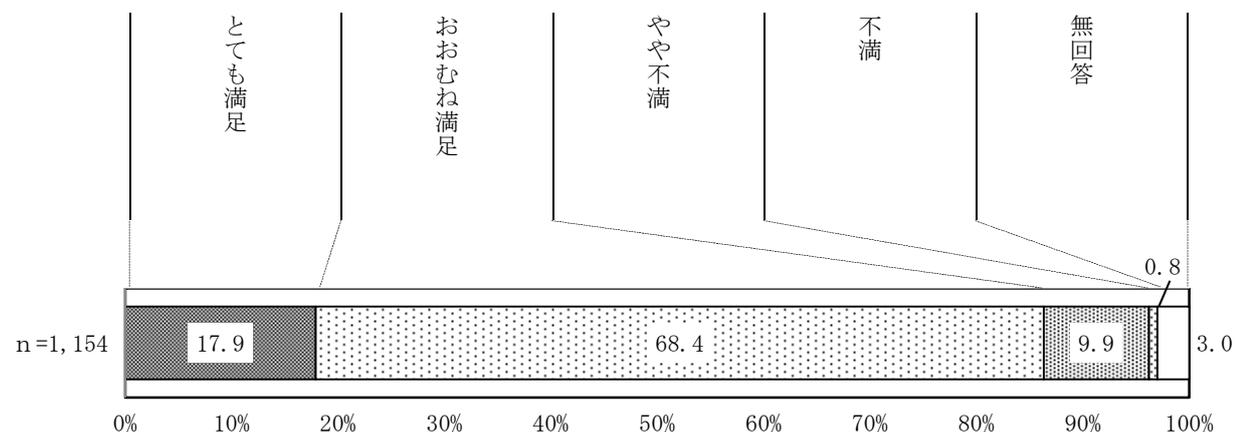
被保険者数別にみると、受診率は、人数が多くなるにつれ、高くなる傾向がみられ、“20~49人” ~ “50人以上” では3/4以上が受診している。(図表 2-5)

(4) 「生活習慣病予防健診」の満足度

◆《満足》は86.3%

問4. この健診に満足されていますか。(○は1つだけ)

図表2-6 「生活習慣予防健診」の満足度



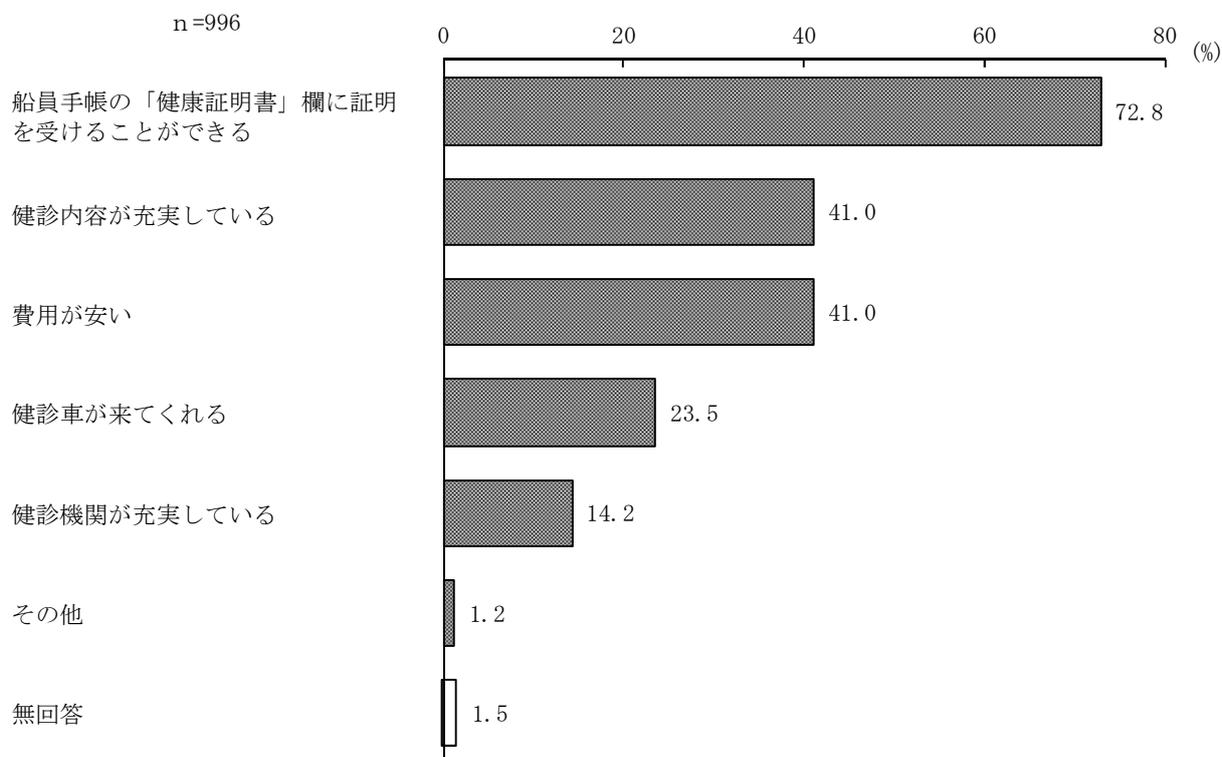
《満足》(「とても満足」+「おおむね満足」)の割合は86.3%、一方、《不満》(「やや不満」+「不満」)の割合は10.7%と約1割程度である。「不満」としたのは0.8%にとどまり、満足感が高く、不満感は極めて低くなっている。(図表2-6)

(5) 「生活習慣病予防健診」に満足している理由

◆船員手帳の「健康証明書」欄に証明を受けることができるが72.8%で第1位

問5.主に、どのような点に満足されていますか。(〇は主なものを3つまで)

図表2-7 「生活習慣病予防健診」に満足している理由



満足している理由について、3つまで回答してもらった。

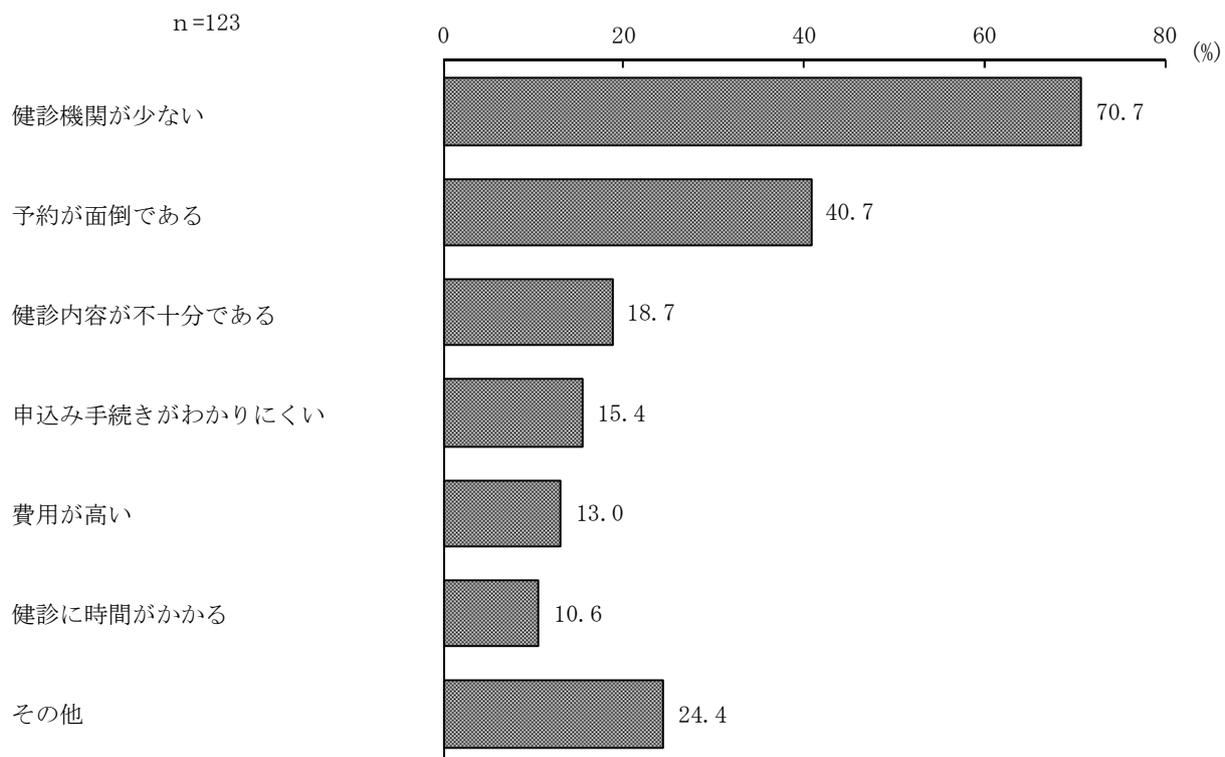
「船員手帳の「健康証明書」欄に証明を受けることができる」が72.8%で最も高く、30ポイント以上の差で、「健診内容が充実している」、「費用が安い」が41.0%の同率で次いでいる。(図表2-7)

(6) 「生活習慣病予防健診」に不満な理由

◆「健診機関が少ない」が70.7%で第1位

問6. 主に、どのような点がご不満ですか。(○は主なものを3つまで)

図表2-8 「生活習慣病予防健診」に不満な理由



不満とした理由について、3つまで回答してもらった。

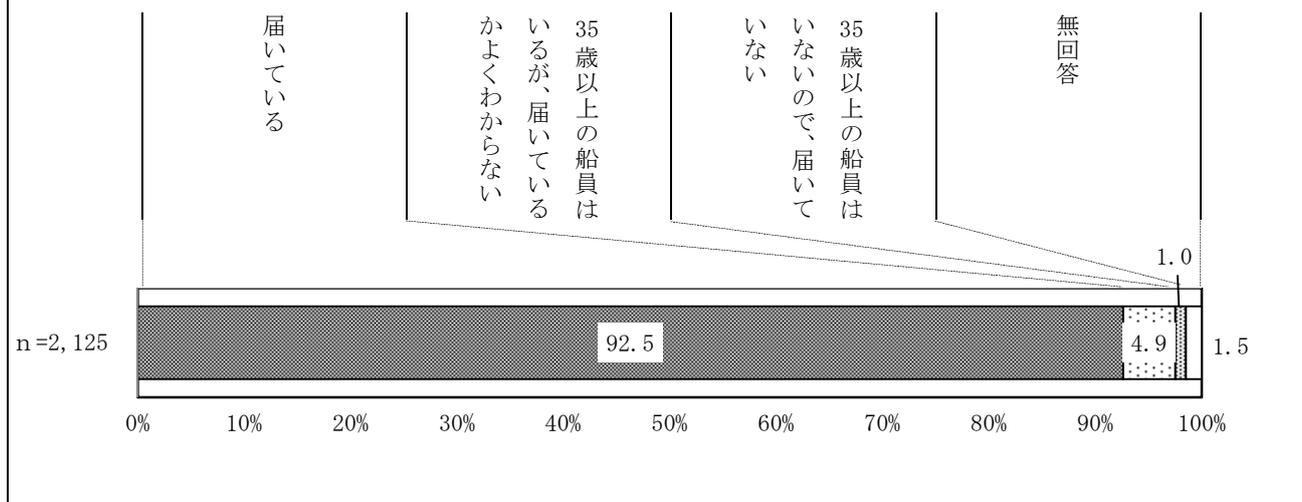
「健診機関が少ない」が70.7%で最も高く、30ポイントの差で、「予約が面倒である」が40.7%で次いでいる。(図表2-8)

(7) 「生活習慣病予防健診」の案内パンフレット・受診券の受け取り状況

◆到着率は 92.5%

問 7. 船員保険では、毎年 4 月、船舶所有者の皆さまに、貴社（船）の 35 歳以上の船員の方に渡していただくため、生活習慣病予防健診のご案内パンフレットと健診の受診券をお送りしていますが、お手元に届いていますか。（○は 1 つだけ）

図表 2-9 「生活習慣病予防健診」の案内パンフレット・受診券の受け取り状況



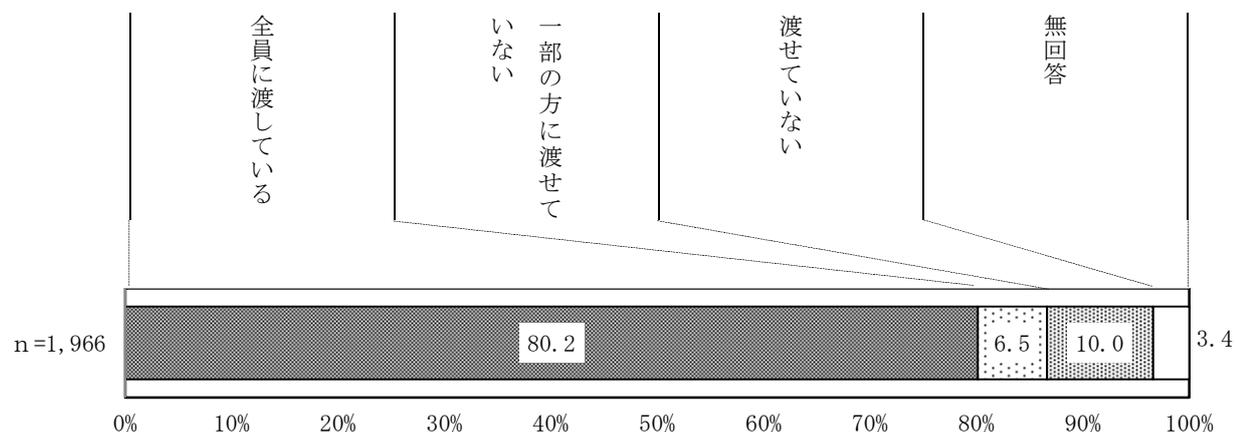
「生活習慣病予防健診」の案内パンフレットと受診券の到着率は 92.5% を占める。（図表 2-9）

(8) 「生活習慣病予防健診」の案内パンフレット・受診券の配付状況

◆被保険者全員への配付率は8割強

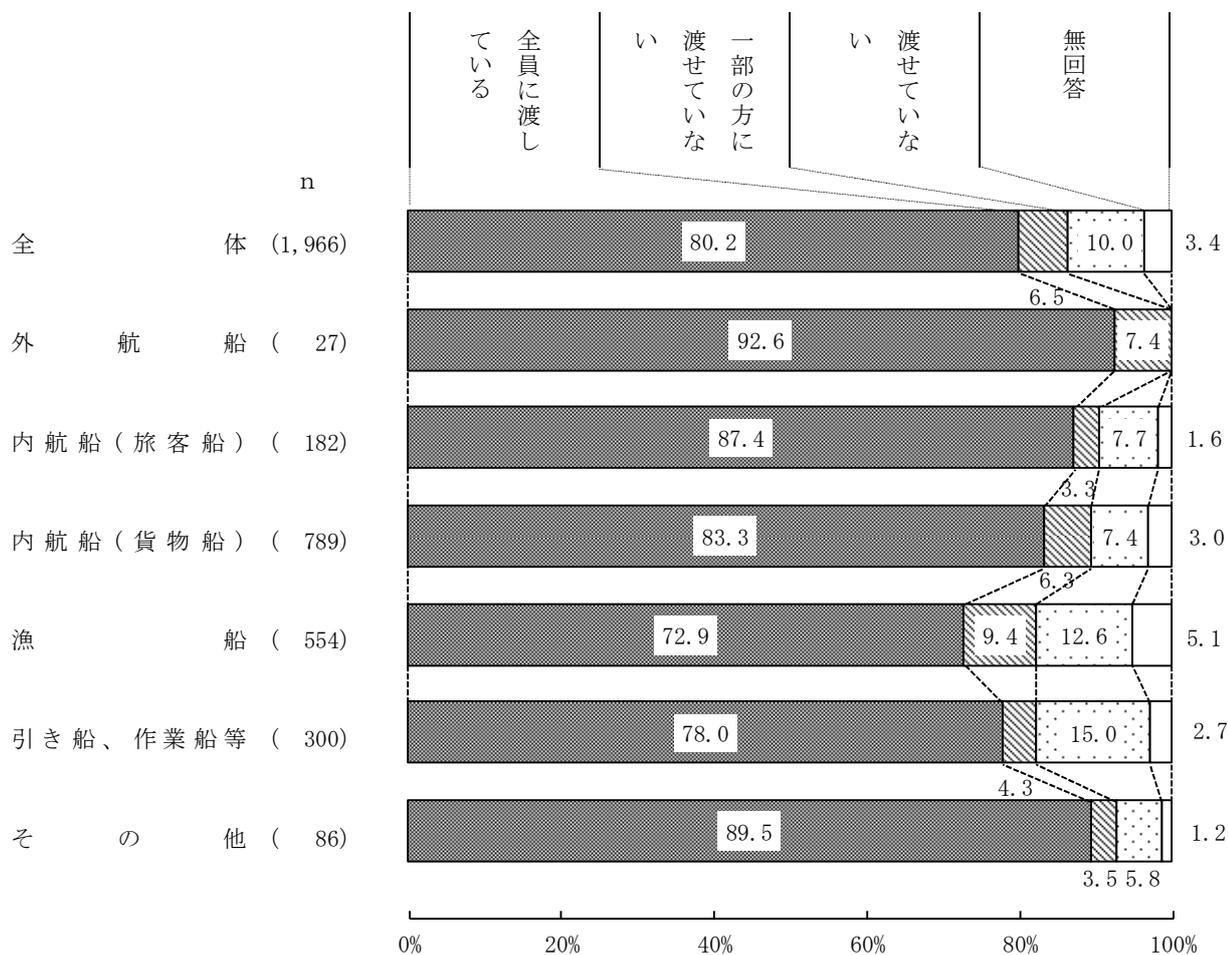
問 8. ご案内パンフレットと受診券は船員の方にお渡しただけにしていますか。(○は1つだけ)

図表 2-10 「生活習慣病予防健診」の案内パンフレット・受診券の配付状況



案内パンフレットと受診券について「全員に渡している」(80.2%)、「一部の方に渡せていない」(6.5%)、「渡せていない」(10.0%)となっている。(図表 2-10)

図表 2-11 【所有船の事業内容別】「生活習慣病予防健診」の案内パンフレット・受診券の配付状況



※《外航船》は調査数 (n) が 27 と少ないため参考数値

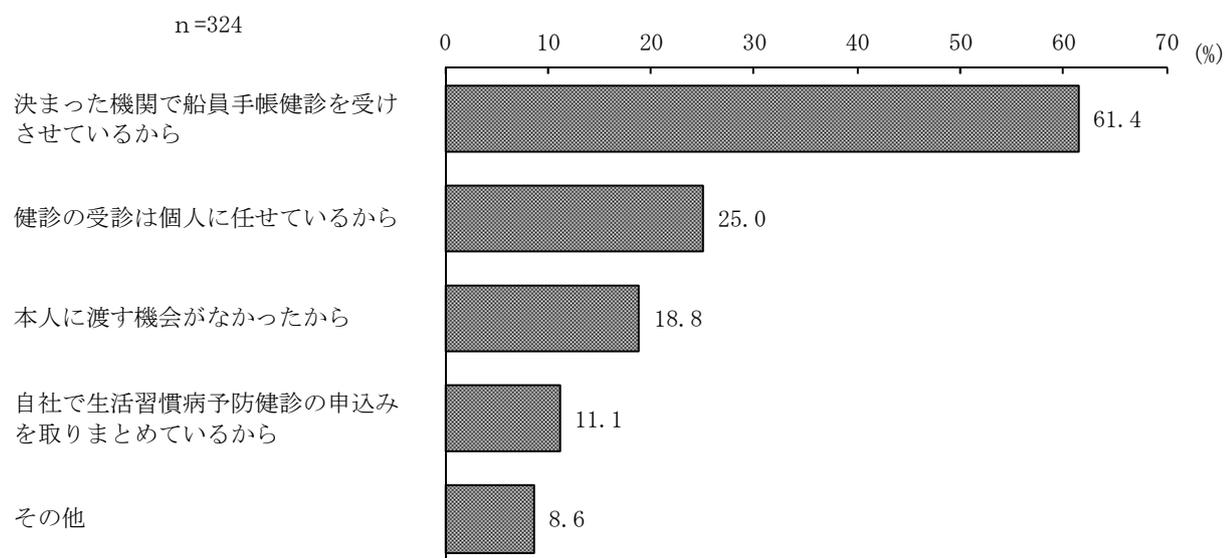
所有船の事業内容別では、「全員に渡している」の割合は“漁船”でやや低くなっている。(図表 2-11)

(9) 「生活習慣病予防健診」の案内パンフレット・受診券を配付しなかった理由

◆「決まった機関で船員手帳健診を受けさせているから」が61.4%で第1位

問9. お渡しいただけなかった理由は何ですか。(〇はいくつでも)

図表2-12 「生活習慣病予防健診」の案内パンフレット・受診券を配付しなかった理由



案内パンフレットと受診券について、被保険者に渡していない理由をすべて回答してもらった。

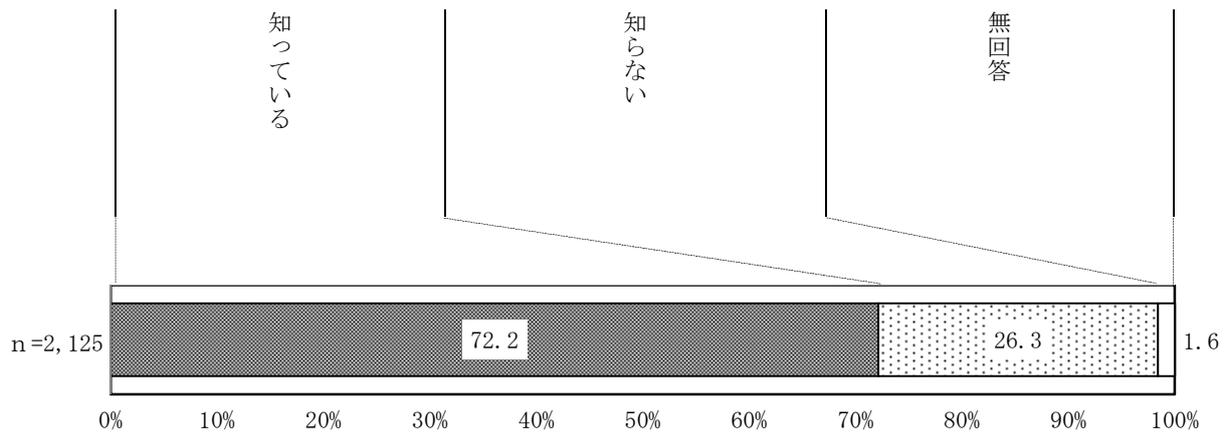
「決まった機関で船員手帳健診を受けさせているから」が61.4%で最も高く、35ポイント以上の差で「健診の受診は個人に任せているから」(25.0%)、「本人に渡す機会がなかったから」(18.8%)の順で続いている。(図表2-12)

(10) 船員保険が「生活習慣病予防健診」費用の一部を負担していることの周知度

◆周知度は72.2%

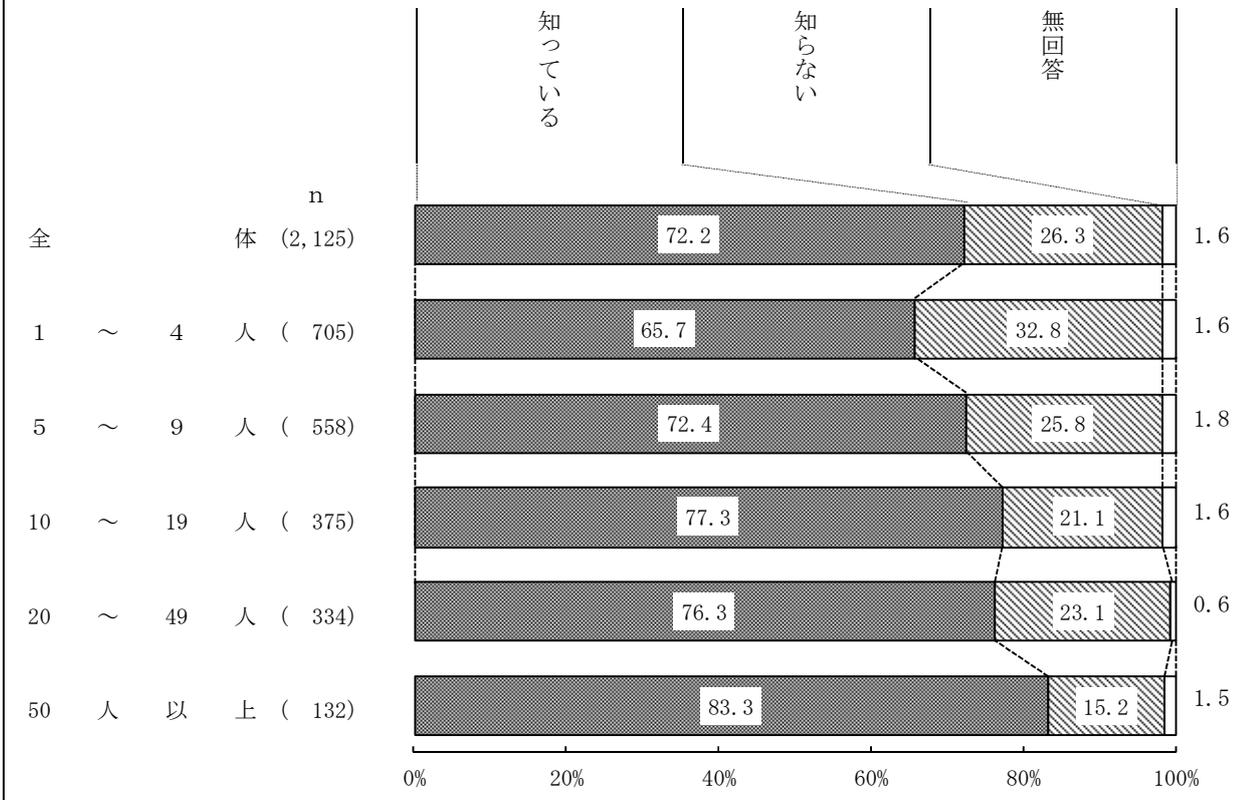
問10. 生活習慣病予防健診は、費用の一部を船員保険が負担するため、船員手帳の健康証明を受けるための健診よりも、安い費用で健診が受けられることをご存じですか。(○は1つだけ)

図表2-13 「生活習慣病予防健診」費用の一部を負担していることの周知度



「知っている」(72.2%)、「知らない」(26.3%)で、船員手帳の健康証明を受けるための健診よりも安く受診できることについての周知度は7割強を占めている。(図表2-13)

図表 2-14 【被保険者数別】「生活習慣病予防健診」費用の一部を負担していることの周知度



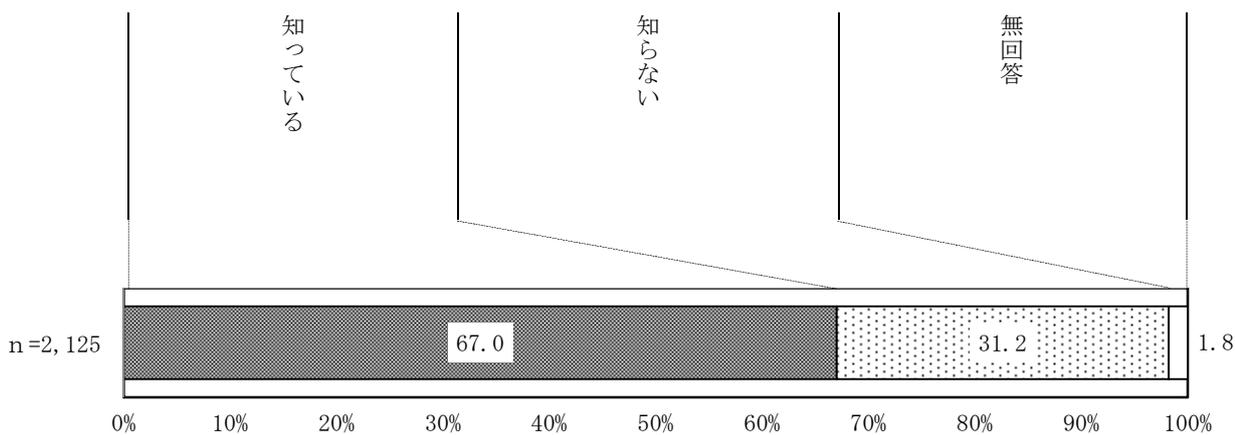
被保険者数別にみると、人数が多くなるにつれ、周知度は、徐々に高くなる傾向がみられ、“50人以上”では83.3%となっている。(図表2-14)

(11) 船員手帳を持参した場合、健康証明が受けられる医療機関があることの周知度

◆周知度は67.0%

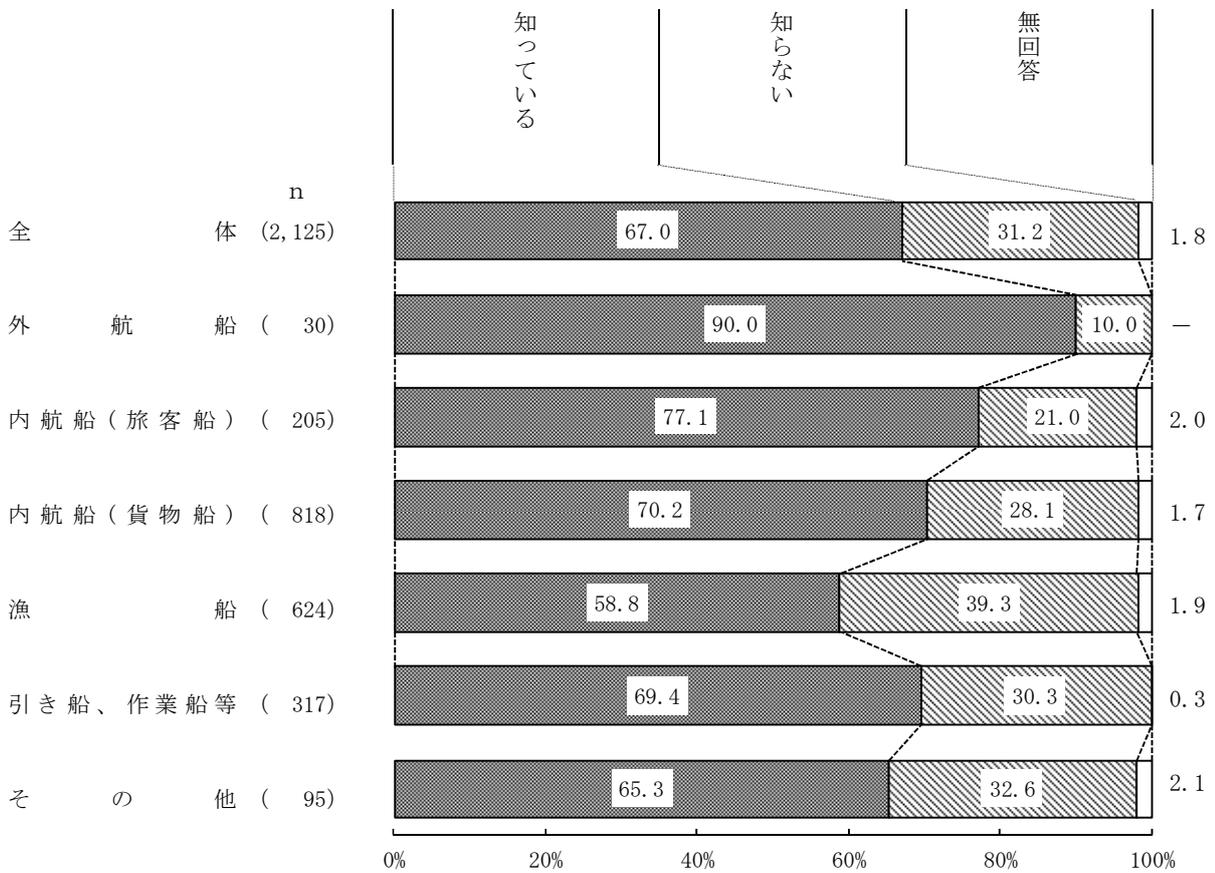
問 11. 生活習慣病予防健診の実施機関の多くは、船員手帳健診も取り扱っており、受診の際に船員手帳をお持ちいただければ、健康証明も併せて受けられることをご存じですか。(○は1つだけ)

図表 2-15 船員手帳を持参した場合、健康証明が受けられる医療機関があることの周知度



「知っている」(67.0%)、「知らない」(31.2%)で、受診時に船員手帳を持参した場合、健康証明も併せて受けられることについての周知度は全体の2/3強を占めている。(図表2-15)

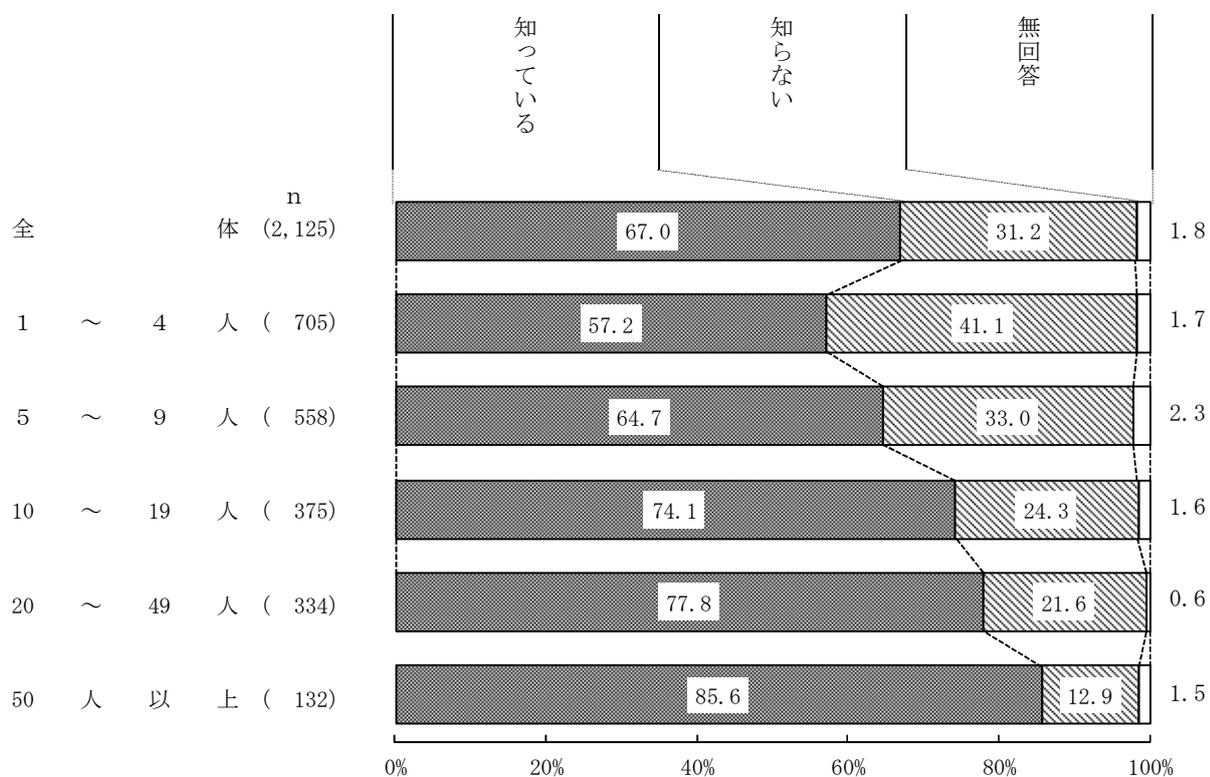
図表 2-16 【所有船の事業内容別】 船員手帳を持参した場合、健康証明が受けられる医療機関があることの周知度



※《外航船》は調査数（n）が30と少ないため参考数値

所有船の事業内容別にみると、周知度は“外航船”、“内航船（旅客船）”で高く、“引き船、作業船等”でやや低くなっている。（図表 2-16）

図表 2-17 【被保険者数別】 船員手帳を持参した場合、健康証明が受けられる医療機関があることの周知度



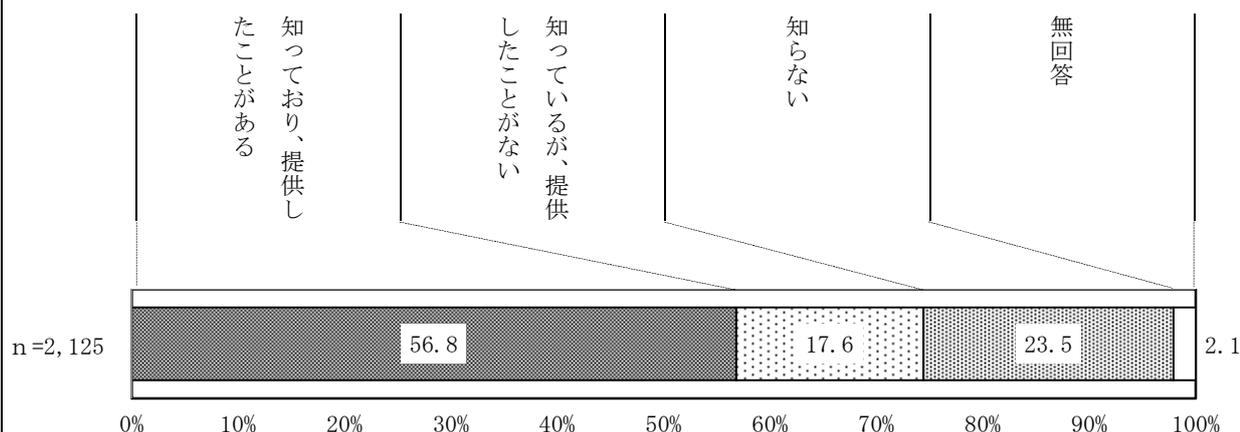
被保険者数別にみると、人数が多くなるにつれ、周知度は、徐々に高くなる傾向がみられ、“50人以上”では85.6%となっている。(図表2-17)

(12) 船員手帳の「健康証明書」欄の写しについての提供依頼の周知度

◆周知度は、ほぼ全体の3/4

問 12. 船員保険では、前年度に、生活習慣病予防健診を受けなかった方について、船員手帳の「健康証明書」欄の写しのご提供をお願いしていることをご存じですか。(○は1つだけ)

図表 2-18 船員手帳の「健康証明書」欄の写しについての提供依頼の周知度



「知っているが、提供したことがある」が56.8%、「知っているが、提供したことがない」が17.6%で、船員保険が「健康証明書」欄の写しの提供を依頼していることについての周知度は全体の約3/4を占めている。(図表 2-18)

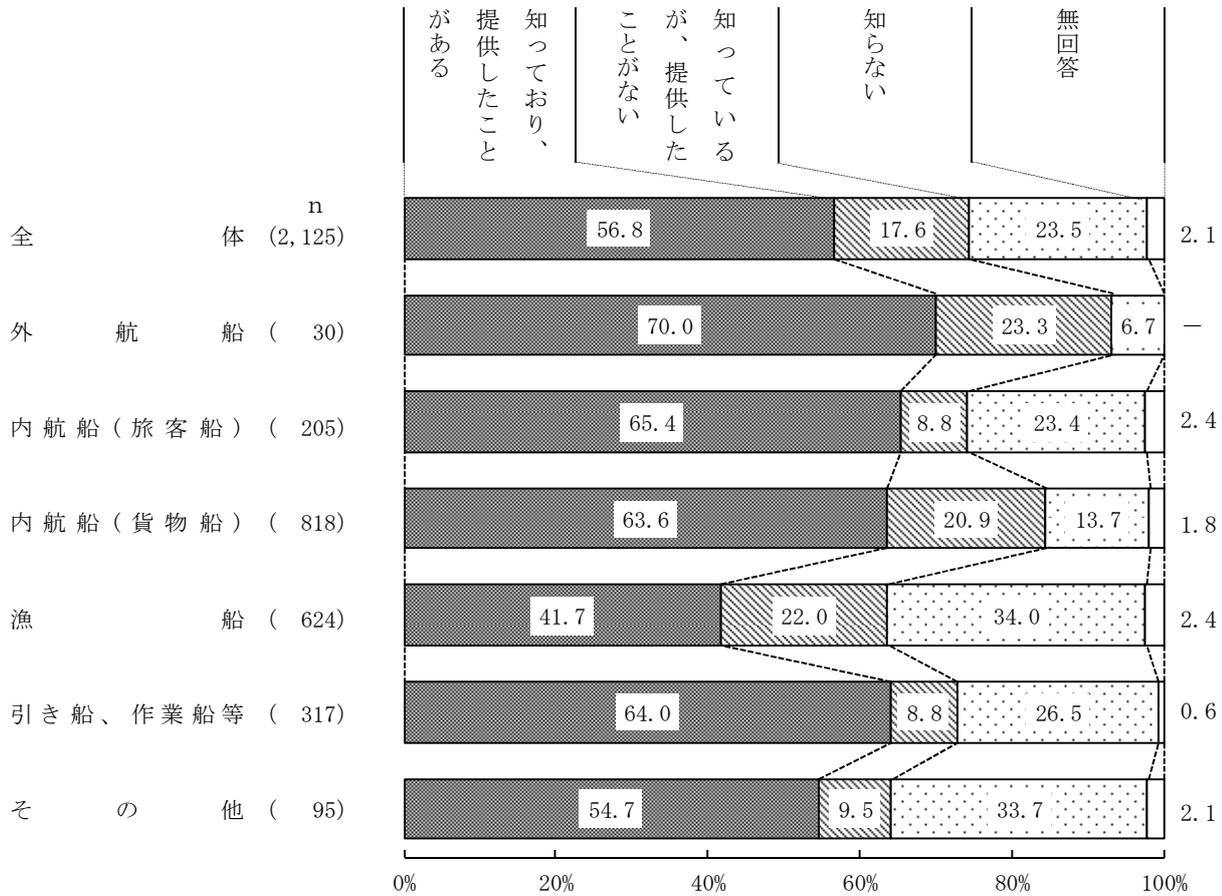
所有船の事業内容別にみると、周知度は“外航船”及び“内航船(貨物船)”で全体結果を10ポイント弱上回り、高くなっているのに対し、“漁船”では、10ポイント以上、下回り低くなっている。(図表 2-19)

周知している回答者を基数(n)にして、提供度を算出し周知度の結果と比較した。

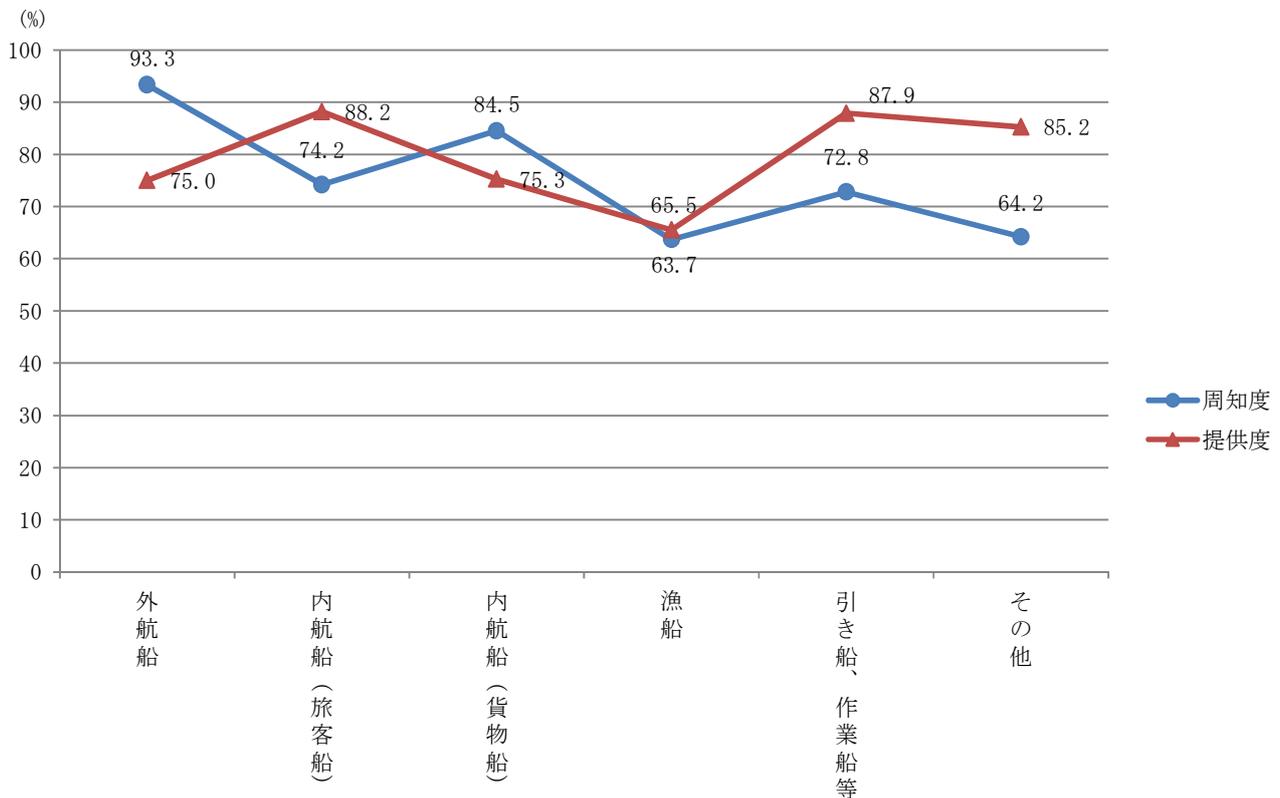
提供度は、周知度が比較的低かった、“内航船(旅客船)”、“引き船、作業船等”で高く、逆に、周知度の高かった“外航船”及び“内航船(貨物船)”で低くなっており、「知っているが提供していない」の割合が高い。

“漁船”は周知度・提供度ともに低くなっている。(図表 2-19)

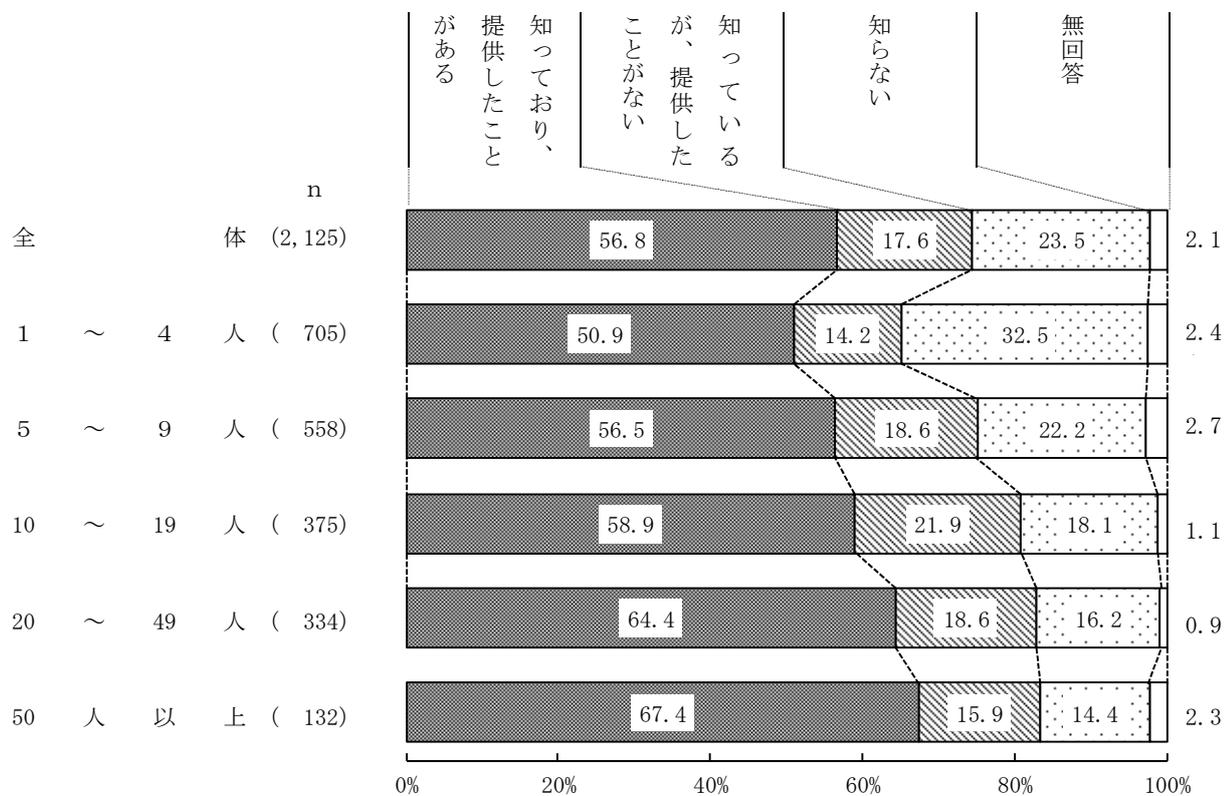
図表 2-19 【所有船の事業内容別】 船員手帳の「健康証明書」欄の写しについての提供依頼の周知度



※《外航船》は調査数 (n) が 30 と少ないため参考数値



図表 2-20 【被保険者数別】 船員手帳の「健康証明書」欄の写しについての提供依頼の周知度



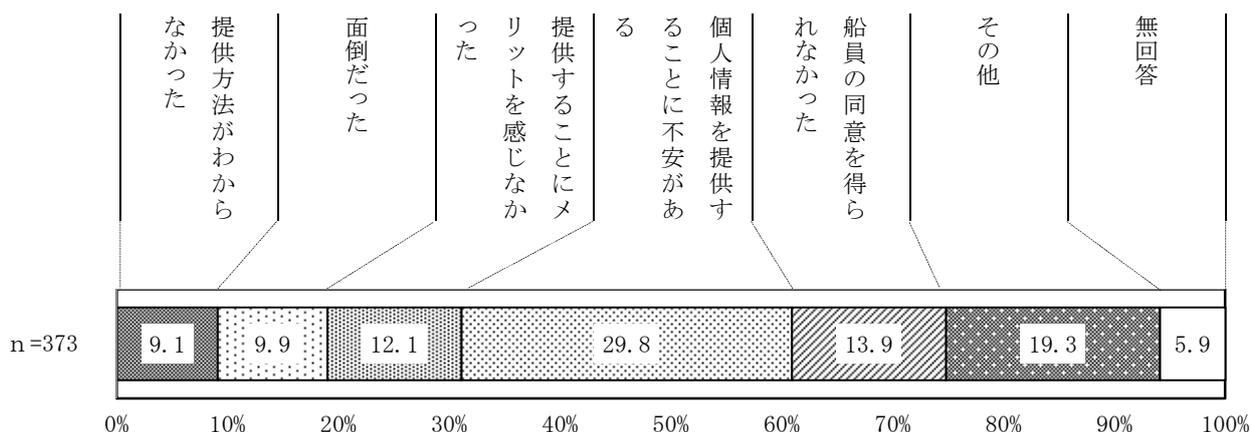
被保険者数別にみると、人数が多くなるにつれ、周知度は、徐々に高くなる傾向がみられ、“50人以上”では67.4%となっている。(図表2-20)

(13) 船員手帳の「健康証明書」欄の写しを提供することが難しい最も大きな理由

◆「個人情報を提供することに不安がある」が約3割

問 13. 船員手帳の「健康証明書」欄の写しをご提供いただくことが難しい最も大きな理由は何ですか。(○は1つだけ)

図表 2-21 船員手帳の「健康証明書」欄の写しを提供することが難しい最も大きな理由



「健康証明書」欄の写しを提供することが難しい最も大きな理由を1つだけ回答してもらった。「個人情報を提供することに不安がある」が29.8%を占めて最も多く、以下「その他」(19.3%)、「船員の同意を得られなかった」(13.9%)、「提供することにメリットを感じなかった」(12.1%)の順が続いている。あげられた理由を解決すれば、提供率はさらに伸びると思われる。

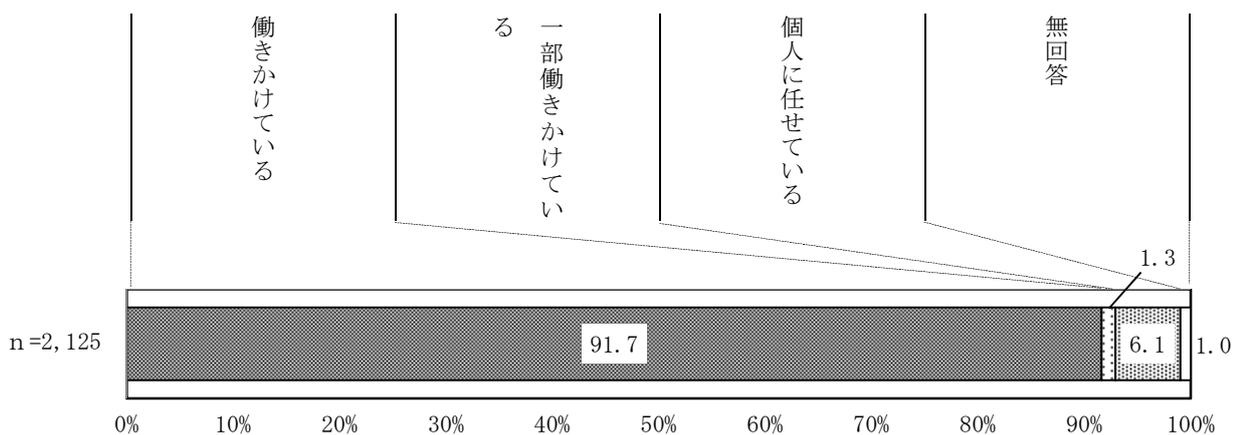
「その他」の中では、「乗船中などで手帳が手元にない」、「全員受診している」が多くあげられている。(図表 2-21)

(14) 船員に対する健診受診の推奨状況

◆「働きかけている」9割強

問 14. あなたの会社（船）では、船員の方に対し、年に1度は何らかの健康診断を受診するように働きかけていますか。（○は1つだけ）

図表 2-22 船員に対する健診受診の推奨状況



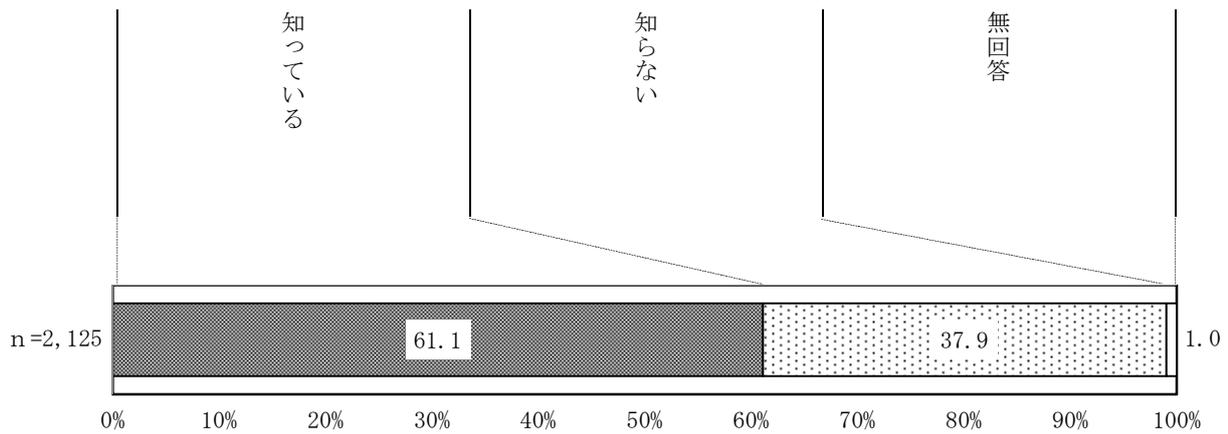
船員に対し、年に1度は健康診断の受診を「働きかけている」は91.7%を占めている。(図表 2-22)

(15) 「巡回健診」の周知度

◆周知度は6割強

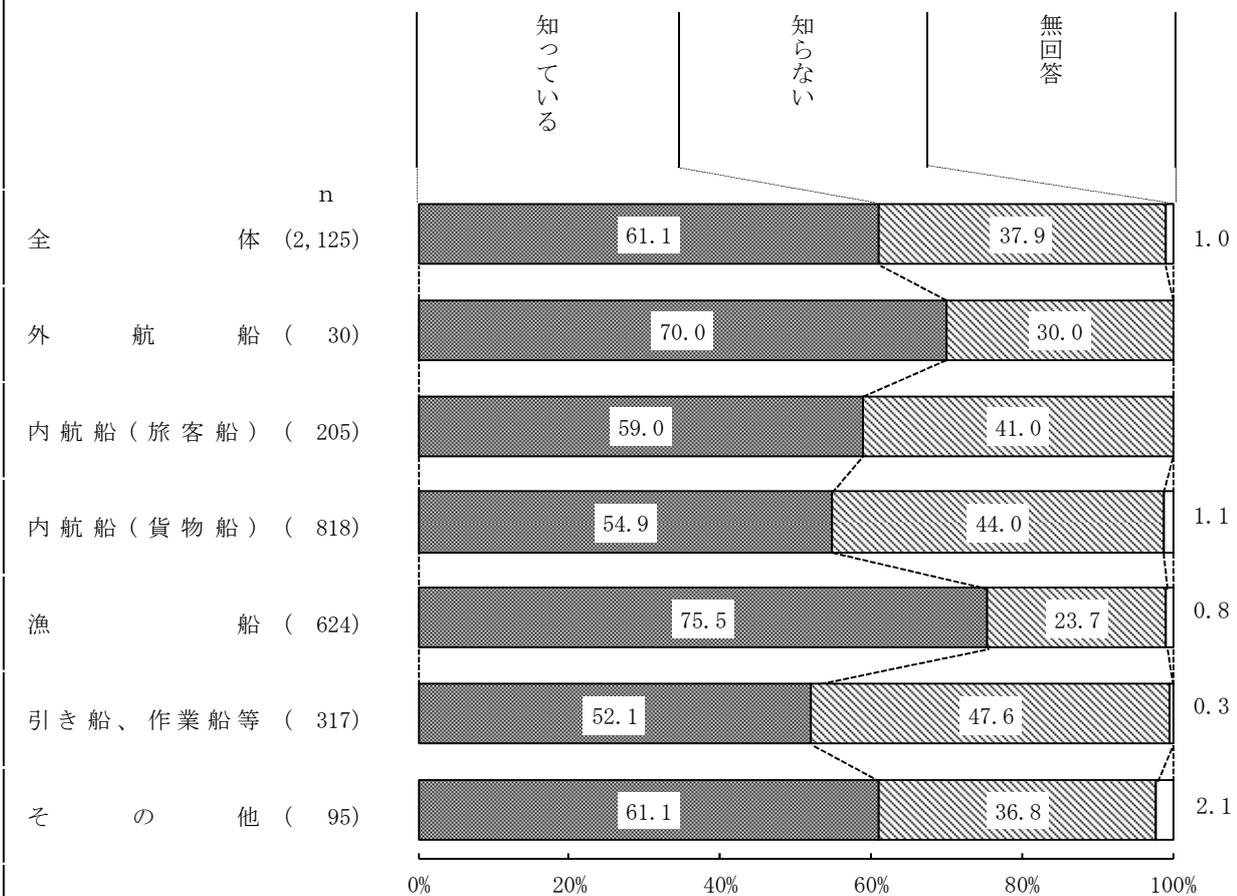
問 15. 船員保険では、全国各地の港や漁業協同組合等を健診車で訪問し、加入者の皆さまに受診いただく「巡回健診」を実施していますが、こうした取り組みについてご存じですか。(○は1つだけ)

図表 2-23 「巡回健診」の周知度



「知っている」(61.1%)、「知らない」(37.9%)で、「巡回健診」実施の周知度は全体の6割強を占めている。(図表 2-23)

図表 2-24 【所有船の事業内容別】「巡回健診」の周知度



※《外航船》は調査数 (n) が 30 と少ないため参考数値

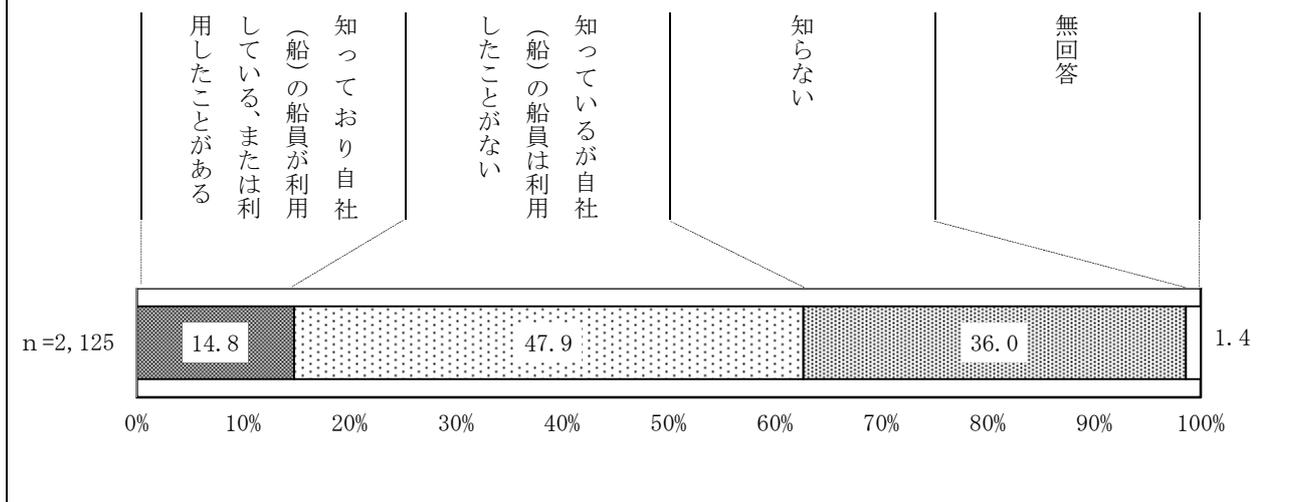
所有船の事業内容別にみると、周知度は“漁船”、“外航船”で高く、“引き船、作業船等”で低くなっている。(図表 2-24)

(16) 「特定保健指導」無料提供の周知度

◆利用度 14.8%、周知度 62.7%

問 16. 船員保険では、健診結果から、生活習慣の見直しが必要な方に対し、保健師等の専門家が生活習慣の改善方法等の相談にのり、助言等を行う「特定保健指導」というサービスを無料で提供していることをご存じですか。(○は1つだけ)

図表 2-25 「特定保健指導」無料提供の周知度



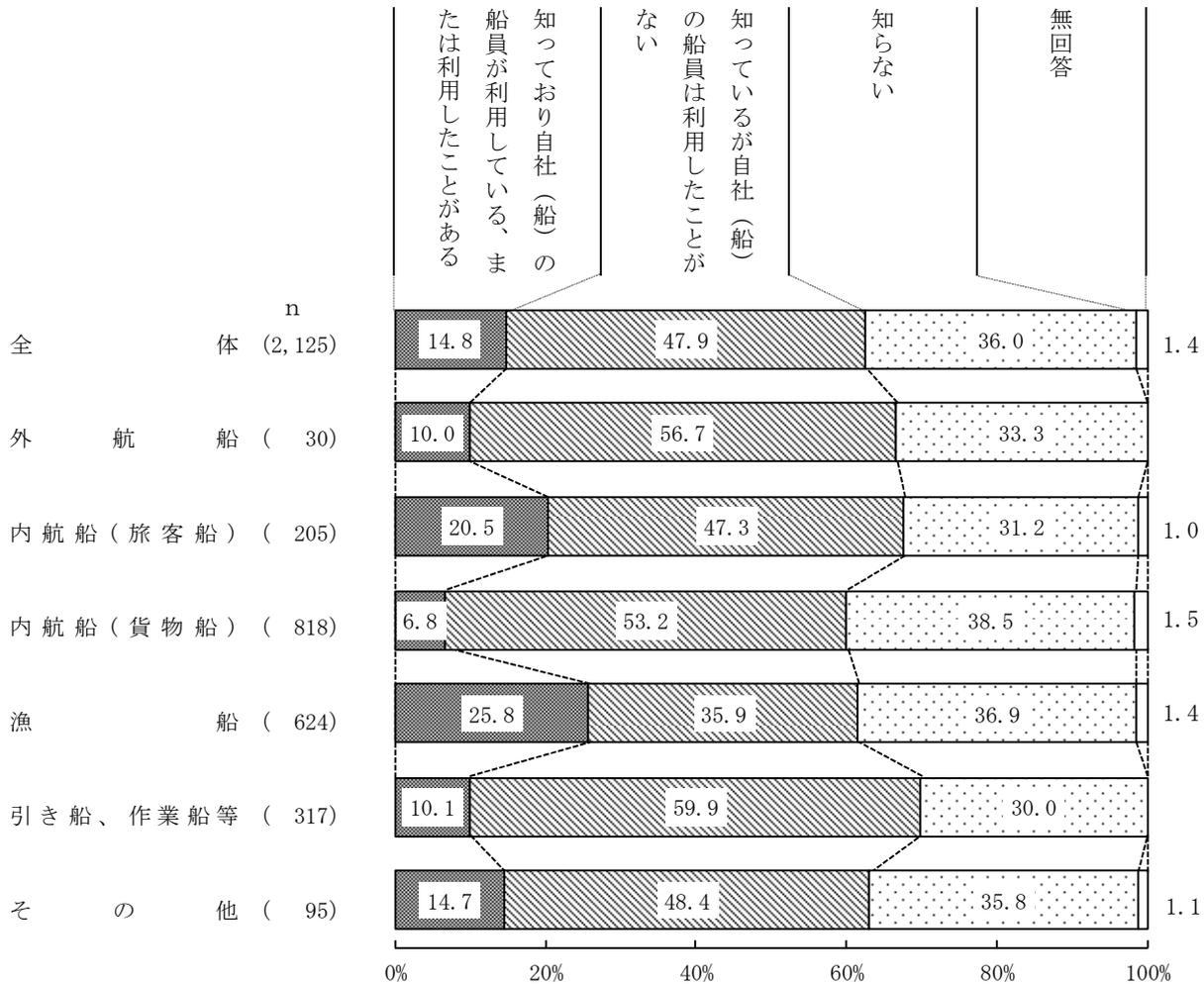
「知っており自社(船)の船員が利用している、または利用したことがある」が14.8%、「知っているが自社(船)の船員は利用したことがない」が47.9%で、「特定保健指導」サービスの無料提供についての周知度は6割強、「知らない」(36.0%)が全体の1/3以上となっている。(図表 2-25)

所有船の事業内容別にみると、周知度は“引き船、作業船等”、“内航船(旅客船)”でやや高くなっている。(図表 2-26)

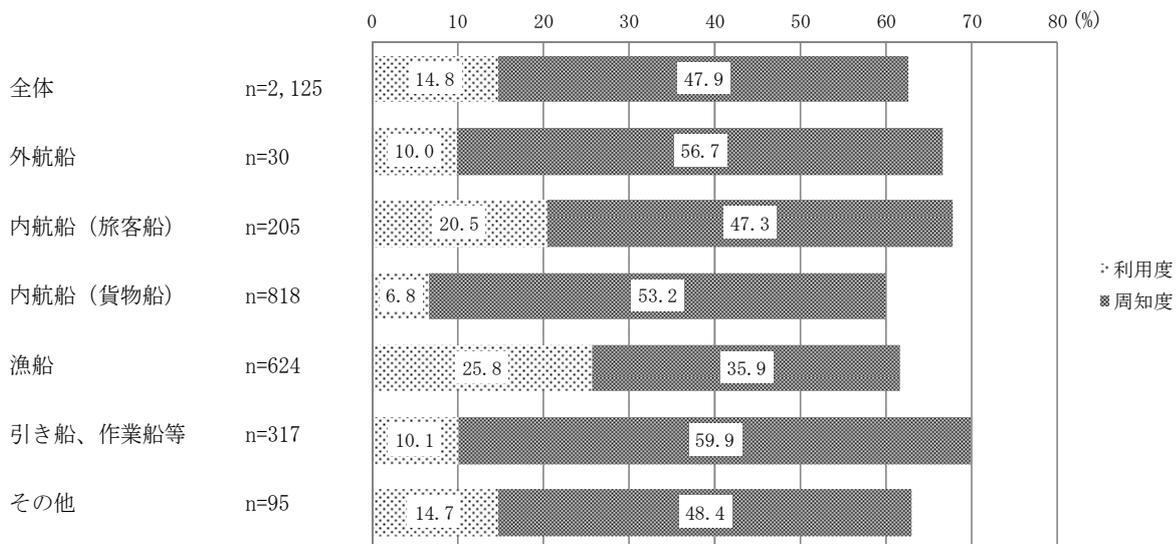
周知している回答者のサービスの利用状況は、“漁船”、“内航船(旅客船)”で利用度が2割を超えて高く、特に、“漁船”は、周知している回答者の中での利用度が高くなっている。

逆に、周知度の高かった“引き船、作業船等”、“内航船(貨物船)”の利用度は低くなっている。(図表 2-26)

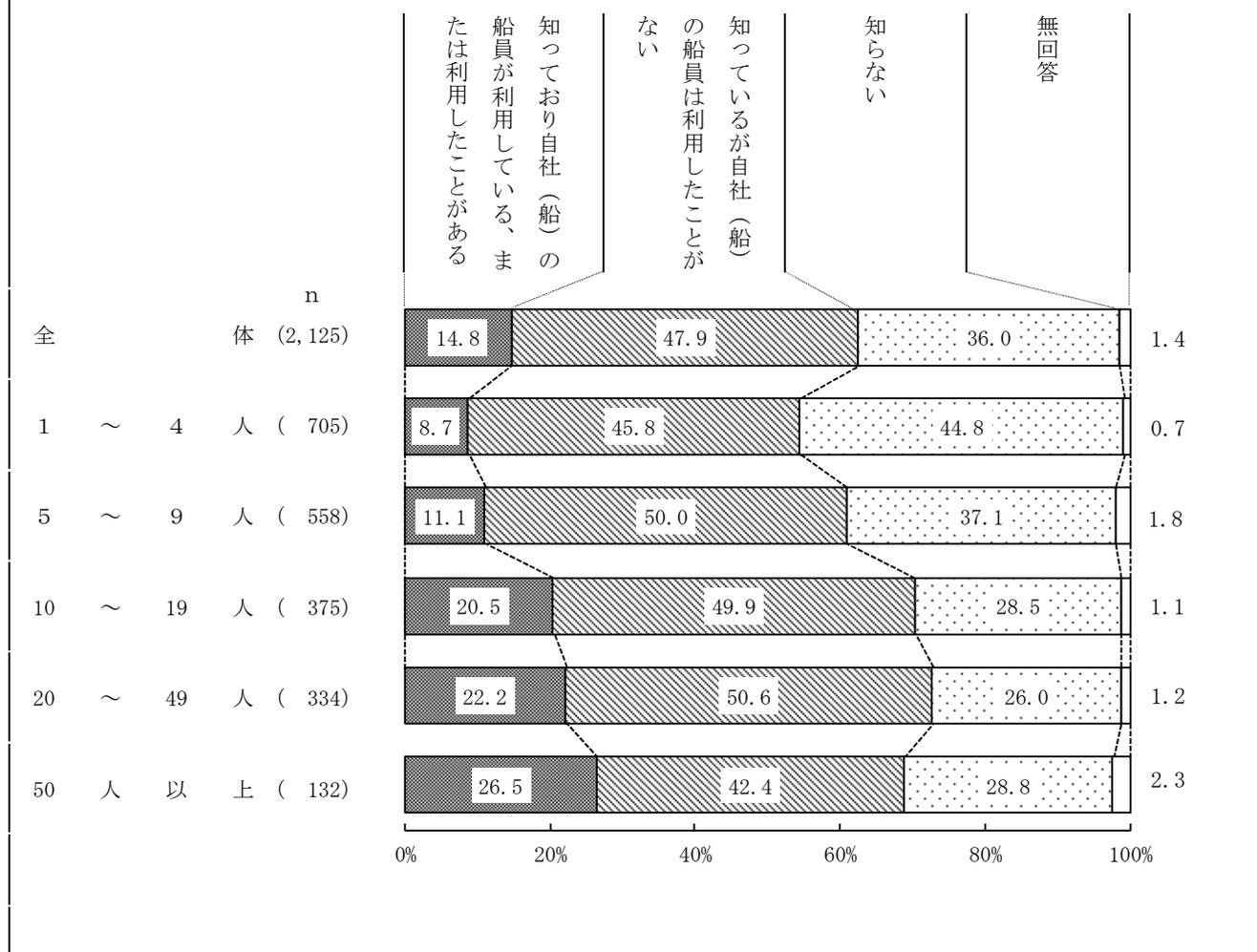
図表 2-26 【所有船の事業内容別】「特定保健指導」無料提供の周知度



※《外航船》は調査数(n)が30と少ないため参考数値



図表 2-27 【被保険者数別】「特定保健指導」無料提供の周知度



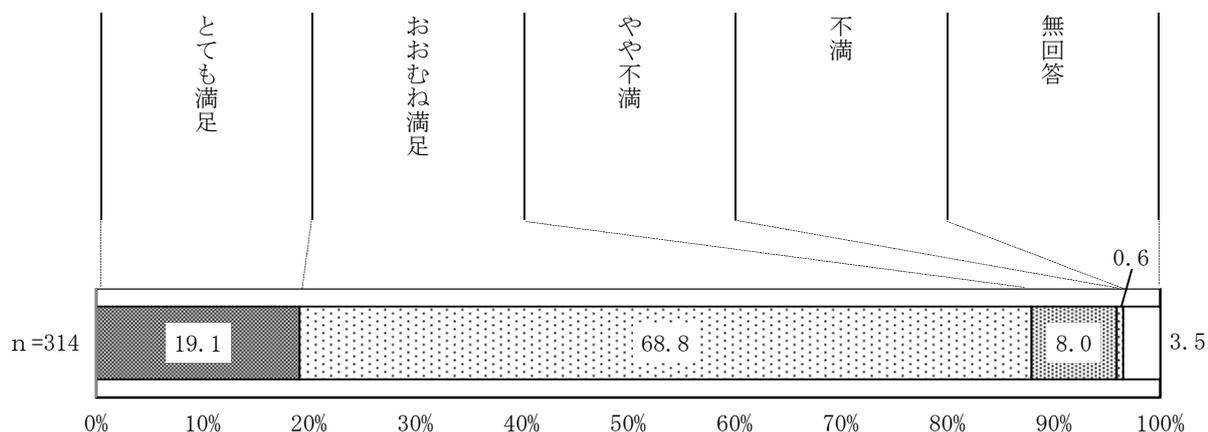
被保険者数別にみると、人数が多くなるにつれ、利用度・周知度は、徐々に高くなる傾向がみられ、《10人以上》で利用度は2割以上、周知度は約7割を占めている。(図表2-27)

(17) 「特定保健指導」の満足度

◆《満足》が9割弱

問 17. 特定保健指導を利用して、満足していますか。(○は1つだけ)

図表 2-28 「特定保健指導」の満足度

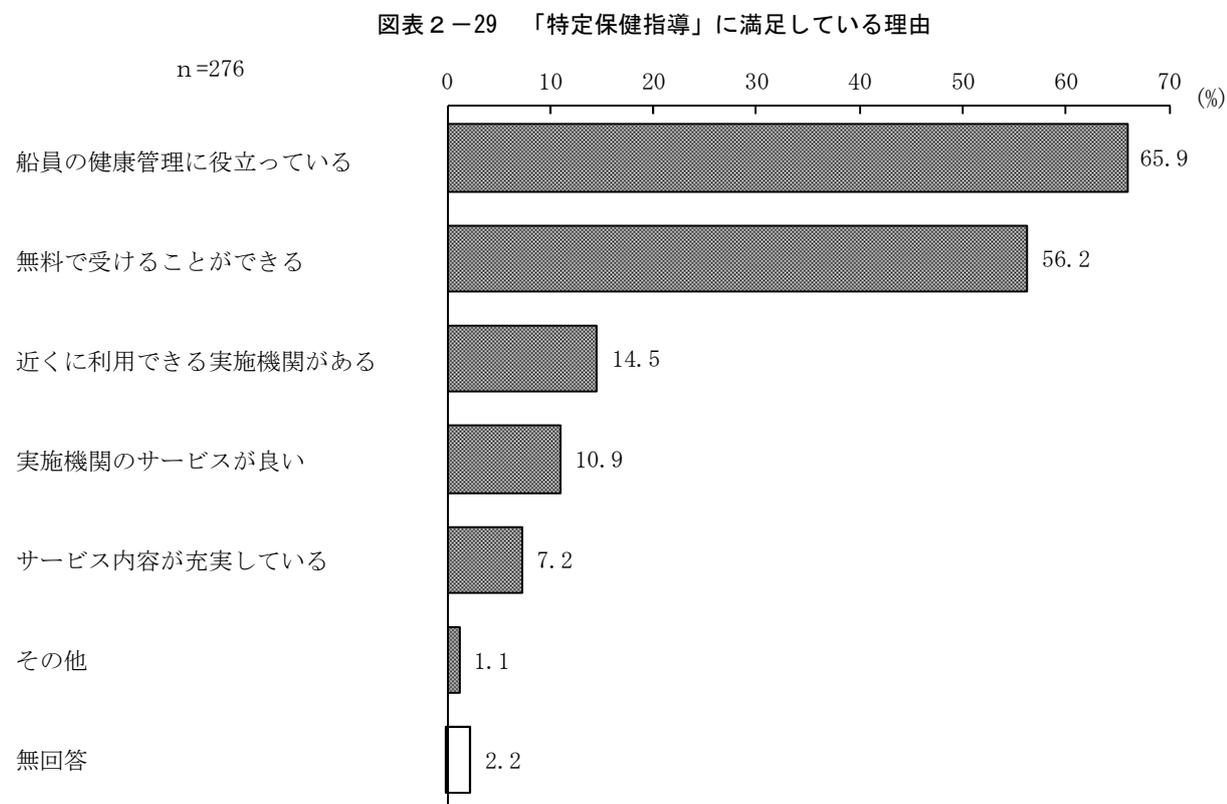


《満足》(「とても満足」+「おおむね満足」)の割合は87.9%、一方、《不満》(「やや不満」+「不満」)の割合は8.6%と1割未満である。「不満」としたのは0.6%にとどまり、満足感が高く、不満感は極めて低くなっている。(図表 2-28)

(18) 「特定保健指導」に満足している理由

◆「船員の健康管理に役立っている」65.9%、「無料で受けることができる」56.2%

問 18. どのような点に満足していますか。(〇はいくつでも)



満足している理由について、すべて回答してもらった。

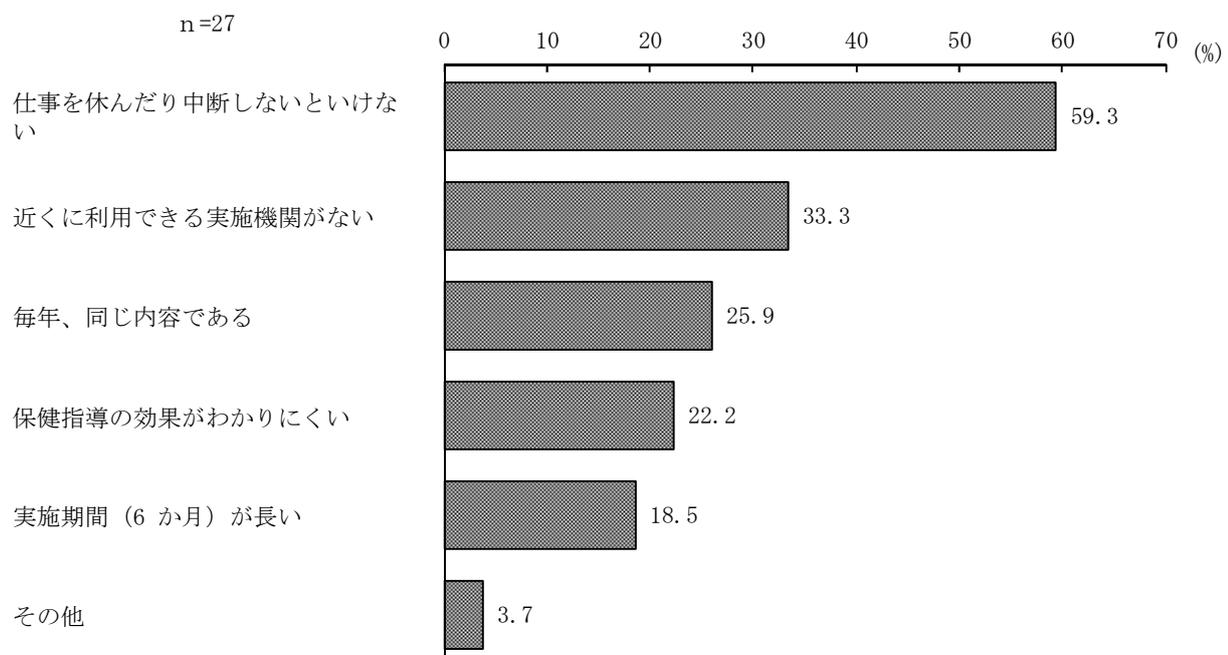
「船員の健康管理に役立っている」が65.9%で最も高く、「無料で受けることができる」が56.2%で次いでいる。第3位以下と大きな差がみられ、上位2つの理由に集中している。(図表2-29)

(19) 「特定保健指導」に不満な理由

◆「仕事を休んだり中断しないといけない」が59.3%で第1位

問19. どのような点がご不満ですか。(○はいくつでも)

図表2-30 「特定保健指導」に不満な理由



不満とした理由について、すべて回答してもらった。

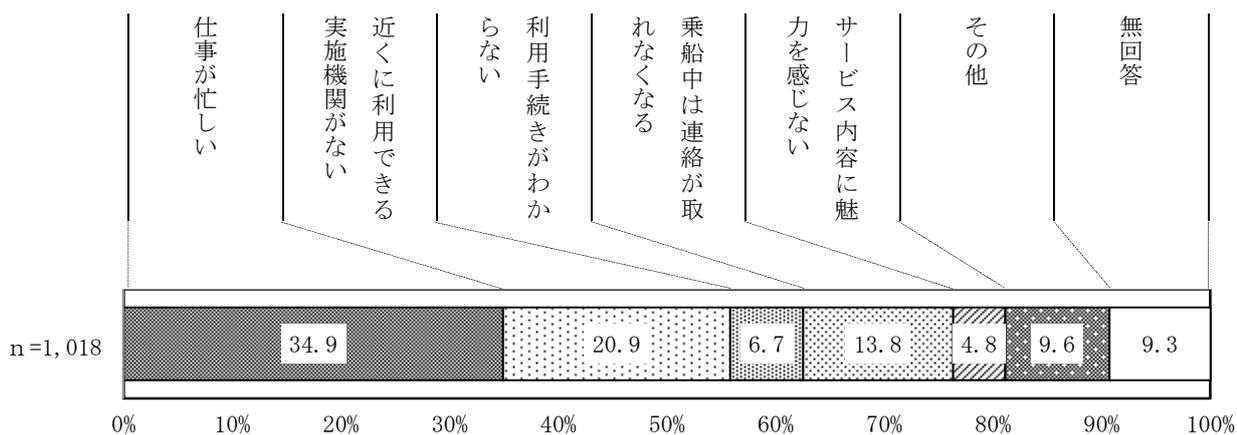
「仕事を休んだり中断しないといけない」が59.3%で最も高く、25ポイント以上の差で、「近くに利用できる実施機関がない」が33.3%で次いでいる。(図表2-30)

(20) 「特定保健指導」の利用者が少ない最も大きな理由

◆最も大きな理由は「仕事が忙しい」34.9%

問 20. 船員保険では、特定保健指導の利用率が低い状況にあります。利用者が少ない最も大きな理由は何だと思いますか。(○は1つだけ)

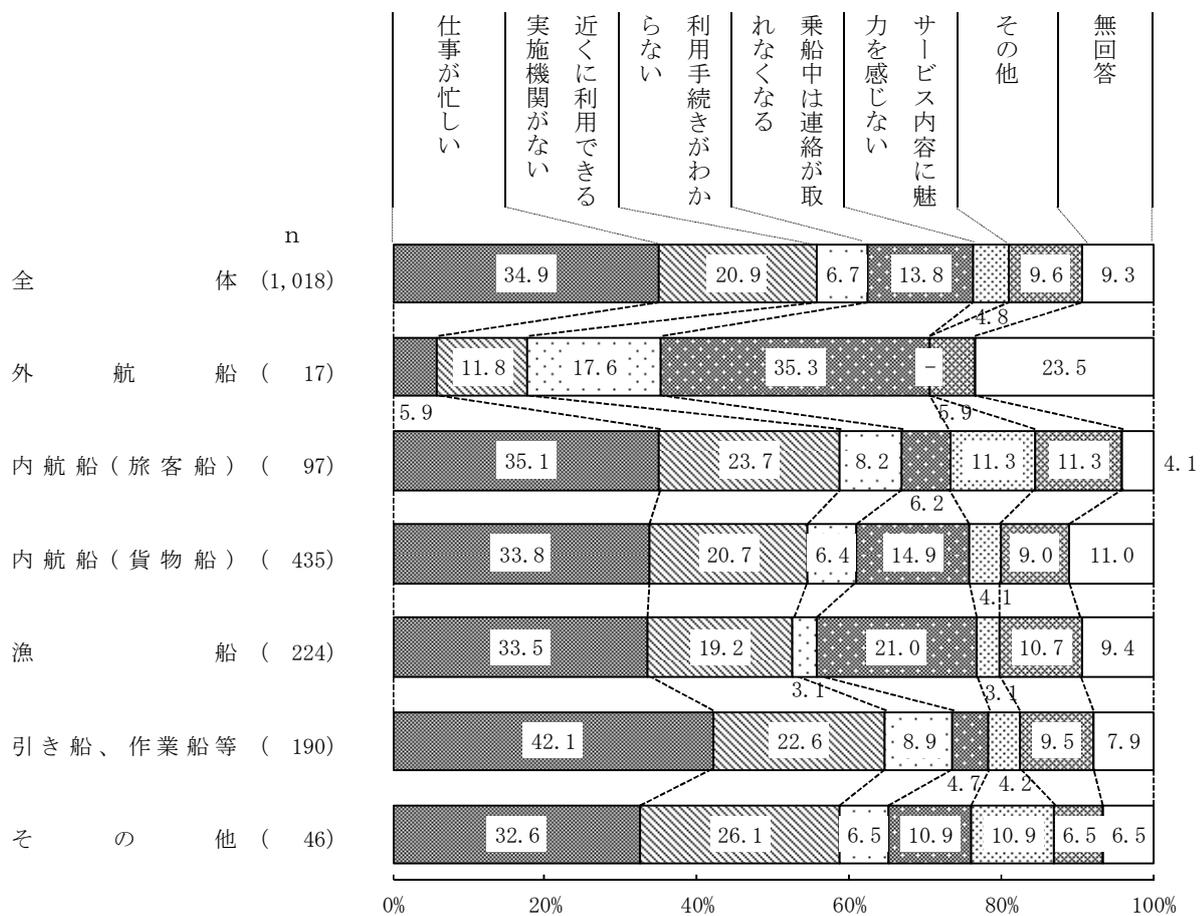
図表 2-31 「特定保健指導」の利用者が少ない最も大きな理由



特定保健指導を「知っているが自社（船）の船員は利用したことがない」と回答した人に、利用者が少ない最も大きな理由を1つだけあげてもらった。

「仕事が忙しい」が34.9%を占めて最も多く、以下「近くに利用できる実施機関がない」(20.9%)、「乗船中は連絡が取れなくなる」(13.8%)の順が続いている。(図表 2-31)

図表 2-32 【所有船の事業内容別】「特定保健指導」の利用者が少ない最も大きな理由



※《外航船》は調査数 (n) が 17 と少ないため参考数値

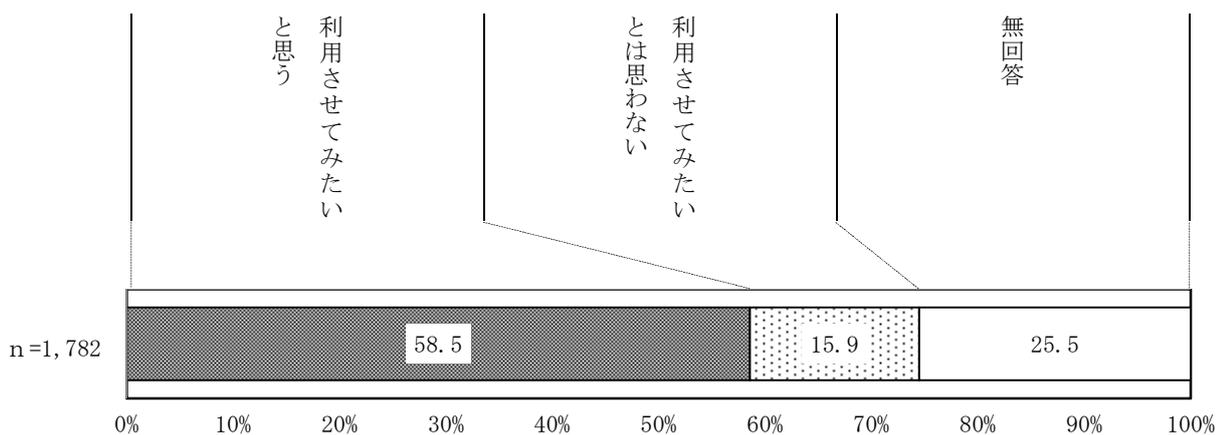
所有船の事業内容別にみると、「仕事が忙しい」は、「外航船」を除き、最も高くなっており、「引き船、作業船等」(42.1%)で特に顕著である。「外航船」及び「漁船」では、「乗船中は連絡が取れなくなる」が他の事業内容に比べると高くなっている。(図表 2-32)

(21) 「特定保健指導」サービスの利用意向

◆利用意向は6割弱

問 21. あなたの会社（船）において、特定保健指導の対象となる方がいた場合、このサービスを利用させてみたいと思いますか。（○は1つだけ）

図表 2-33 「特定保健指導」サービスの利用意向



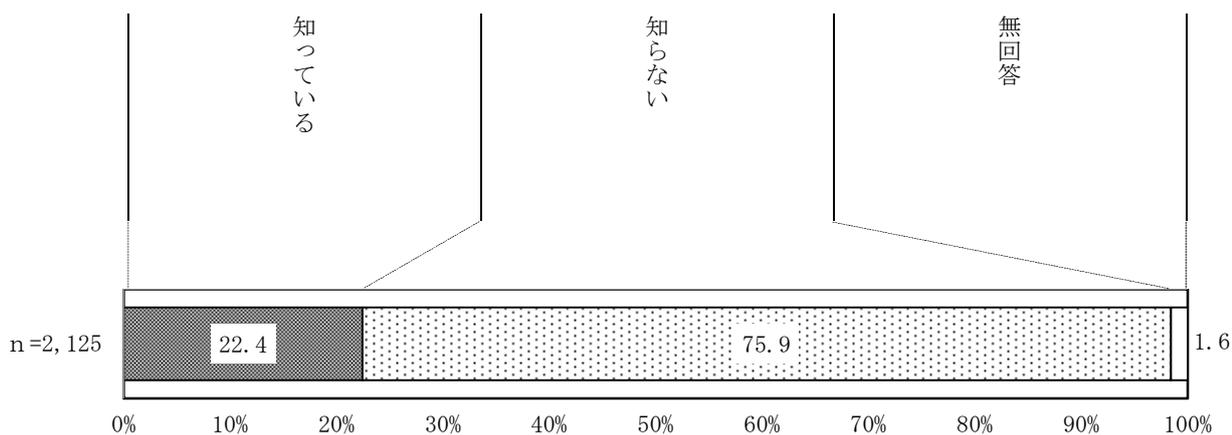
特定保健指導を《利用したことがない》と回答した人に、今後の利用意向をきいたところ、「利用させてみたいと思う」(58.5%)が6割弱を占めた。(図表 2-33)

(22) 無料の「出前健康講座」の周知度

◆周知度は2割強

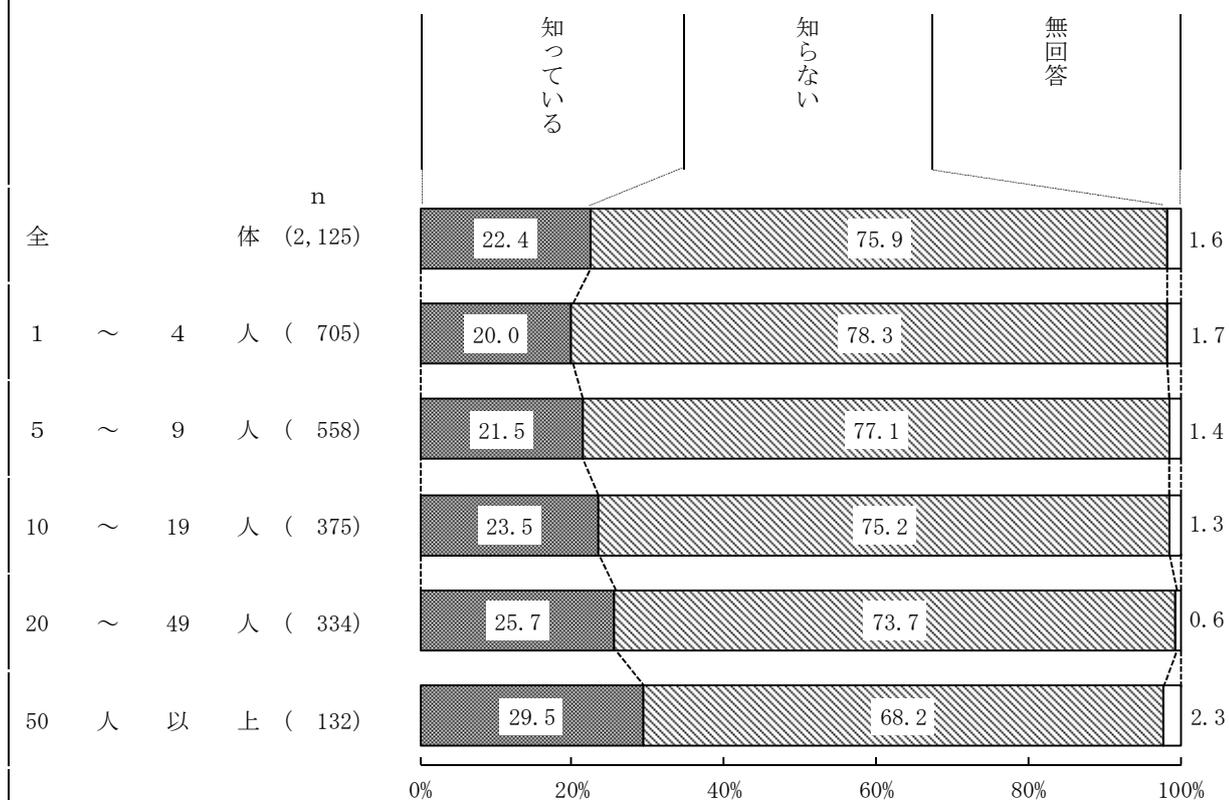
問 22. 船員保険では、職場の研修、会合等の場において、保健師等を派遣し無料の健康講座（出前健康講座）を実施していることをご存知ですか。（○は1つだけ）

図表 2-34 無料の「出前健康講座」の周知度



「知っている」は22.4%にとどまり、「知らない」が75.9%と全体の3/4以上を占め、無料の健康講座（出前健康講座）の周知度は低い。（図表 2-34）

図表 2-35 【被保険者数別】無料の「出前健康講座」の周知度

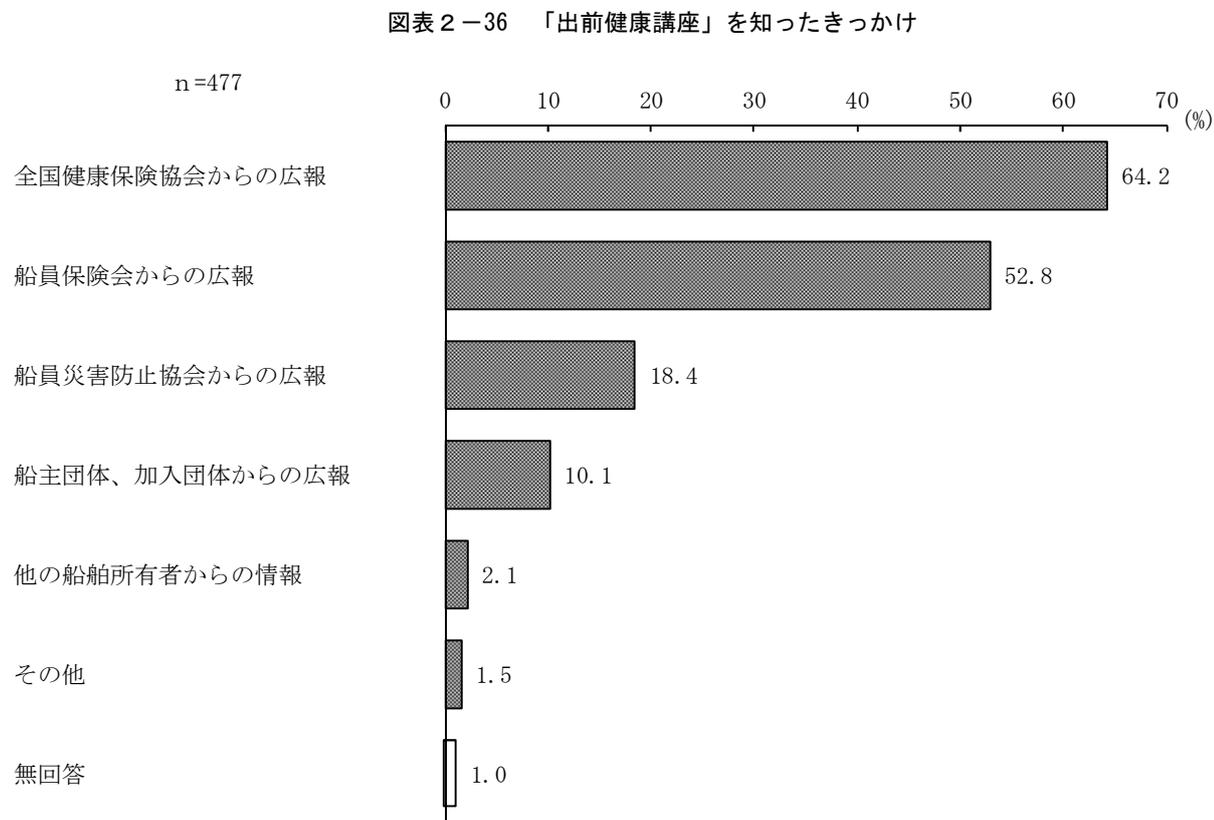


全体結果の傾向と大きな変化はないが、被保険者数別にみると、人数が多くなるにつれ、周知度は、徐々に高くなる傾向がみられる。(図表 2-35)

(23) 「出前健康講座」を知ったきっかけ

◆「全国健康保険協会からの広報」64.2%、「船員保険会からの広報」52.8%

問 23. この健康講座を何で知りましたか。(〇はいくつでも)



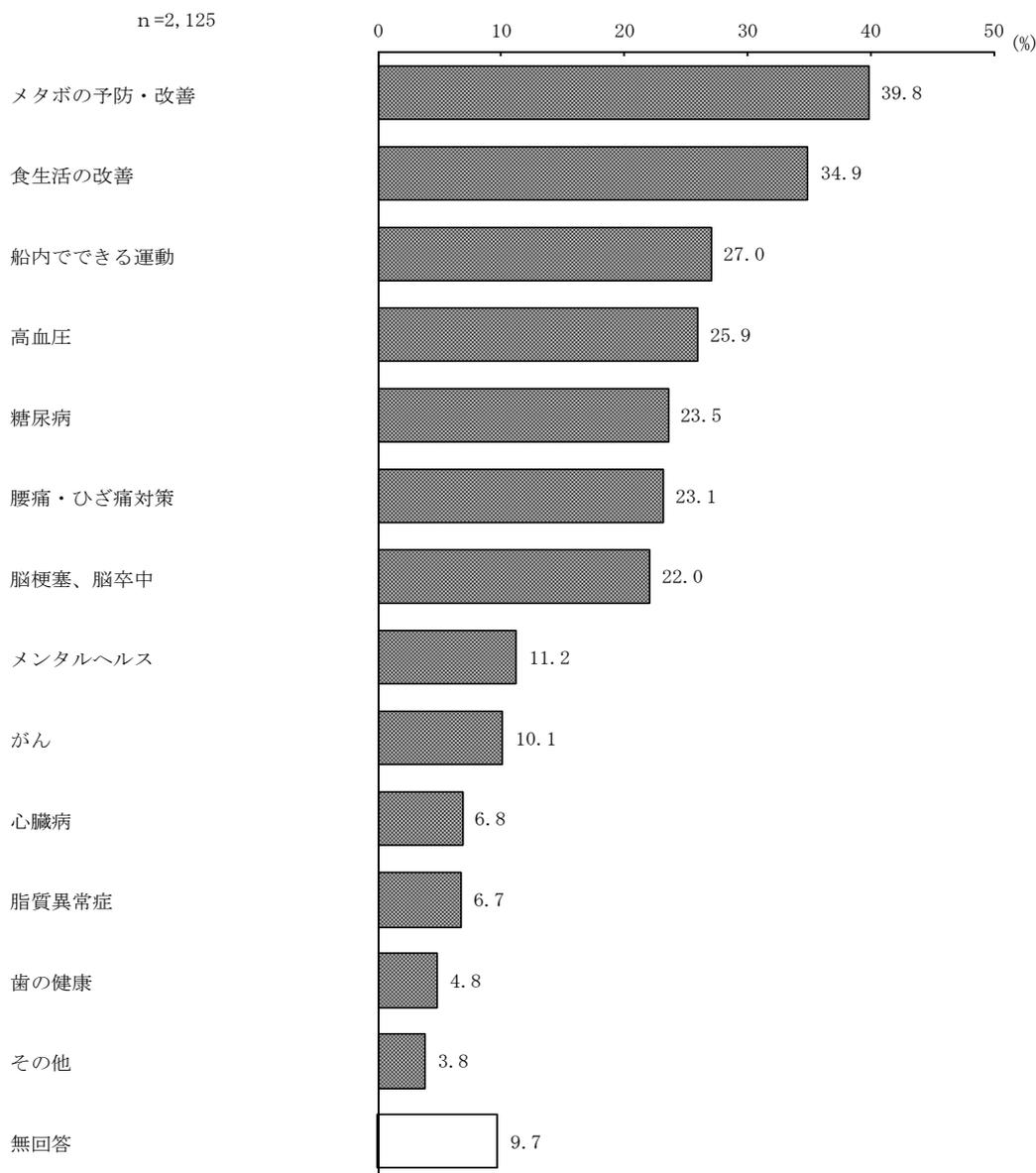
無料の健康講座（出前健康講座）を知ったきっかけは、「全国健康保険協会からの広報」が64.2%で最も多く、「船員保険会からの広報」が52.8%で次いでおり、2つの手段が多くなっている。（図表 2-36）

(24) 申し込んでみたい無料の「出前健康講座」のテーマ

◆「メタボの予防・改善」39.8%、「食生活の改善」34.9%

問 24. 無料の健康講座（出前健康講座）はどのようなテーマであれば申し込んでみたいと思いますか。（○は主なもの3つまで）

図表 2-37 申し込んでみたい無料の「出前健康講座」のテーマ



申し込んでみたい無料の健康講座（出前健康講座）を3つまで回答してもらった。

「メタボの予防・改善」が最も高く39.8%、5ポイント程度の差で「食生活の改善」が34.9%で次いでいる。3位以下7位までは、「船内のできる運動」（27.0%）、「高血圧」（25.9%）、「糖尿病」（23.5%）、「腰痛・ひざ痛対策」（23.1%）、「脳梗塞、脳卒中」（22.0%）の順で5ポイント以内の僅差で続いている。（図表 2-37）

図表 2-38 【所有船の事業内容別】申し込んでみたい無料の「出前健康講座」のテーマ

所有船の事業内容別	n	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
外航船	30 100.0	食生活の改善 50.0%	メタボの予防・改善 46.7%	高血圧 30.0%	腰痛・ひざ痛対策 23.3%	糖尿病 20.0%
内航船（旅客船）	205 100.0	メタボの予防・改善 47.8%	食生活の改善 33.7%	船内のできる運動 25.9%	高血圧 25.4%	腰痛・ひざ痛対策 24.4%
内航船（貨物船）	818 100.0	食生活の改善 40.0%	メタボの予防・改善 37.8%	船内のできる運動 34.7%	高血圧 23.3%	糖尿病 22.5%
漁船	624 100.0	メタボの予防・改善 37.5%	腰痛・ひざ痛対策 30.3%	食生活の改善 28.7%	糖尿病 26.8%	高血圧 26.4%
引き船、作業船等	317 100.0	メタボの予防・改善 42.0%	食生活の改善 34.4%	高血圧 30.9%	糖尿病 24.0%	脳梗塞、脳卒中 22.1%
その他	95 100.0	メタボの予防・改善 47.4%	食生活の改善 33.7%	高血圧 27.4%	船内のできる運動 23.2%	糖尿病 21.1%

※《外航船》は調査数（n）が 30 と少ないため参考数値

所有船の事業内容別に、申し込んでみたい無料の健康講座（出前健康講座）の上位 5 位を整理した。

「メタボの予防・改善」、「食生活の改善」は、各層で 3 位までにランクインしており全般的に要望が強い。“漁船”で「腰痛・ひざ痛対策」が第 2 位となっていることが特徴的である。（図表 2-38）

図表 2-39 【被保険者数別】申し込んでみたい無料の「出前健康講座」のテーマ

被保険者数別	n	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
1～4人	705 100.0	メタボの予防・改善 36.0%	食生活の改善 32.9%	脳梗塞、脳卒中 28.1%	高血圧 25.5%	腰痛・ひざ痛対策 25.4%
5～9人	558 100.0	メタボの予防・改善 39.8%	食生活の改善 36.7%	船内でできる運動 30.8%	高血圧 26.3%	糖尿病 23.3%
10～19人	375 100.0	メタボの予防・改善 37.1%	食生活の改善 34.1%	高血圧 28.0%	糖尿病 26.7%	船内でできる運動 26.4%
20～49人	334 100.0	メタボの予防・改善 43.7%	食生活の改善 36.8%	船内でできる運動 34.7%	高血圧 25.7%	腰痛・ひざ痛対策 22.5%
50人以上	132 100.0	メタボの予防・改善 58.3%	船内でできる運動 37.1%	食生活の改善 36.4%	高血圧／脳梗塞、脳卒中 21.2%	

被保険者数別に、申し込んでみたい無料の健康講座（出前健康講座）の上位 5 位を整理した。

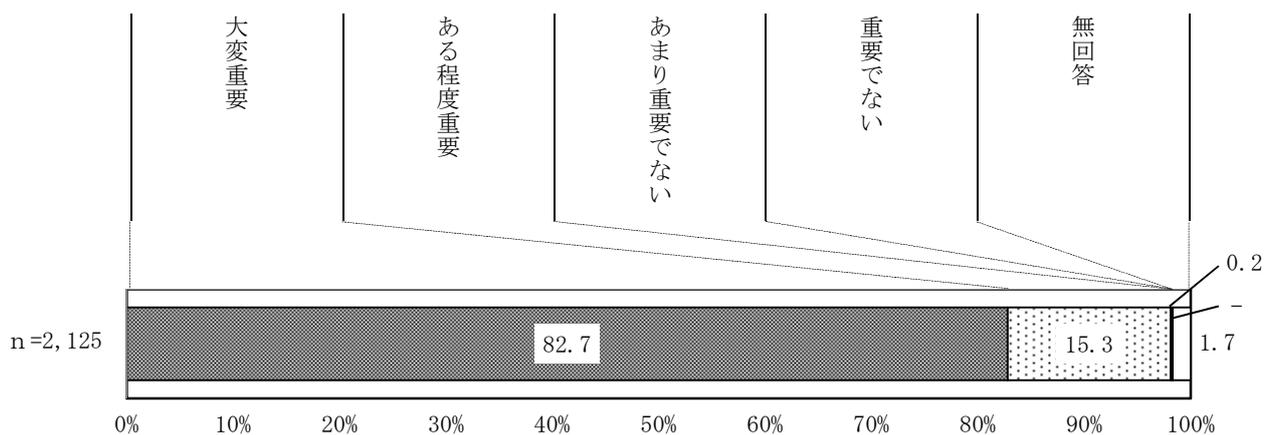
「メタボの予防・改善」はすべての層で第 1 位、「食生活の改善」は《50人未満》の各層で第 2 位となっているが、“50人以上”では、比率差は少ないが「船内でできる運動」が第 2 位で「食生活の改善」は第 3 位となっている。また、第 3 位と第 4 位の間に 15 ポイント以上の差があり、他の層に比べ、比率差が大きくなっている。（図表 2-39）

(25) 会社（船）における「船員の健康」に対する意識

◆ほぼ全員が《重要》

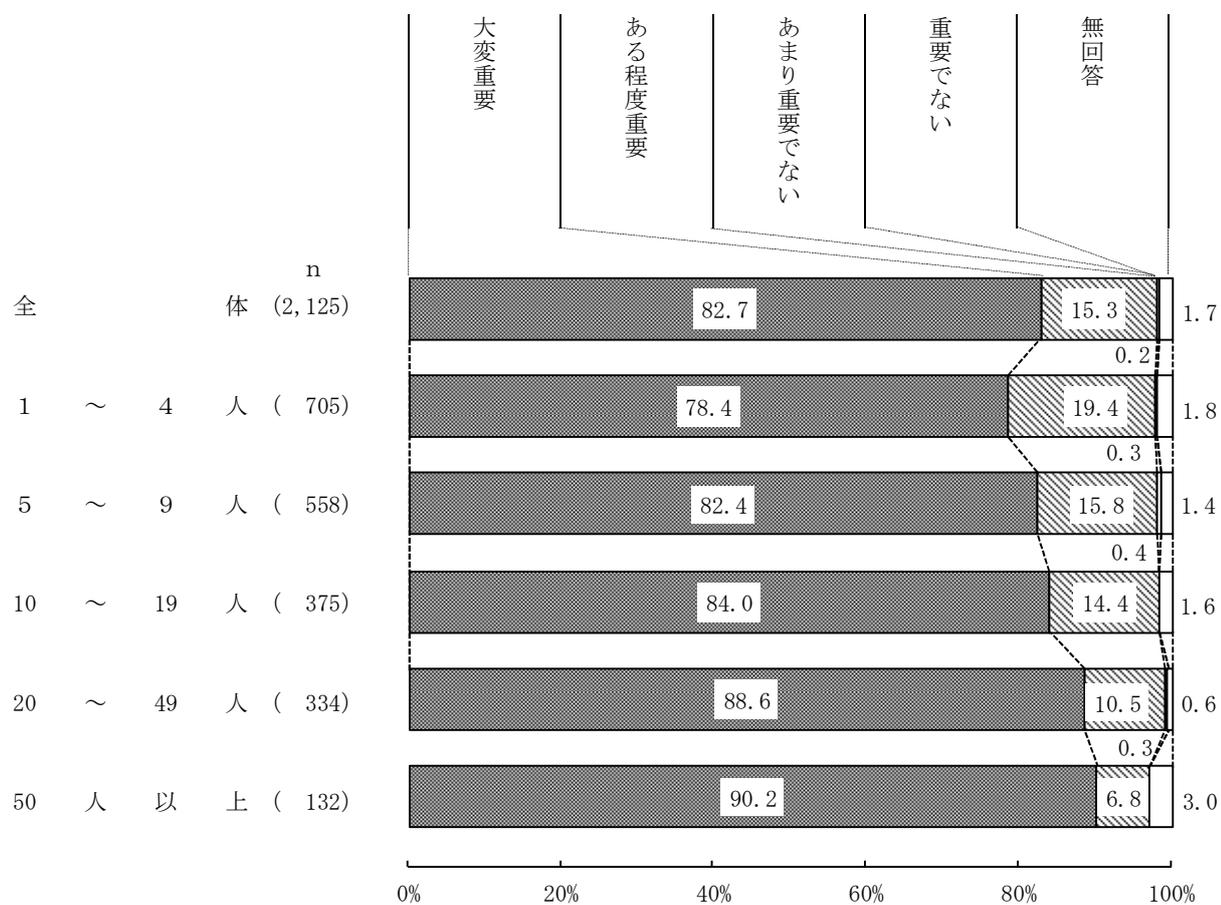
問 25. 船員の健康を守ることは、あなたの会社（船）にとって影響のある重要な問題であるとお考えですか。（○は1つだけ）

図表 2-40 会社（船）における「船員の健康」に対する意識



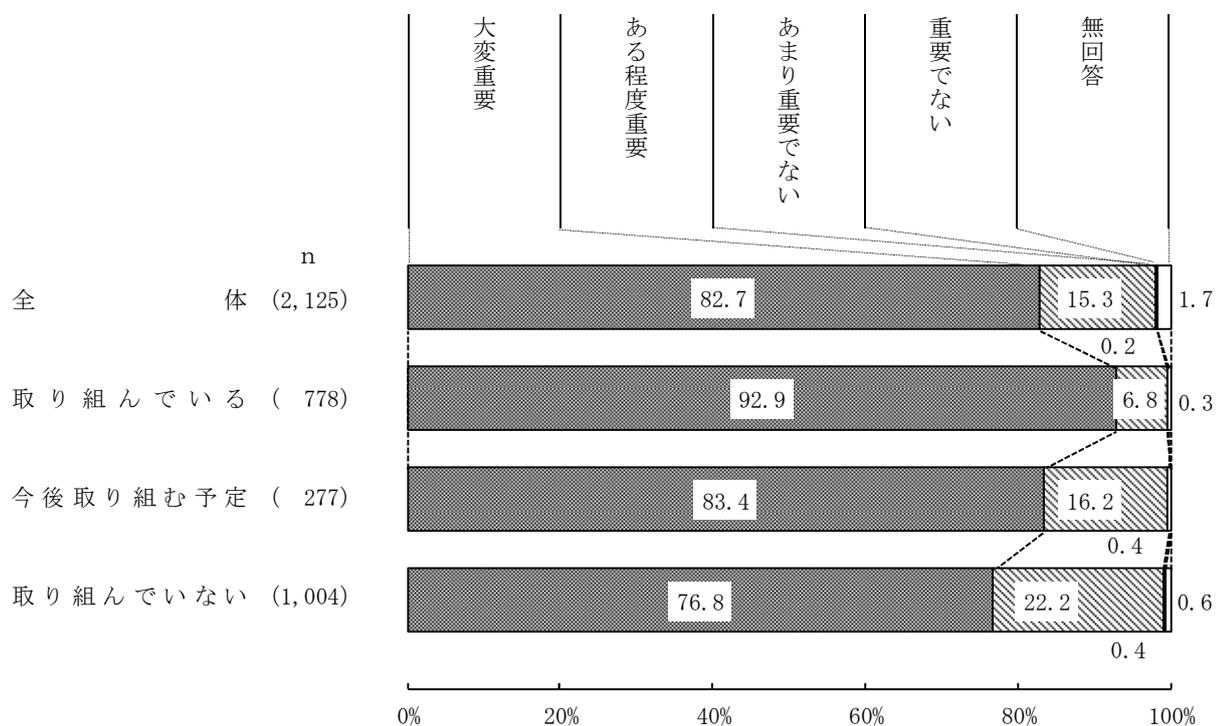
「船員の健康」に対する意識は、「大変重要」（82.7%）、「ある程度重要」（15.3%）で《重要》（「大変重要」＋「ある程度重要」）の割合は98.0%と回答者のほぼ全員から《重要》と認識されている。（図表 2-40）

図表 2-41 【被保険者数別】会社（船）における「船員の健康」に対する意識



被保険者数別にみると、「大変重要」は、人数が多くなるほど高くなり、“50人以上”では90.2%になっている。(図表 2-41)

図表 2-42 【船員の健康づくりの取り組み状況別】会社（船）における「船員の健康」に対する意識



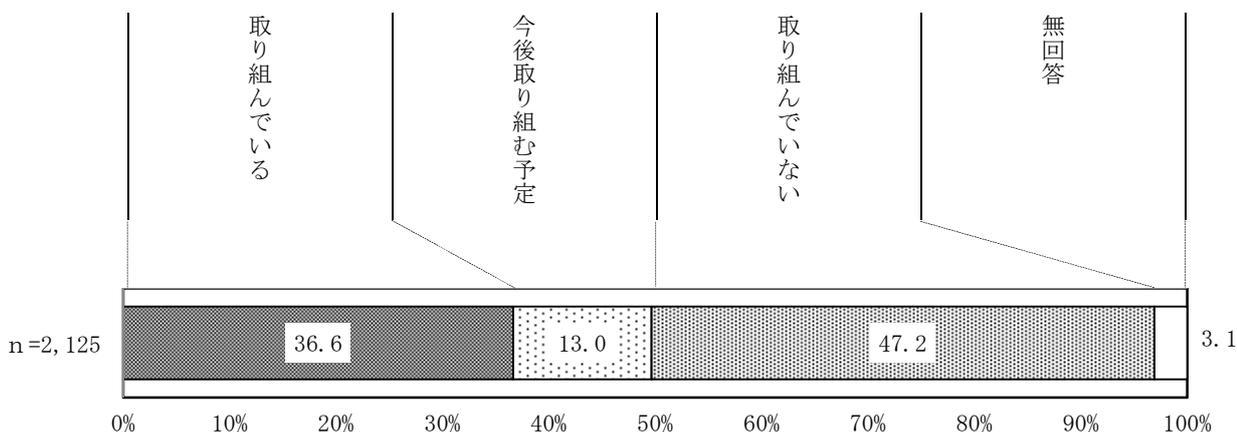
船員の健康づくりの取り組み状況別でみると、「大変重要」は、「取り組んでいる」では92.9%となっているが、取組み状況が悪くなるほど低くなり、「取り組んでいない」では76.8%まで減少している。(図表 2-42)

(26) 船員の健康づくりの取り組み状況

◆「取り組んでいる」36.6%、《取り組み意向》は約5割

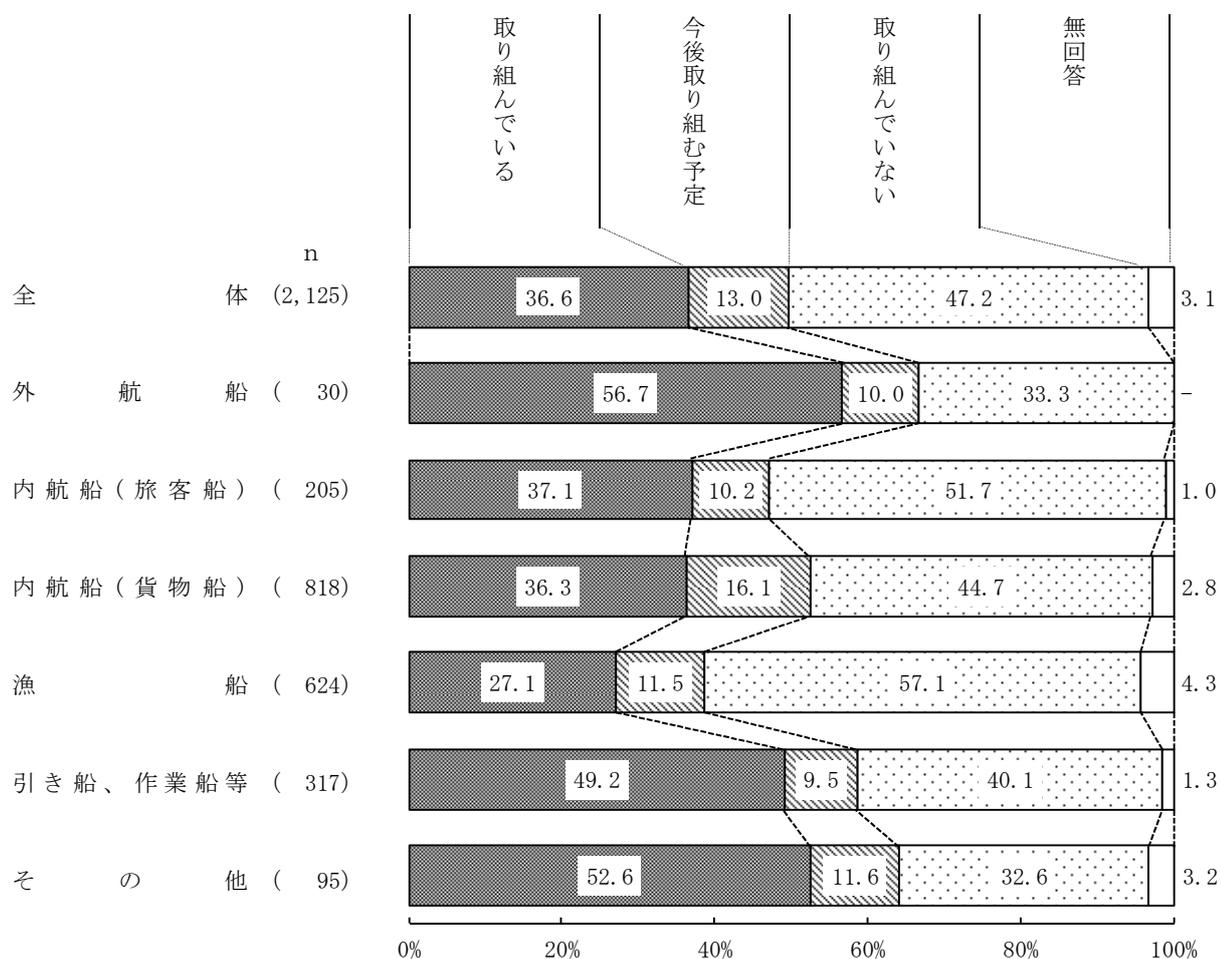
問 26. あなたの会社（船）では、船員の健康づくりに取り組んでいますか。（○は1つだけ）

図表 2-43 船員の健康づくりの取り組み状況



船員の健康づくりに「取り組んでいる」(36.6%)、「今後取り組む予定」(13.0%)、「取り組んでいない」は47.2%で、《取り組み意向》の有無の割合は、ほぼ1：1である。(図表 2-43)

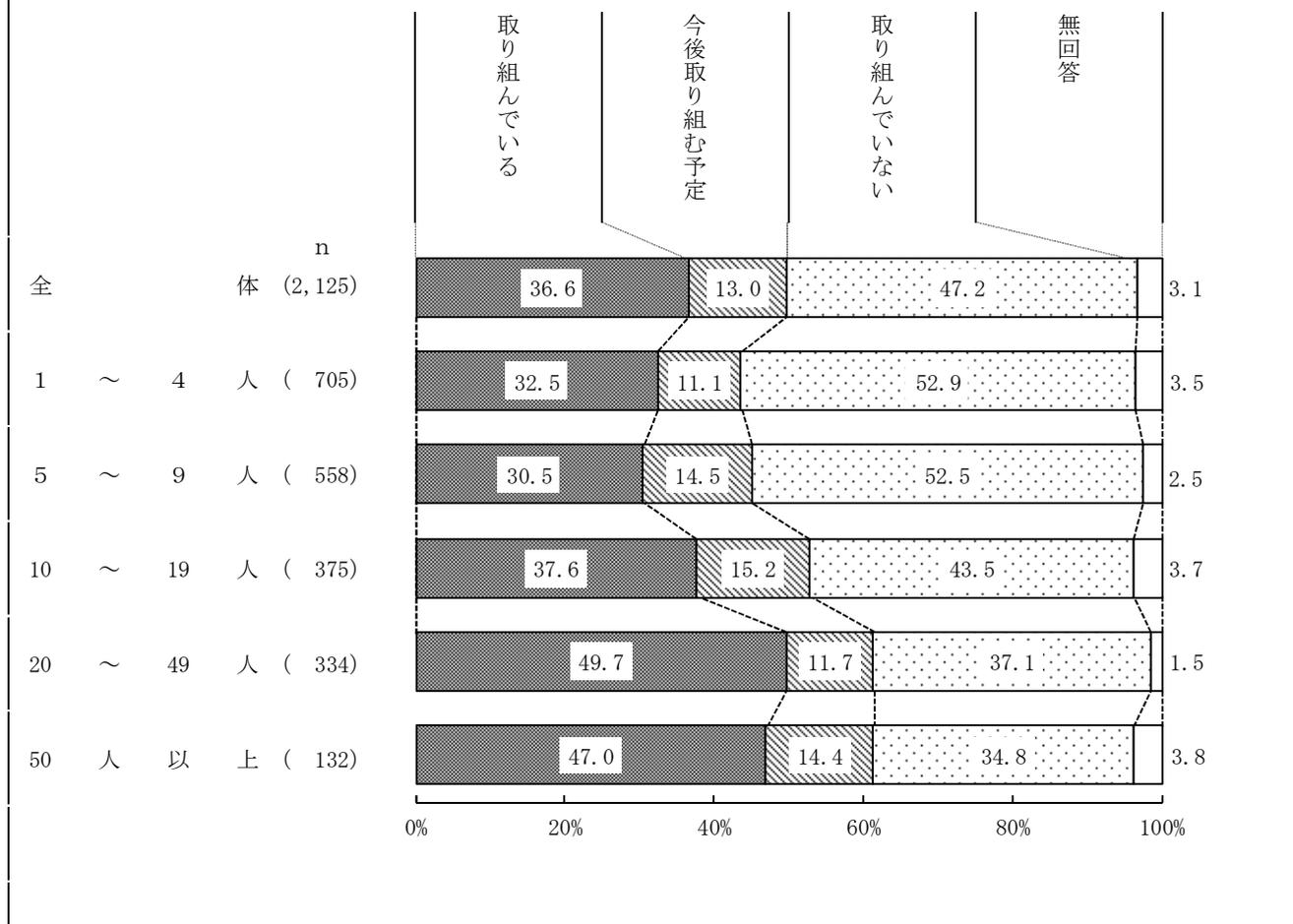
図表 2-44 【所有船の事業内容別】船員の健康づくりの取り組み状況



※《外航船》は調査数 (n) が 30 と少ないため参考数値

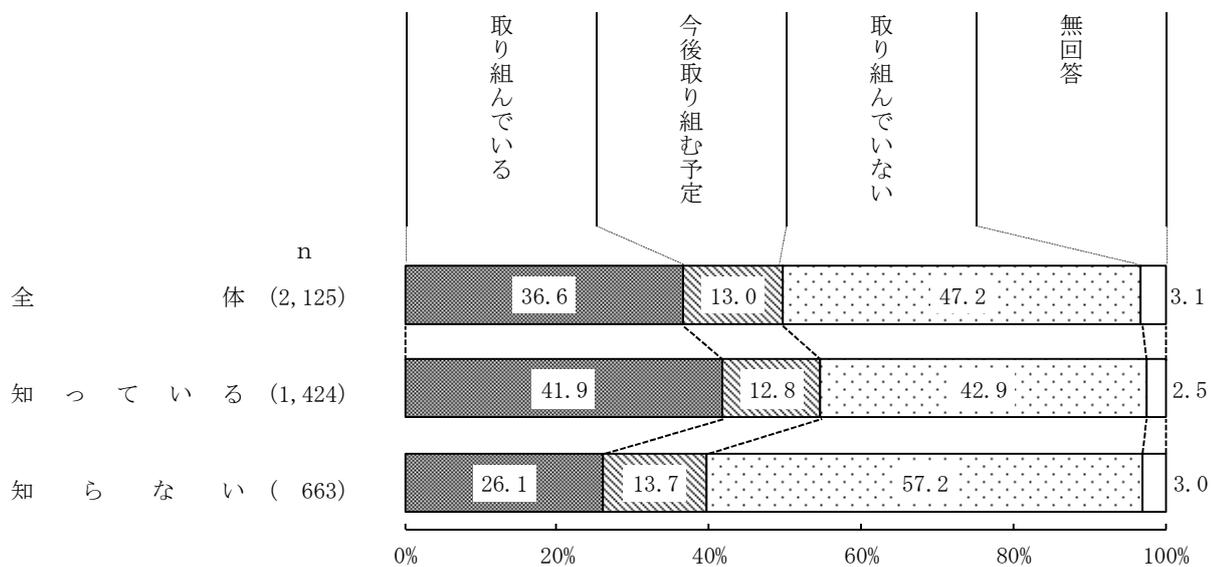
所有船の事業内容別にみると、取り組み実績・意向とも“外航船”、“引き船、作業船等”で高く、逆に“漁船”は、「取り組んでいない」が6割近くを占め、取り組み実績・意向とも低くなっている。(図表 2-44)

図表 2-45 【被保険者数別】船員の健康づくりの取り組み状況



被保険者数別にみると、人数が多くなるにつれ、取り組み実績・意向は、徐々に高くなる傾向がみられ、《20人未満》までは「取り組んでいない」が最も高くなっているが、《20人以上》では「取り組んでいる」の割合が最も高くなり、《取り組み意向》は6割を超えている。(図表 2-45)

図表 2-46 【船員手帳持参により健康証明も併せて受けられることの周知状況別】 船員の健康づくりの取り組み状況



船員保険が実施している各種サービスの周知状況別にみると、サービスごとに比率差はあるものの、サービスを周知している層の方が取り組み実績・意向とも高くなっている。

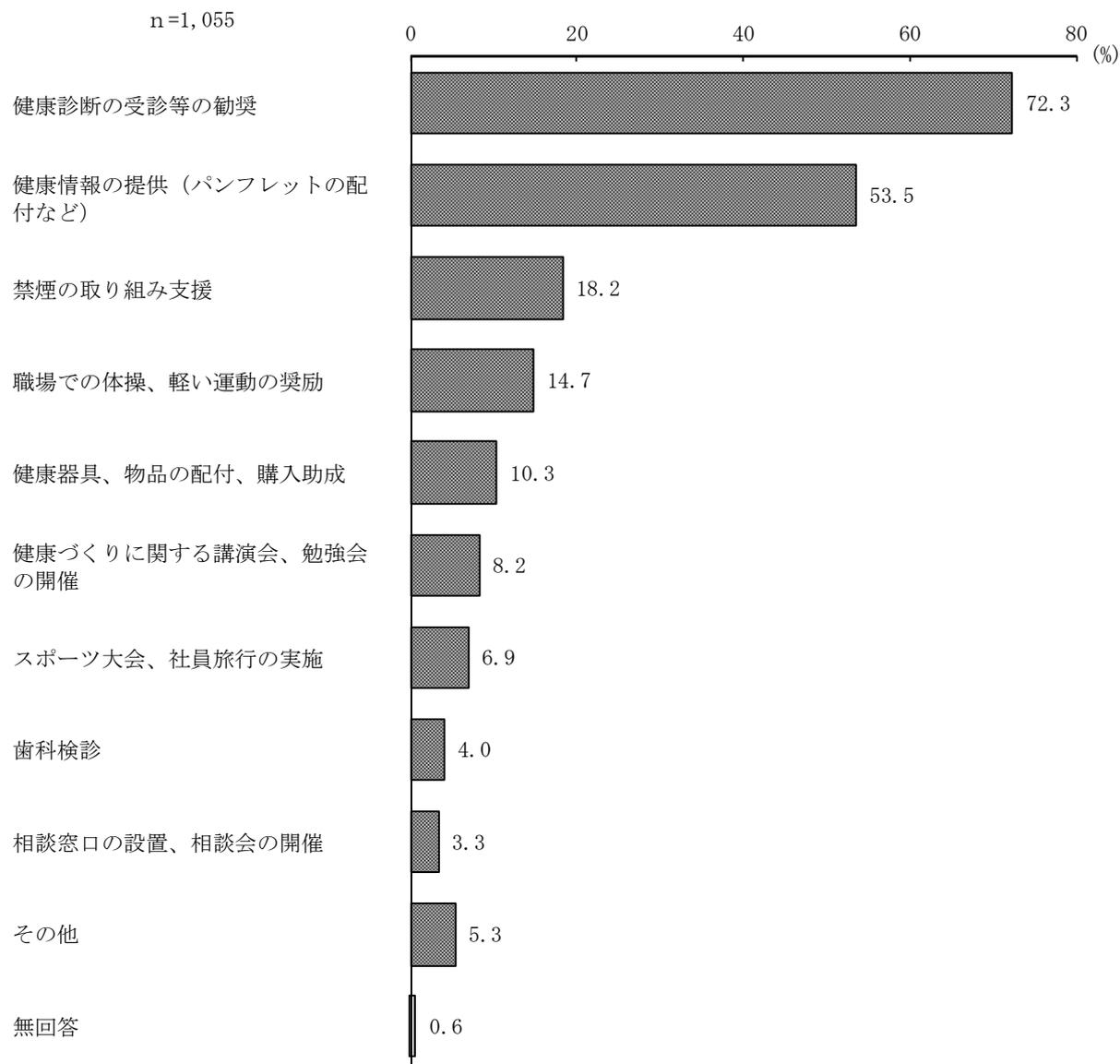
代表して、船員手帳持参により健康証明も併せて受けられることの周知状況別にみると、“知っている”は「取り組んでいる」(41.9%)、「今後取り組む予定」(12.8%)なのに対し、“知らない”では「取り組んでいる」(26.1%)、「今後取り組む予定」(13.7%)で、取り組み実績・意向には15ポイント程度の差がみられる。(図表2-46)

(27) 船員の健康づくりに関する具体的な取り組みの内容

◆「健康診断の受診等の勧奨」72.3%、「健康情報の提供（パンフレットの配付など）」53.5%

問 27. 具体的にどのような取り組みをされて（または予定されて）いますか。（○はいくつでも）

図表 2-47 具体的な取り組みの内容



船員の健康づくりに、取り組んでいる・取り組む予定と回答した人にその内容ついてきいてみた。

「健康診断の受診等の勧奨」が最も高く 72.3%、「健康情報の提供（パンフレットの配付など）」が 53.5% で次いでおり、第 3 位の「禁煙の取り組み支援」（18.2%）とは 35 ポイント以上の大きさがみられる。（図表 2-47）

図表 2-48 【所有船の事業内容別】具体的な取り組みの内容

(%)

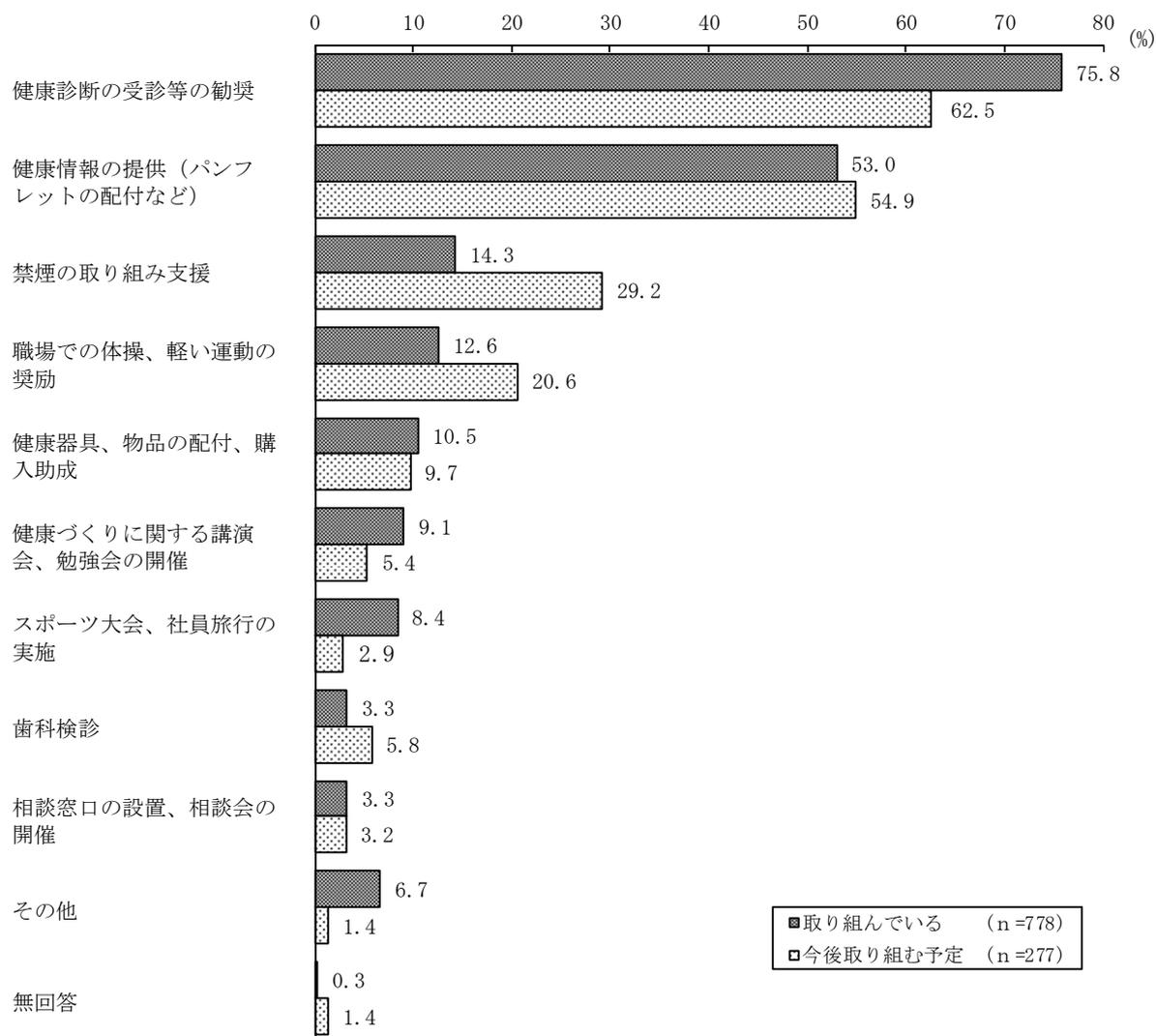
	n	健康情報の提供（パンフレットの配付など）	健康づくりに関する講演会、勉強会の開催	健康診断の受診等の勧奨	成	健康器具、物品の配付、購入助	相談窓口の設置、相談会の開催	職場での体操、軽い運動の奨励	スポーツ大会、社員旅行の実施	禁煙の取り組み支援	歯科検診	その他	無回答
全体	1,055	53.5	8.2	72.3	10.3	3.3	14.7	6.9	18.2	4.0	5.3	0.6	
事業内容別	外航船	20	50.0	-	80.0	20.0	5.0	10.0	-	20.0	10.0	10.0	-
	内航船 （旅客船）	97	49.5	24.7	73.2	5.2	5.2	12.4	8.2	18.6	-	5.2	-
	内航船 （貨物船）	429	62.5	4.4	69.0	14.7	0.9	15.6	3.7	17.5	5.1	6.3	0.7
	漁船	241	42.3	5.8	72.2	7.1	2.1	9.5	7.1	24.9	4.6	6.2	0.4
	引き船、 作業船等	186	51.1	9.7	80.1	7.5	8.1	19.9	11.8	11.8	1.1	2.7	0.5
	その他	61	49.2	18.0	75.4	6.6	8.2	23.0	14.8	16.4	4.9	3.3	-

※《外航船》は調査数（n）が20と少ないため参考数値

所有船の事業内容別にみると、「健康診断の受診等の勧奨」は、「引き船、作業船等」、「外航船」で、「健康情報の提供（パンフレットの配付など）」は、「内航船（貨物船）」でやや高くなっている。

“内航船（旅客船）”では、全体結果では10%に満たなかった「健康づくりに関する講演会、勉強会の開催」が24.7%と高くなっている。（図表2-48）

図表 2-49 【船員の健康づくりの取り組み状況別】具体的な取り組みの内容



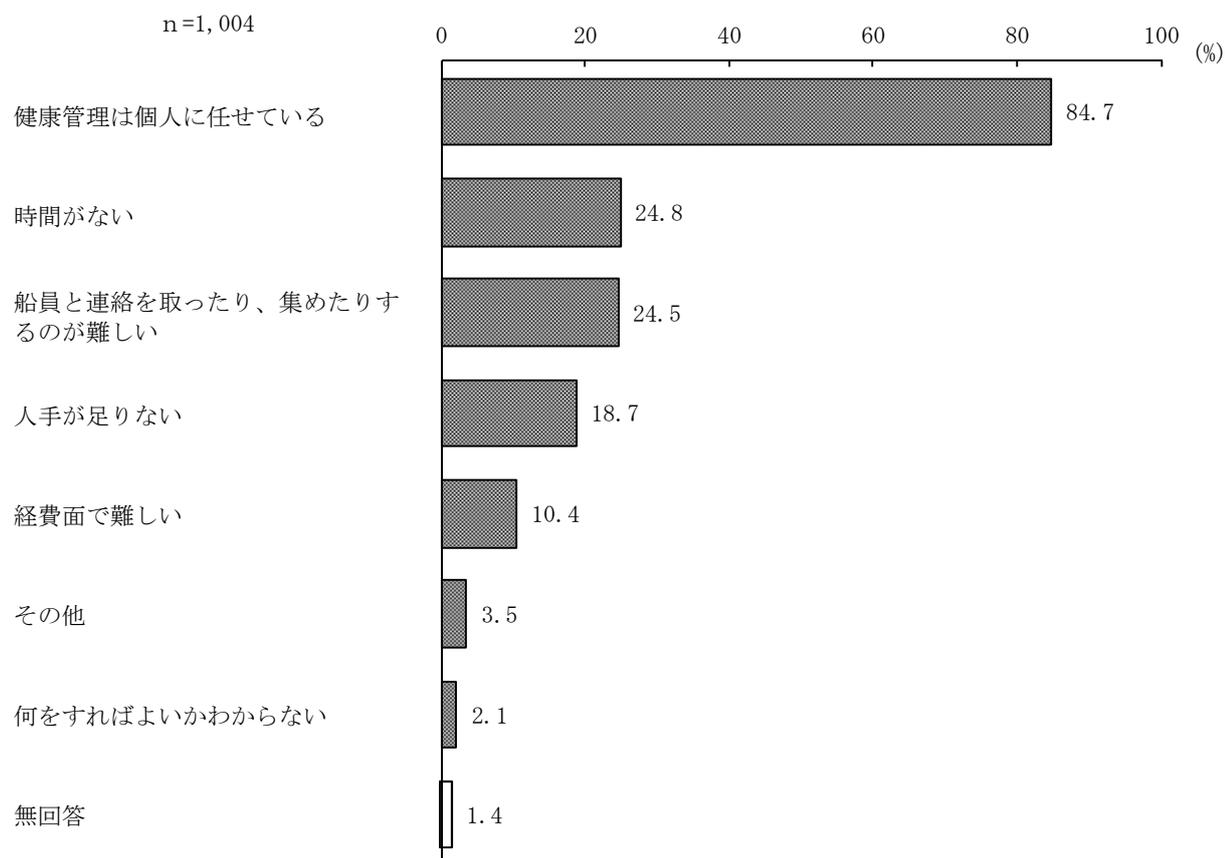
船員の健康づくりの取り組み状況別にみると、全体結果で第1位の「健康診断の受診等の勧奨」は、「取り組んでいる」で高く、「禁煙の取り組み支援」、「職場での体操、軽い運動の奨励」は「今後取り組む予定」の方が高くなっている。(図表 2-49)

(28) 船員の健康づくりについて取り組まれていない理由

◆「健康管理は個人に任せている」が84.7%で第1位

問 28. 取り組まれていない主な理由は何ですか。(○は主なものを3つまで)

図表 2-50 取り組まれていない理由



船員の健康づくりに、取り組んでいない理由を3つまで回答してもらった。

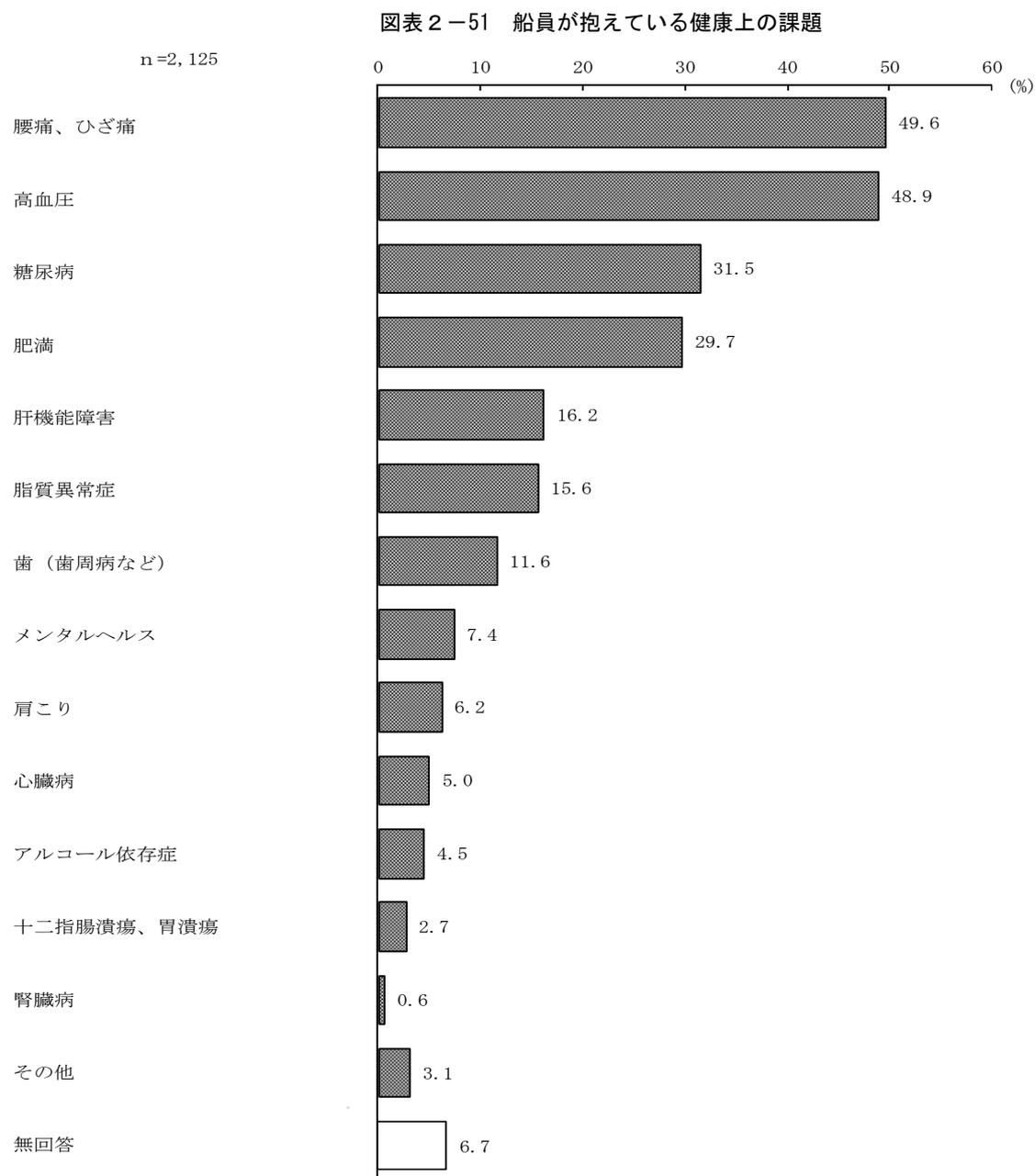
「健康管理は個人に任せている」が84.7%で特に多く、「時間がない」(24.8%)、「船員と連絡を取ったり、集めたりするのが難しい」(24.5%)の2位・3位とは約60ポイントの大差がみられる。

(図表 2-50)

(29) 船員が抱えている健康上の課題

◆「腰痛・ひざ痛」49.6%、「高血圧」48.9%

問 29. 船員が抱えている健康上の主な課題は何だと思われますか。(○は主なものを3つまで)



船員が抱えている健康上の課題について、3つまで回答してもらった。

「腰痛、ひざ痛」(49.6%)、「高血圧」(48.9%)が僅差で第1位、第2位、以下「糖尿病」(31.5%)、「肥満」(29.7%)の順になっている。(図表2-51)

図表 2-52 【所有船の事業内容別】船員が抱えている健康上の課題

所有船の事業内容別	n	第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位
外航船	30 100.0	高血圧 60.0%	腰痛、ひざ痛 43.3%	肥満 30.0%	糖尿病／歯（歯周病など） 20.0%	
内航船（旅客船）	205 100.0	腰痛、ひざ痛 52.2%	高血圧 46.3%	肥満 40.0%	糖尿病 22.9%	肝機能障害 16.6%
内航船（貨物船）	818 100.0	高血圧 49.4%	腰痛、ひざ痛 46.5%	糖尿病 35.1%	肥満 31.8%	歯（歯周病など） 16.4%
漁船	624 100.0	腰痛、ひざ痛 61.9%	高血圧 43.6%	糖尿病 31.7%	肥満 24.2%	肝機能障害 18.6%
引き船、作業船等	317 100.0	高血圧 57.1%	腰痛、ひざ痛 35.0%	糖尿病 30.0%	肥満 26.8%	脂質異常症 24.9%
その他	95 100.0	高血圧 53.7%	腰痛、ひざ痛 46.3%	肥満 33.7%	糖尿病 31.6%	肝機能障害 15.8%

※《外航船》は調査数（n）が 30 と少ないため参考数値

所有船の事業内容別に、船員が抱えている健康上の課題の上位 5 位を整理した。

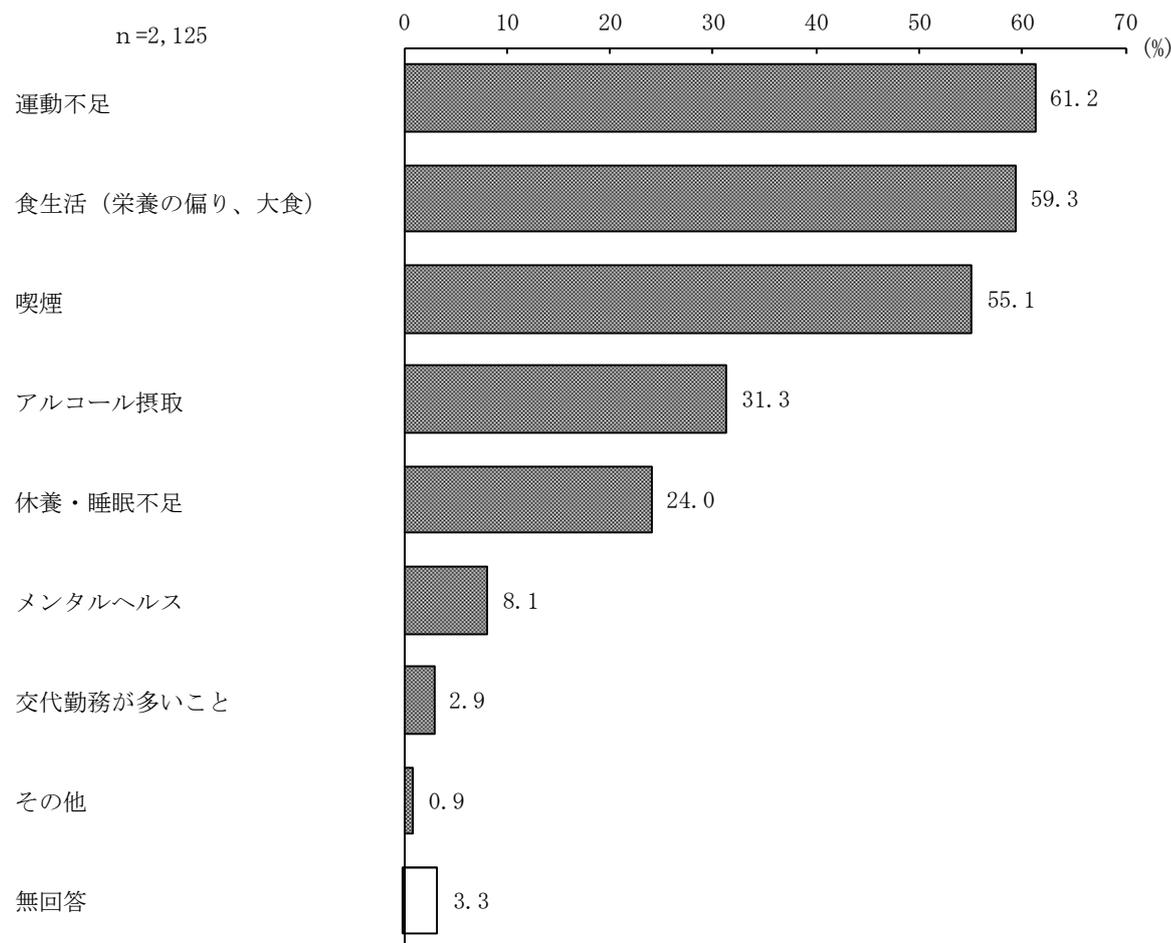
「腰痛、ひざ痛」、「高血圧」は、各層で第 2 位までにランクインしており全般的に要望が強い。“漁船”では「腰痛・ひざ痛」、「高血圧」の順で 1 位、2 位、逆に“引き船、作業船等”、“外航船”では「高血圧」、「腰痛・ひざ痛」、の順で 1 位、2 位となっているが、1・2 位間の比率差が大きいことが特徴的である。（図表 2-52）

(30) 健康の保持・増進を図る上での生活習慣上の課題

◆「運動不足」61.2%、「食生活（栄養の偏り、大食）」59.3%、「喫煙」55.1%

問 30. 船員の健康の保持・増進のために、改善を図る必要があると思われる生活習慣上の主な課題は何ですか。（○は主なものを3つまで）

図表 2-53 健康の保持・増進を図る上での生活習慣上の課題



改善を図る必要がある生活習慣上の課題について、3つまで回答してもらった。

「運動不足」(61.2%)、「食生活（栄養の偏り、大食）」(59.3%)、「喫煙」(55.1%)の順に上位3位で、4位の「アルコール摂取」(31.3%)とは、20ポイント以上の差がみられる。(図表2-53)

図表 2-54 【所有船の事業内容別】健康の保持・増員を図る上での生活習慣上の課題

(%)

		n	喫煙	運動不足	休養・睡眠不足	食生活（栄養の偏り、大食）	アルコール摂取	メンタルヘルス	交代勤務が多いこと	その他	無回答
全体		2,125	55.1	61.2	24.0	59.3	31.3	8.1	2.9	0.9	3.3
事業内容別	外航船	30	46.7	53.3	23.3	56.7	33.3	26.7	6.7	-	-
	内航船 （旅客船）	205	53.7	67.8	19.0	59.5	23.9	9.8	3.4	2.0	3.4
	内航船 （貨物船）	818	50.9	64.2	24.9	60.3	32.0	7.5	3.7	0.9	3.5
	漁船	624	64.9	55.4	29.3	57.4	32.5	3.4	1.1	0.8	2.7
	引き船、 作業船等	317	48.9	63.4	17.0	64.4	33.1	15.1	2.8	0.3	1.3
	その他	95	56.8	61.1	16.8	50.5	29.5	14.7	4.2	2.1	7.4

※《外航船》は調査数（n）が30と少ないため参考数値

所有船の事業内容別にみると、「運動不足」は、「内航船（旅客船）」で「食生活（栄養の偏り、大食）」は、「引き船、作業船等」でやや高くなっている。

“漁船”では、「喫煙」が64.9%で最も高くなっていることが他とは異なる特徴である。（図表2-54）

図表 2-55 【被保険者数別】健康の保持・増員を図る上での生活習慣上の課題

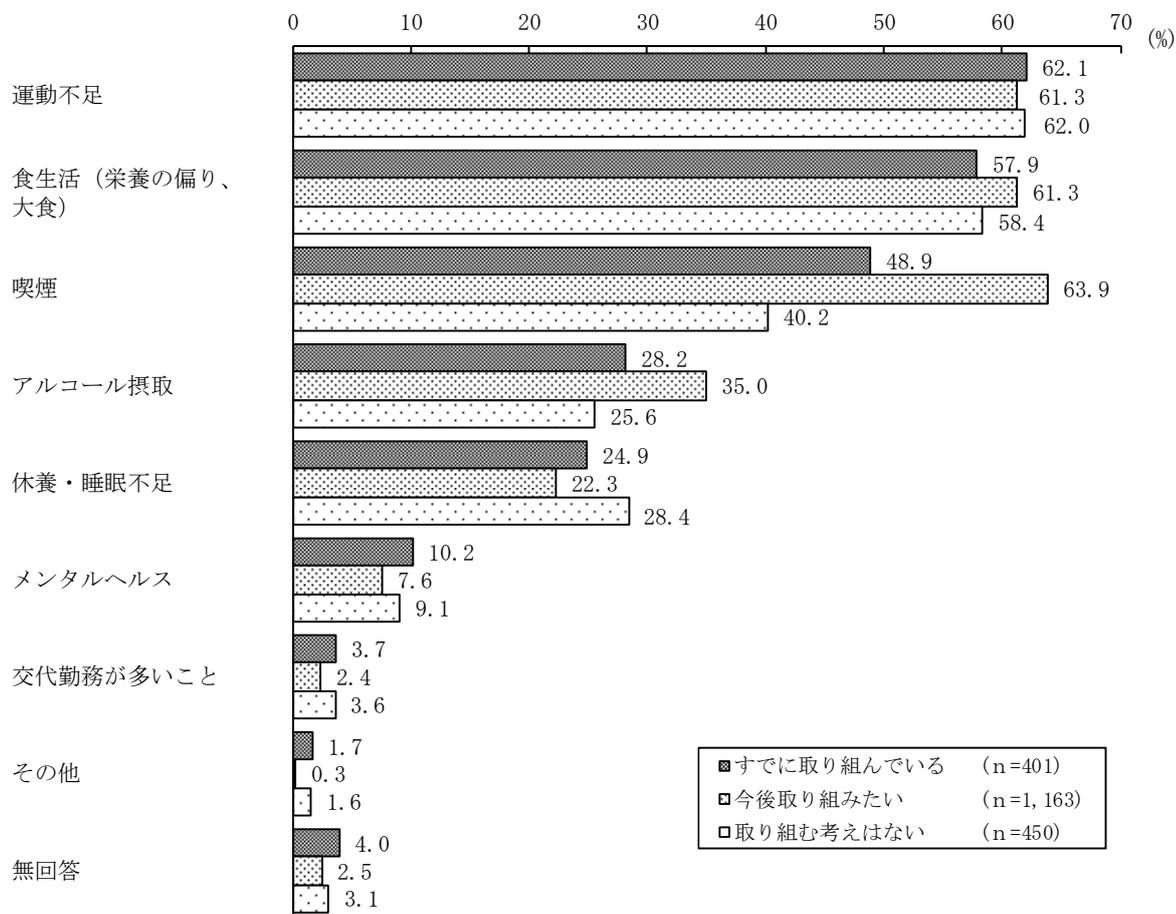
(%)

		n	喫煙	運動不足	休養・睡眠不足	食生活（栄養の偏り、大食）	アルコール摂取	メンタルヘルス	交代勤務が多いこと	その他	無回答
全体		2,125	55.1	61.2	24.0	59.3	31.3	8.1	2.9	0.9	3.3
船員保険の被保険者数	1～4人	705	48.9	61.6	26.5	57.2	28.7	8.2	1.6	0.6	3.5
	5～9人	558	53.9	61.1	26.2	63.8	26.9	7.5	2.9	1.3	2.5
	10～19人	375	61.1	58.1	24.8	58.4	31.2	6.9	3.5	0.5	4.5
	20～49人	334	62.6	64.7	19.2	60.2	38.3	8.7	2.7	0.9	2.4
	50人以上	132	58.3	59.1	12.1	55.3	50.8	12.1	8.3	1.5	3.0

被保険者数別にみると、全体結果の上位3位に大きな差はみられないが、4位以下に特徴がみられる。

「休養・睡眠不足」は人数が多くなるほど比率は低くなり、逆に「アルコール摂取」、「メンタルヘルス」では高くなる傾向がみられる。特に“50人以上”での「アルコール摂取」は50.8%と全体結果より20ポイント弱高くなっている。(図表2-55)

図表 2-56 【船内の禁煙運動の取り組み状況別】健康の保持・増員を図る上での生活習慣上の課題



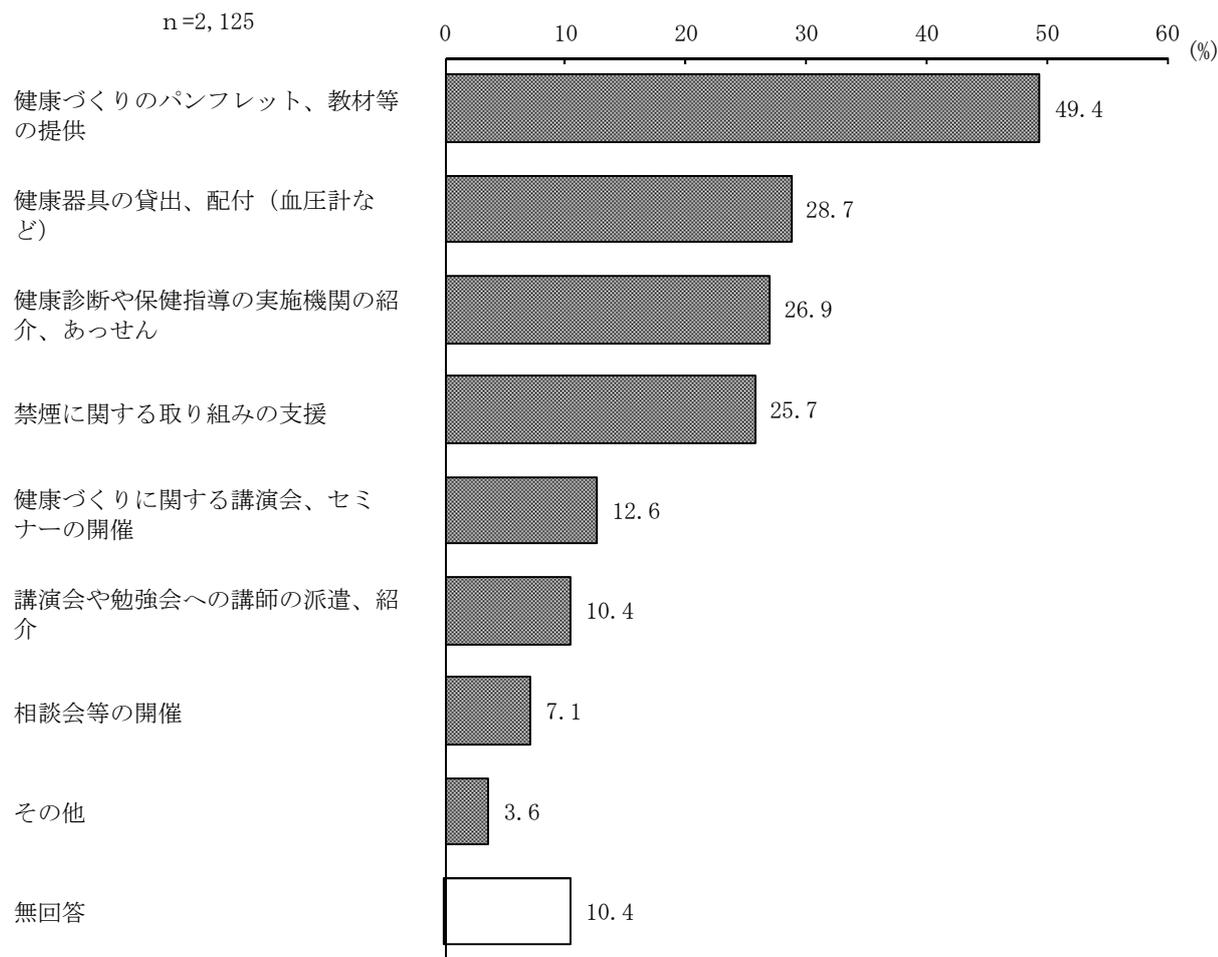
船内の禁煙運動の取り組み状況別でみると、“今後取り組みたい”では、「喫煙」、「食生活（栄養の偏り、大食）」、「アルコール摂取」が他の層に比べ、やや高くなっている。（図表 2-56）

(31) 船員の健康づくりを進めるうえで、船員保険からの必要な支援

◆「健康づくりのパンフレット、教材等の提供」が49.4%で第1位

問31. 自社（船）の船員の健康づくりを進めるうえで、船員保険から、主にどのような支援があればよいと思いますか。（○は主なものを3つまで）

図表2-57 船員の健康づくりを進めるうえで、船員保険からの必要な支援



船員保険からの健康づくりに関する必要な支援について、3つまで回答してもらった。

「健康づくりのパンフレット、教材等の提供」が49.4%で最も高く、以下20ポイント以上の差で「健康器具の貸出、配付（血压計など）」（28.7%）、「健康診断や保健指導の実施機関の紹介、あっせん」（26.9%）、「禁煙に関する取り組みの支援」（25.7%）の順に僅差で続いている。（図表2-57）

図表 2-58 【所有船の事業内容別】船員の健康づくりを進めるうえで、船員保険からの必要な支援

(%)

		n	紹介 講演会や勉強会への講師の派遣、 等の提供	健康づくりのパンフレット、教材 の紹介、あつせん	健康診断や保健指導の実施機 関	健康器具の貸出、配付（血圧計な ど）	禁煙に関する取り組みの支援	ナー の開催	健康づくりに関する講演会、セミ ナーの開催	相談会等の開催	その他	無回 答
全体		2,125	10.4	49.4	26.9	28.7	25.7	12.6	7.1	3.6	10.4	
事業 内容 別	外航船	30	10.0	60.0	30.0	26.7	30.0	16.7	10.0	3.3	6.7	
	内航船 (旅客船)	205	17.1	44.9	28.8	29.3	22.9	21.5	8.3	3.4	6.8	
	内航船 (貨物船)	818	8.6	53.9	29.0	31.8	24.0	9.7	6.1	2.9	10.5	
	漁船	624	11.1	39.6	24.7	25.0	33.3	11.7	8.7	4.6	13.1	
	引き船、 作業船等	317	7.9	58.7	25.9	30.0	17.7	14.5	6.3	4.1	6.3	
	その他	95	17.9	55.8	27.4	21.1	25.3	21.1	6.3	2.1	7.4	

※《外航船》は調査数（n）が30と少ないため参考数値

所有船の事業内容別にみると、「健康づくりのパンフレット、教材等の提供」は、“引き船、作業船等”、“外航船”でやや高くなっている。

“漁船”では、「禁煙に関する取り組みの支援」がやや高く、「健康づくりのパンフレット、教材等の提供」がやや低くなっている。（図表 2-58）

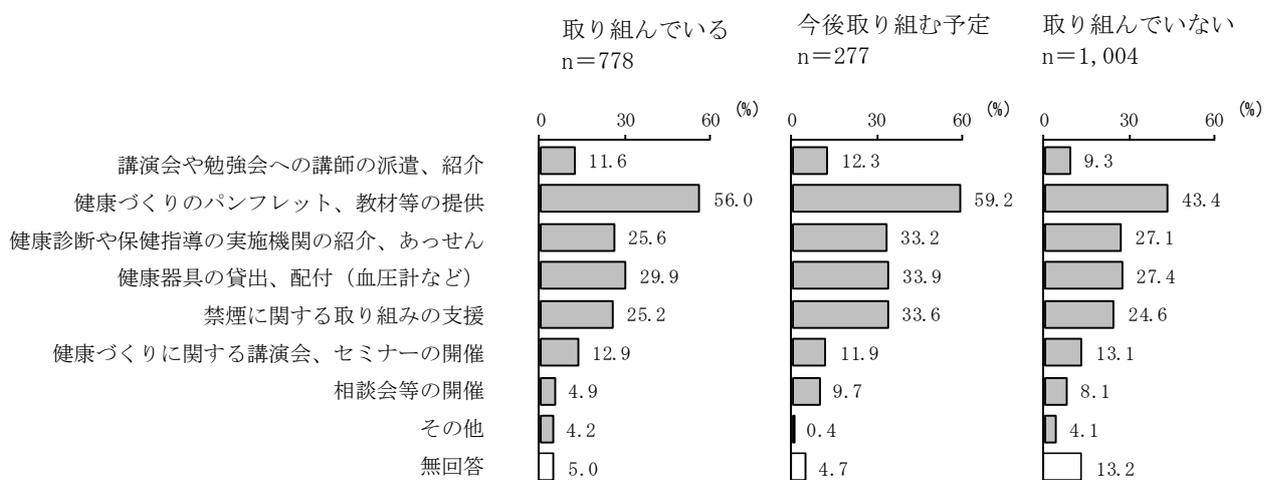
図表 2-59 【被保険者数別】船員の健康づくりを進めるうえで、船員保険からの必要な支援

(%)

		n	遣、紹介 講演会や勉強会への講師の派遣、紹介	健康づくりのパンフレット、 教材等の提供	健康診断や保健指導の実施機 関の紹介、あつせん	健康器具の貸出、配付（血圧 計など）	禁煙に関する取り組みの支援	健康づくりに関する講演会、 セミナーの開催	相談会等の開催	その他	無回答
全体		2,125	10.4	49.4	26.9	28.7	25.7	12.6	7.1	3.6	10.4
被 保 険 者 数	1～4人	705	8.1	45.2	28.9	27.5	23.4	13.3	7.2	4.0	11.6
	5～9人	558	9.0	48.2	29.0	27.4	26.5	12.7	7.5	3.8	10.4
	10～19人	375	11.7	54.1	22.1	29.3	27.2	12.8	7.5	2.7	10.9
	20～49人	334	14.4	52.4	26.0	30.5	26.3	10.5	6.9	3.6	9.0
	50人以上	132	15.2	57.6	22.7	33.3	31.8	15.2	5.3	3.8	3.8

被保険者数別にみると、大きな比率差ではないが、「健康づくりのパンフレット、教材等の提供」、「健康器具の貸出、配付（血圧計など）」、「講演会や勉強会への講師の派遣、紹介」は、人数の多い方がやや比率が高い特徴がみられる。（図表 2-59）

図表 2-60 【船員の健康づくりの取り組み状況別】 船員の健康づくりを進めるうえで、船員保険からの必要な支援



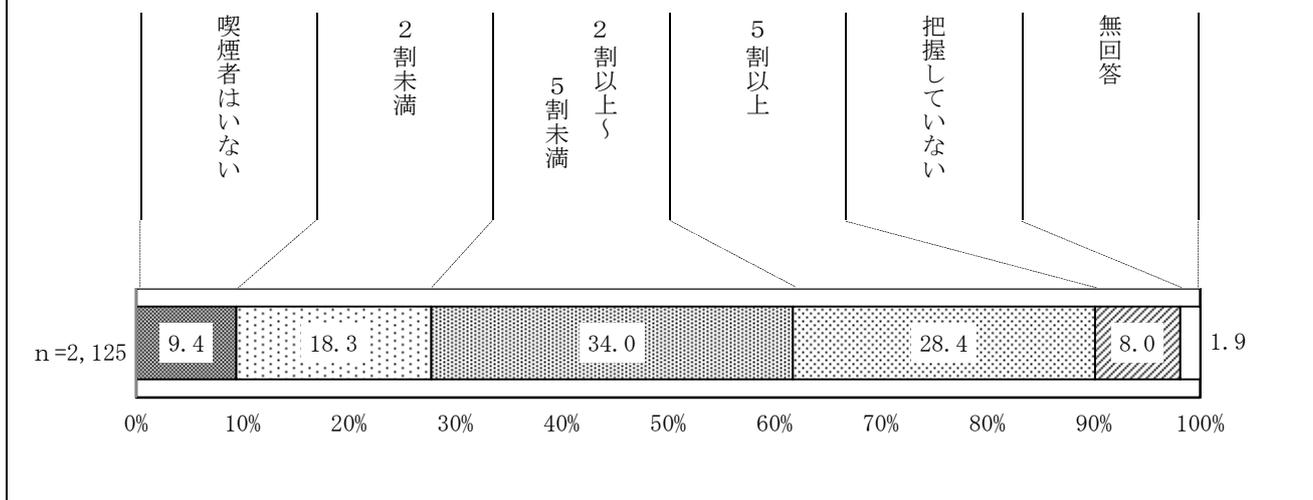
船員の健康づくりの取り組み状況別でみると、全体結果の上位4位はいずれも“今後取り組む予定”で最も高くなっている。(図表 2-60)

(32) 船員の喫煙状況

◆喫煙者は8割強

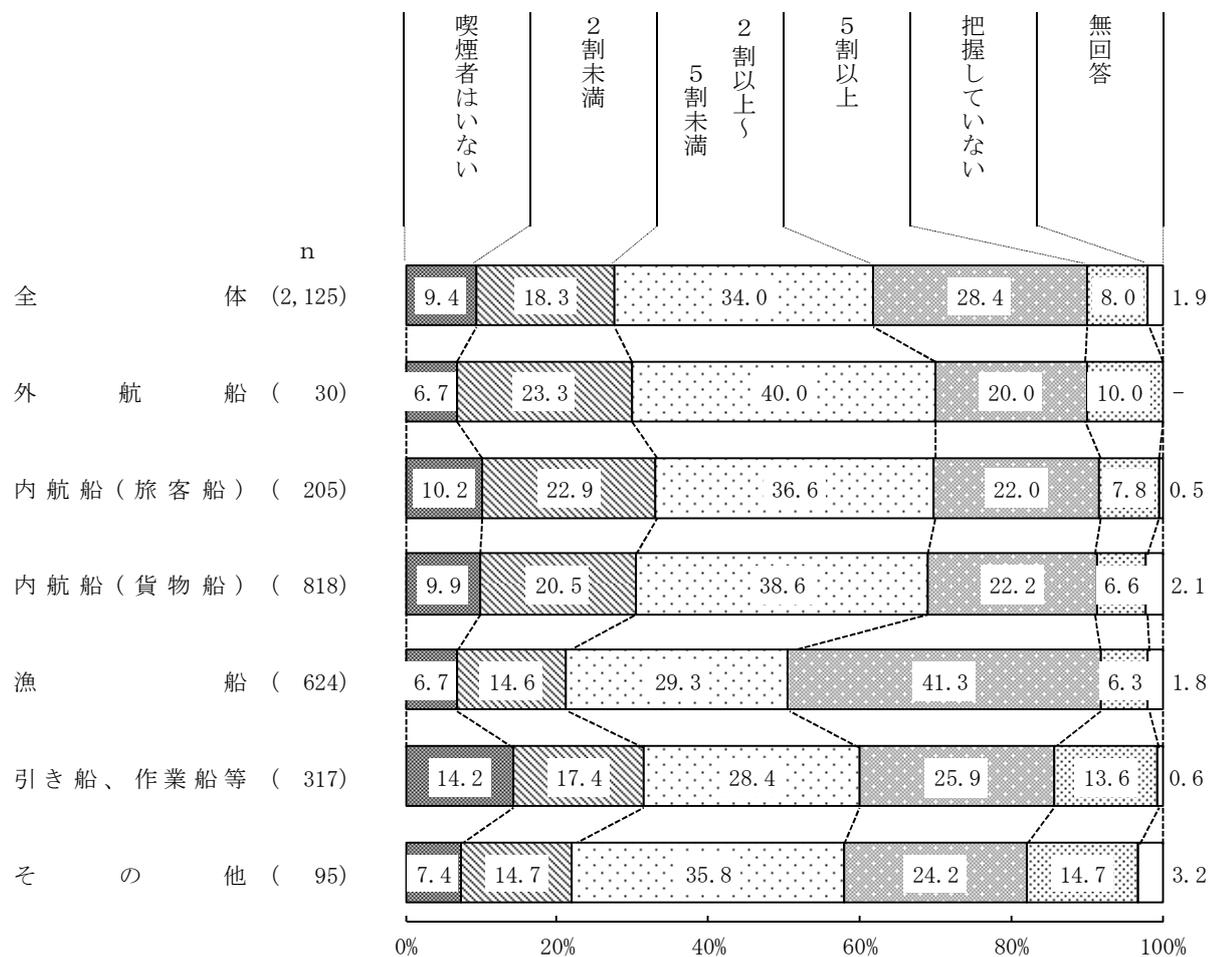
問 32. 船員の中で、喫煙者の方はどのくらいいますか。(○は1つだけ)

図表 2-61 船員の喫煙状況



自社船員の中での喫煙者は全体の8割強を占め、「2割以上～5割未満」が34.0%、「5割以上」も28.4%を占めている。(図表 2-61)

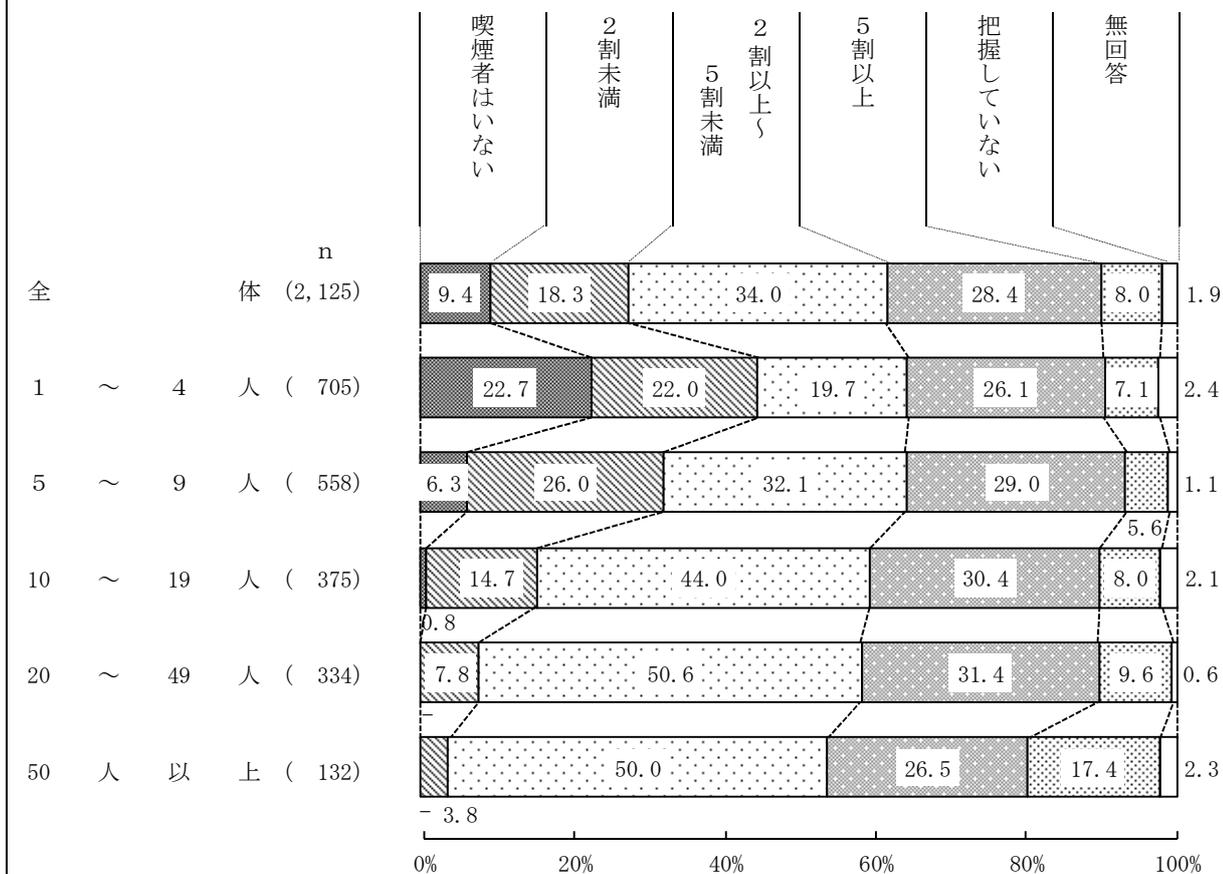
図表 2-62 【所有船の事業内容別】船員の喫煙状況



※《外航船》は調査数（n）が30と少ないため参考数値

所有船の事業内容別にみると、喫煙者の割合は“漁船”で最も高く、「5割以上」は41.3%で、全体結果を10ポイント以上、上回っている。（図表2-62）

図表 2-63 【被保険者数別】船員の喫煙状況



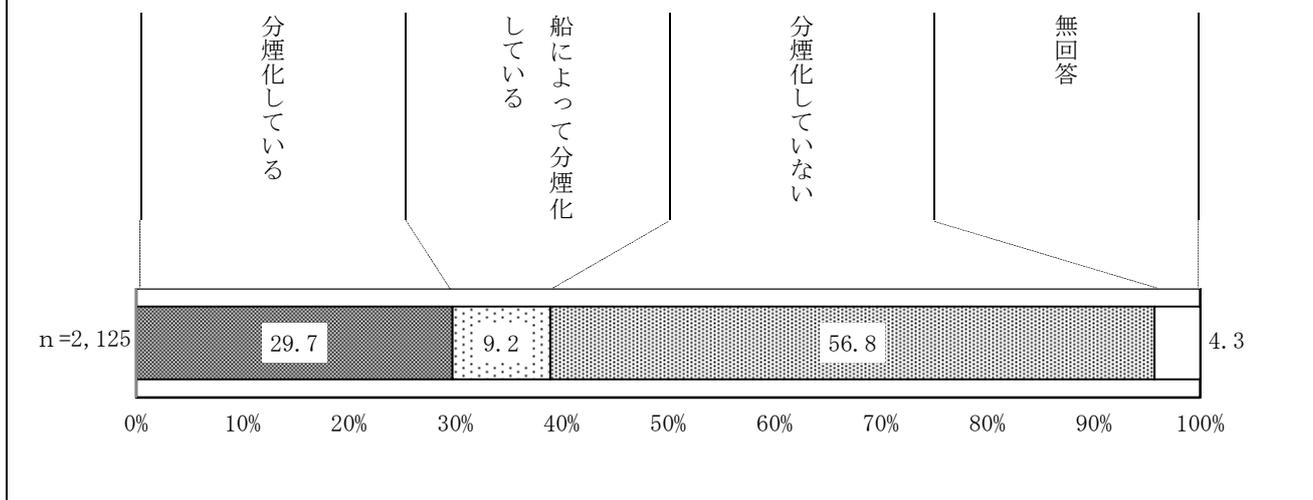
被保険者数別にみると、「5割以上」では差がないが、「2割以上～5割未満」では、「1～4人」19.7%、「10～19人」44.0%、「20人以上」では50%を超えており、「2割未満」は10%に満たない。人数が多くなるにつれ、喫煙者の割合は高くなる傾向がみられる。(図表 2-63)

(33) 船内における分煙への取り組み状況

◆分煙化率は4割弱

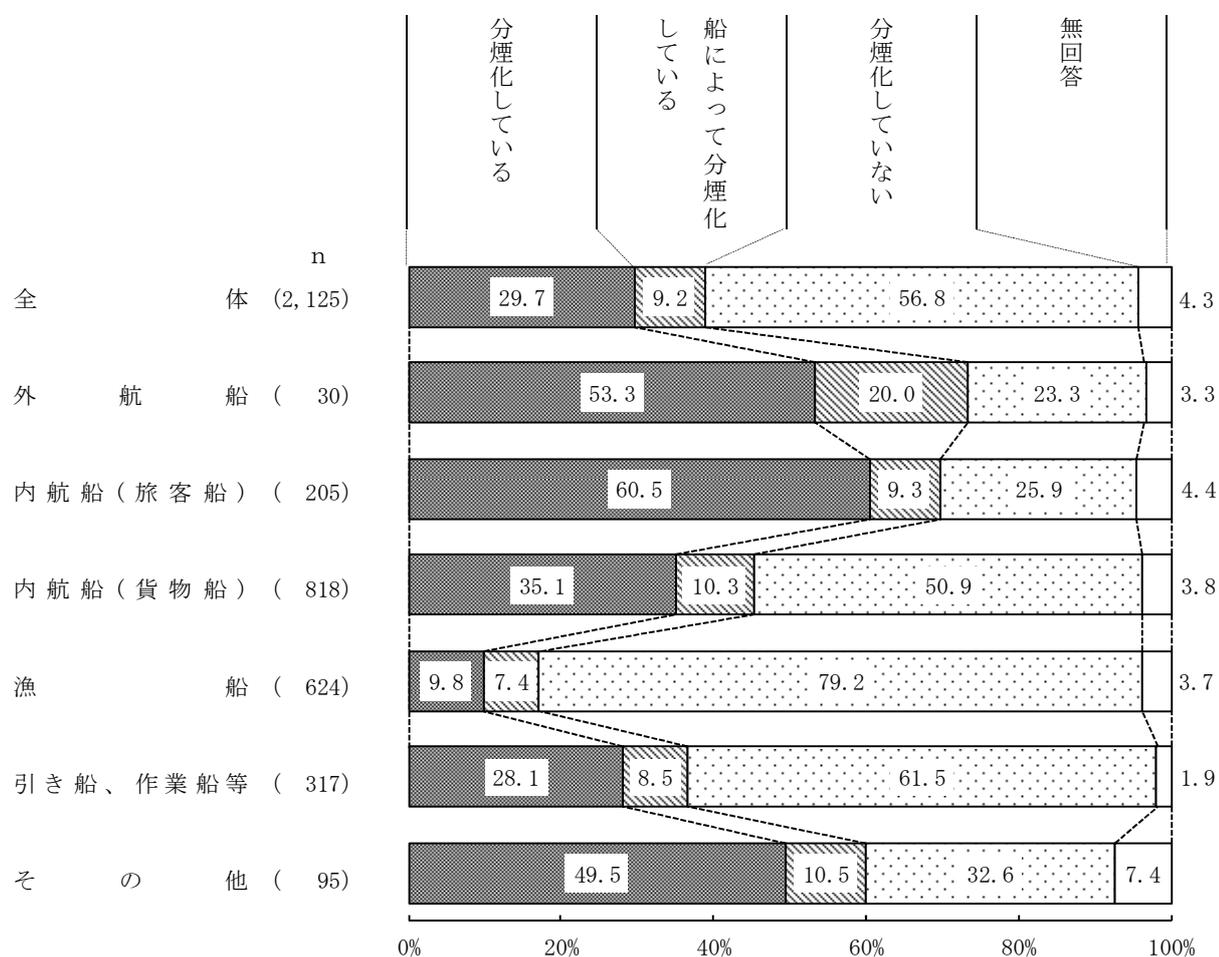
問 33. 個室を除き、船内は分煙化されていますか。(○は1つだけ)

図表 2-64 船内における分煙への取り組み状況



船内の分煙化については、「分煙化している」(29.7%)、「船によって分煙化している」(9.2%)で、合わせた《分煙化》率は4割弱、「分煙化していない」が56.8%である。(図表 2-64)

図表 2-65 【所有船の事業内容別】 船内における分煙への取り組み状況

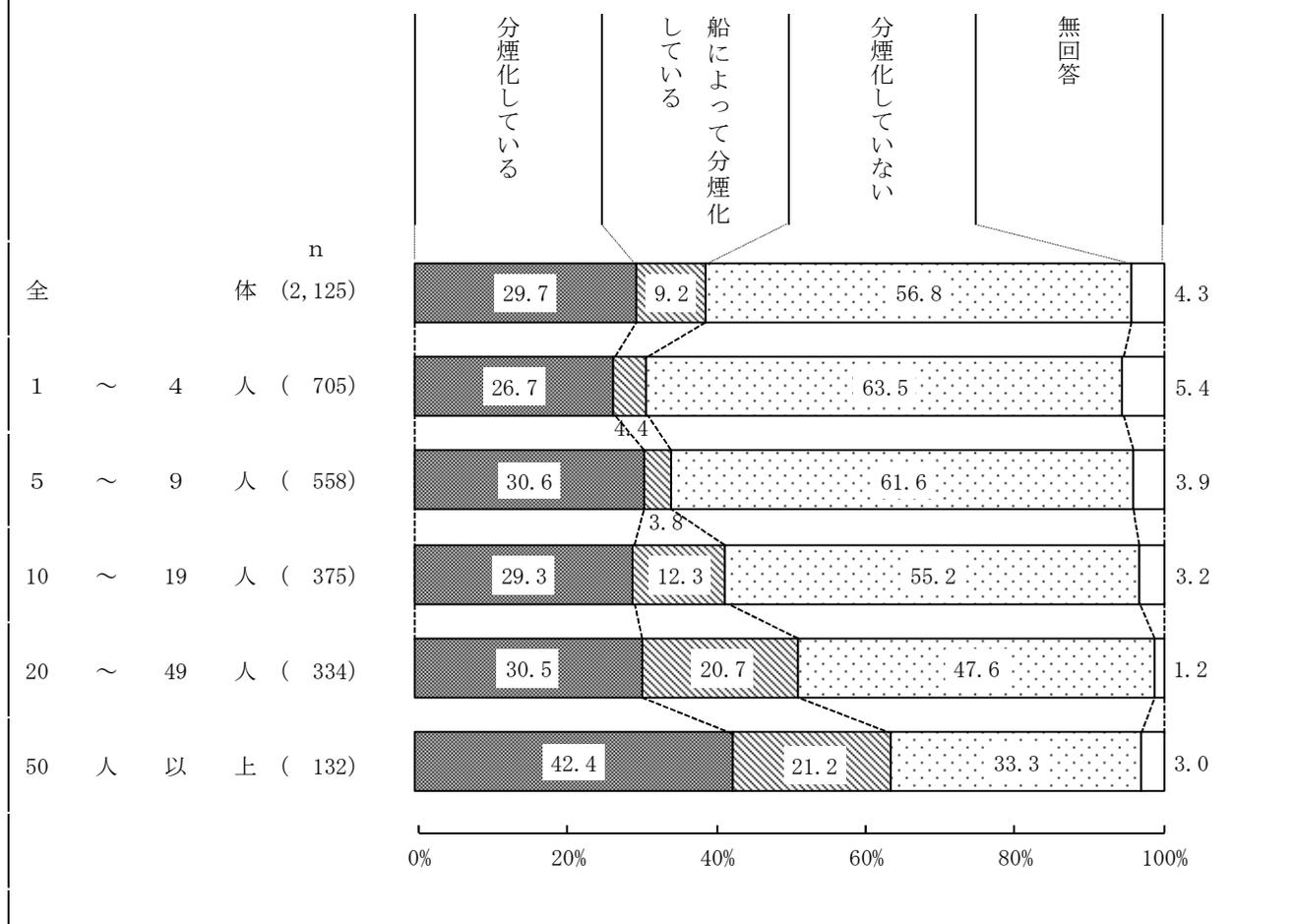


※《外航船》は調査数 (n) が 30 と少ないため参考数値

所有船の事業内容別にみると、分煙化は“外航船”及び“内航船(旅客船)”で特に進んでおり「分煙化している」の割合だけで過半数を占める。

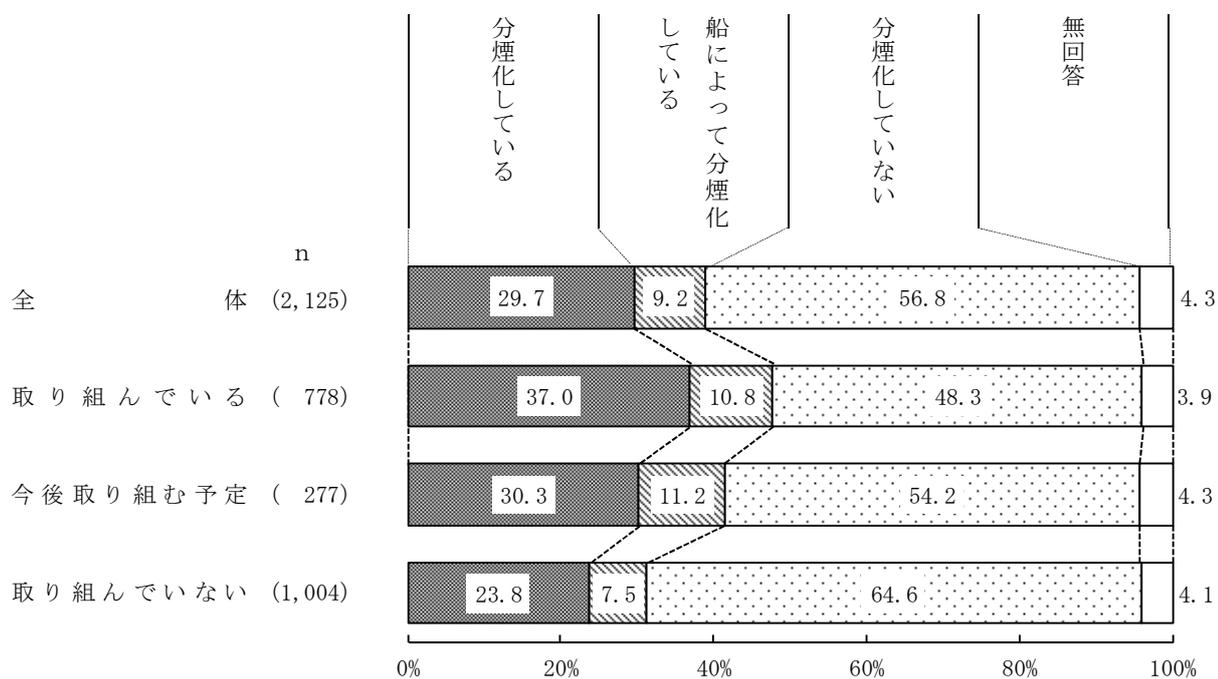
一方、“漁船”は、「分煙化してない」の割合が約8割を占めて、《分煙化》率は2割に満たない。(図表 2-65)

図表 2-66 【被保険者数別】 船内における分煙への取り組み状況



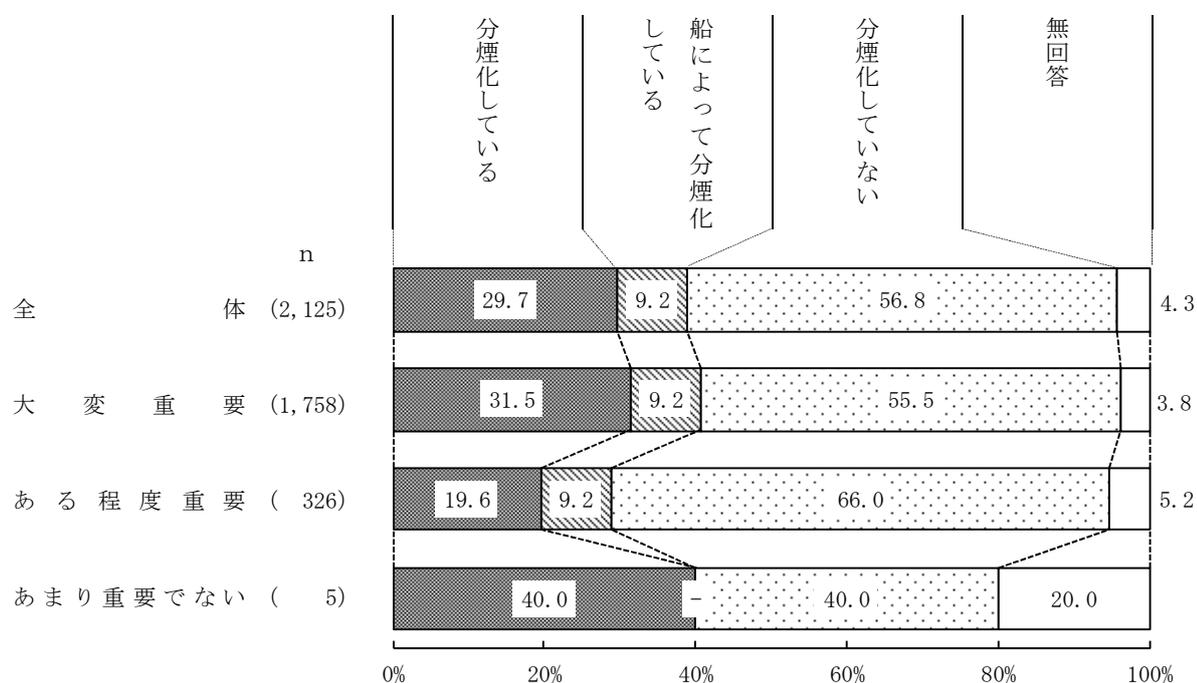
被保険者数別にみると、人数が多くなるにつれ、分煙化の割合は高くなり、非分煙化の割合は低くなる。“50 人以上”では「分煙化している」は 42.4%まで上昇し、「分煙化していない」(33.3%)を約 10 ポイント上回っている。(図表 2-66)

図表 2-67 【船員の健康づくりの取り組み状況別】船内における分煙への取り組み状況



船員の健康づくりの取り組み状況別でみると、“取り組んでいる”では、《分煙化》率が5割弱を占めるなど、取り組み状況が良くなるほど、分煙化は進んでいる傾向がみられる。(図表 2-67)

図表 2-68 【船員の健康に対する意識別】 船内における分煙への取り組み状況



※《あまり重要でない》は調査数 (n) が5と少ないため参考数値

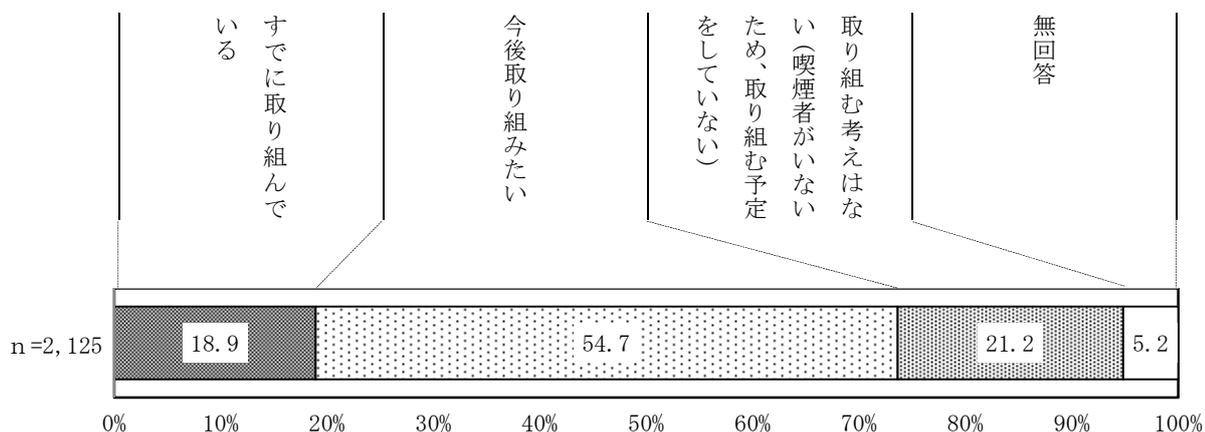
船員の健康に対する意識別では、船員の健康に対し、“大変重要”と“ある程度重要”で比較すると、重要との意識が高い方が、分煙化率は高くなっている。(図表 2-68)

(34) 船内における禁煙運動への取り組み状況

◆《取り組み意向》は7割以上

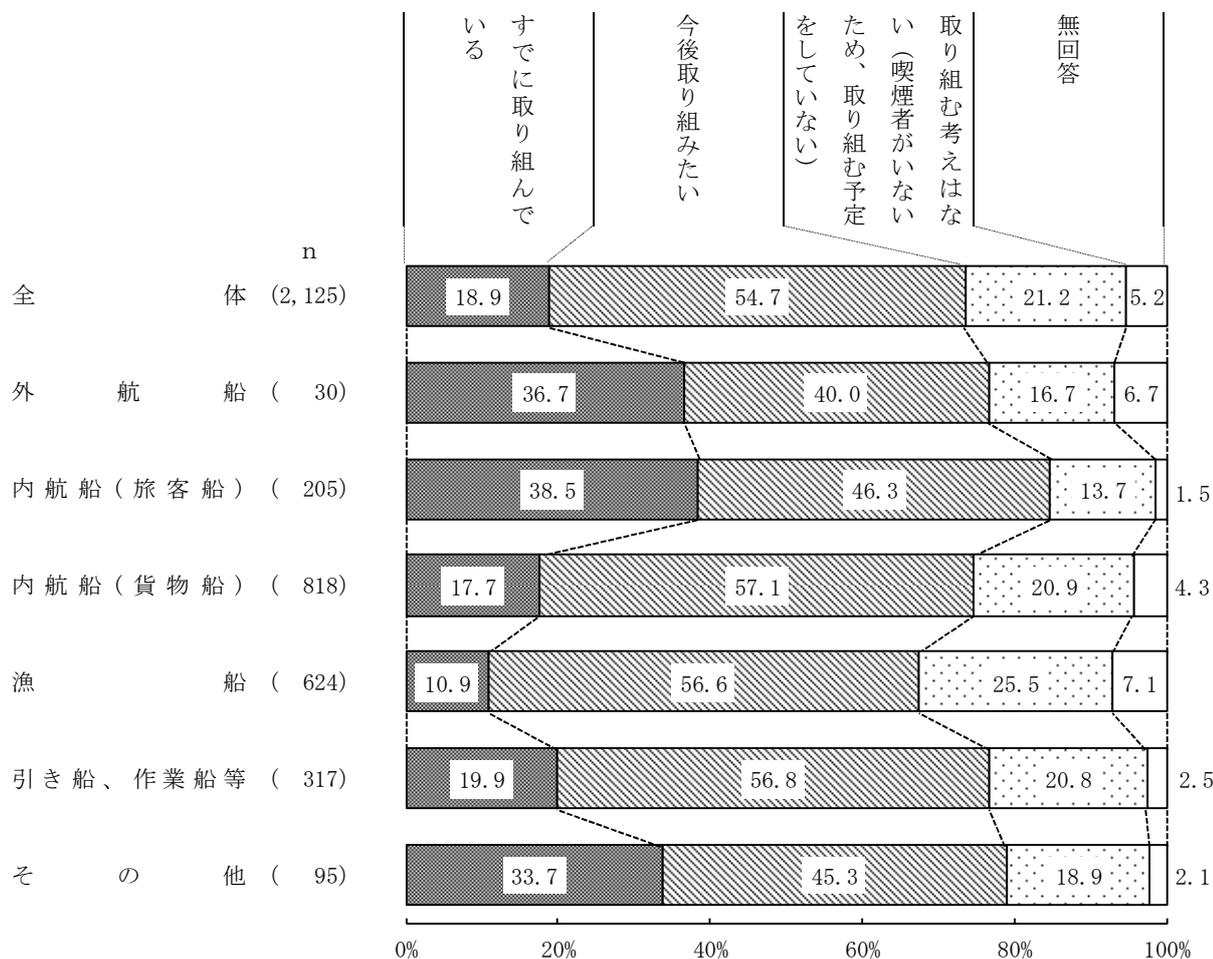
問 34. 事業所として船内の禁煙運動に取り組みたいです。 (○は1つだけ)

図表 2-69 船内における禁煙運動への取り組み状況



今後の船内禁煙運動の取り組みについては、「すでに取り組んでいる」が18.9%、「今後取り組みたい」54.7%で、合わせた《取り組み意向》は7割以上を占めている。(図表 2-69)

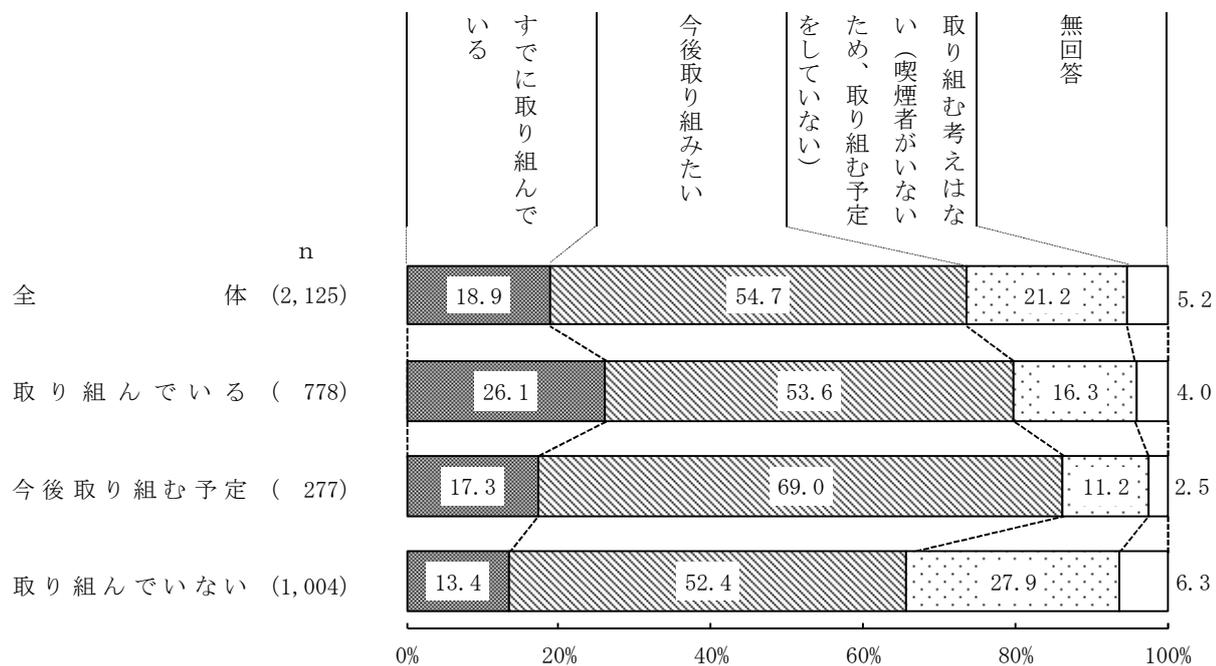
図表 2-70 【所有船の事業内容別】 船内における禁煙運動への取り組み状況



※《外航船》は調査数(n)が30と少ないため参考数値

所有船の事業内容別にみると、「すでに取り組んでいる」の割合は“外航船”及び“内航船(旅客船)”で高く、また、“内航船(旅客船)”では「今後取り組みたい」を合わせた《取り組み意向》が84.8%を占め、高くなっている。(図表2-70)

図表 2-71 【船員の健康づくりの取り組み状況別】 船内における禁煙運動への取り組み状況



船員の健康づくりの取り組み状況別でみると、《取り組み意向》は“今後取り組む予定”で86.3%を占めて最も高くなっている。(図表 2-71)

—— 第3章 意見・要望（自由回答） ——

(1) 健康づくりに関する意見・要望(自由回答)

問 35. その他、健康づくりに関して、ご意見、ご要望などがございましたら、どのようなことでも結構ですので、下の回答欄に、ご自由にご記入ください。

船員保険事業や今回の調査について、意見・要望を自由に記入していただいたところ、143 件の船舶所有者から回答があった。1 人の方が複数の内容を記入している場合もあるため、意見の総件数は 146 件となっている。あげられた意見・要望を 6 項目に分類し、各項目の中から代表的な要望・意見を掲載した。

【自由回答分類別件数】

NO.	内容	件数
1	受診機関・予約制について	33
2	船員の食事・献立に関する情報提供	20
3	健診内容の充実	9
4	巡回健診の充実	6
5	船内でできる運動についての情報提供	5
6	その他	73
合計		146

受診場所の充実・予約制について

- 地方に居住の船員が多い為健診できる施設が少ない。遠方まで出向くのがおっくうになっているようです。乗船中、寄港にて受診できると、受診率も上がるのではないかと考えます。
- 地方では健診、保険指導を受ける医療機関が少ない。
- 健診の出来る医療機関をもっと増やしていただきたい。船員さんは近くの個人病院で船員手帳の健診をしている方が多いのが現実です。
- 生活習慣病予防健診機関が片道 2 時間以上、巡回健診でも片道 1 時間以上かかるので、誰も受診したがりません。陸上の全国健康保険協会の生活習慣病予防健診と同様の医療機関で受診できるように切にお願い申し上げます。
- 生活習慣病の健診を船員にうけさせるよう指導していますが、健診をうける場所が少ないと思います。他県の船員も多いので、健診場所拡大をお願いします。その日に手帳記入してもらえない、毎日船員の健診をやっていない、空いた時間に健診を受け付けてもらえない等、船員からの苦情もでています。

- 利用出来る実施機関が近くにないために、ほとんど、利用出来ていないのが現状です。
- 船舶所有者としては船員さんの健康が何より1番大切な事で所有者としては船員さんが住んでいる住所での健診が出来るように強く希望します（どこでも家の近くの医療機関で診療が出来るようにお願いします）。
- 健診する病院が少ない。
- 生活習慣病予防健診の受診機関の増加。
- 船員保険の生活習慣病予防健診を受診できる医療機関が少ない。
- 生活習慣病予防健診の実施医療機関が近くにないので増やしてほしい。
- 休みが不規則な船員さんはなかなか予約制等ある医療機関に行きづらいところがあります。対象の病院であっても慣れてなかったりして、不便なことがあります。
- 仕事柄、天候によって業務の変更が多い為、事前に予約を取って生活習慣病健診を受けることが難しいです。予約が当日や前日に出来るということなら受診しやすいと思います。
- 県内の指定医療機関（生活習慣病予防健診）が少ない。受診させたいが、1～2ヶ月先の予約になる事が多く、現場との調整が出来ず受診出来ずにいる。指定機関を増やしてもらるか、予約をせめて1ヶ月以内でとれる様な環境を整えてもらいたい。
- 健診費用の負担等の補助は、充実しており、良いと思っているのですが、受診機関の数が少なく遠方であるなど利用しにくい面がある。

船員の食事・献立に関する情報提供

- 食生活が乱れがちになるので、何か簡単なメニューの紹介があればうれしいです。
- 健康づくりは本人の考え方の問題で、会社の方で推進してもなかなかむずかしいものがあると思われます。船内では食事が片寄せたものになりがちです。船員保険の冊子の中で、減塩でバランスのとれた食事の献立などの特集を載せていただけたらと思います。
- 船で料理を作るとなると、手間や時間などかけてられないと思います。食事も健康の為には気をつけないといけないのでしょうか。味も濃い目になってきていると思うし、塩分の取り過ぎが気になります。手間がかからず大人数分をササッと作れる健康メニューレシピ集などがあるといいのではと思います。
- 船内で朝食と昼食を取りますが魚主体で野菜がほとんどありません。これをなんとかしたいと思っています。
- 若手船員が多く、又、食事についても外食が多い傾向が見受けられ、バランスの取れた食生活が取れていないように思われ、今後、10年、20年後迄の蓄積が不安である。現在、ライフワークバランスを推奨しているものの、あくまで自己管理を原則としている為、目標・成果もよくわからないのが現状であり、不安視している。
- 食事のケータリングサービスの支援を検討して欲しい。ほとんどが自炊。
- 作業員が食事作りを兼務しているので栄養のバランスや摂取量にどうしても片寄りがあると感じております。バランスの取れた食事のレシピ等を提供していただければ助かります。

- 船内での給食について、年齢幅が大きいので、高年齢、若年齢共に満足できる献立メニュー、若しくはパンフレットの作成等お願いしたい。
- 漁の間に、缶コーヒー、ジュース、パン、ラーメンなど毎日摂っていますが、嗜好品などの栄養成分、塩分、糖分がどの位含まれているか、わかりやすいパンフレットがあればいいと思います。
- 弊社所有船では賄いは個人でしております。仕事の合間を利用して洗濯、入浴、食事の準備(朝、昼、夜)、買い出しをしなければなりません。それで簡単なインスタント食品を多く食べる様になります。年間9ヶ月をその様な生活をしております。これで健康を維持する事は大変な事です。199～499トンの船員の食生活環境を改善する事が船員の健康管理のうえで一番必要な事だと思います。
- 船内での食事の時間が不規則なので、健康維持のために、気を付けると良い事を教えて下さい。

健診内容の充実

- 船員手帳の健診は年1回受診するので、その時に生活習慣病の予防健診が出来れば合理的だと思う。
- 健診の時、問診で体の調子悪い所を質問し、その専門医(専門病院)を紹介して、早期治療(通院)するように、促す。
- 健診の種類に人間ドックも入れて欲しい。現在の内容よりももっと充実したものが受けられると大変ありがたいと思います。
- 船員手帳健診をもっとくわしく検査項目を増やしてほしい。
- 船員保険からのインフルエンザ予防接種の実施。
- ガン健診、脳の健診なども無料か安く受ける事ができればいいですね。

「巡回健診」の充実

- 巡回健診の回数が増えれば、都合をあわせて行きやすくなる、時季により仕事の忙しさも違うので。
- 健診車で婦人健診等があったらとても助かります。
- 巡回健診車の結果通知が遅いので船員の方から結果の催促がきているのもっと早くなればいかなど。
- 岩手県の小さな港ですが巡回健診(健診車)を時期(各船の休漁期)をみて行っていただきたいです。

船内でできる運動についての情報提供

- 船内で観れるDVDを配布していただくのは、如何でしょうか。
- 船への健康器具などの貸出があると助かります(血圧計)運動不足なので体を動かす器具等も!
- 船員は、不規則な労務形体なので、船内でできる運動をまとめたDVDなどを作成して頂ければ、是非利用させて頂きたいと思えます。
- 船内でできる体操等の情報誌等があれば簡単に始められるので出来る事から施行していきたいと考えます。
- 船内で、1日10～15分でできるような簡単なストレッチ体操をDVDに収録して配布するとか、どうでしょうか。

その他

- 身体の事を考えて健康に気を付けています。
- 月々の活動お疲れ様です。船員の健康を考えて頂きありがとうございます。今後より一層より良くなるよう頑張ってください。
- 会社としても乗組員の健康には気になっている所です。
- 職場の方々も高齢化しているので、大変心配しております。船内で脳卒中等倒れる事例も少ないようです。これは船に限りませんが、これからの問題です。(自己管理が重要)
- 当社の船舶は地方で作業が多いため、東京事務所との対応が大変で沖での仕事も多いため、なかなか船員と対面も出来ないため、船員から意見、要望がもっと聞ければと思います。

第4章 調査票

全国健康保険協会 船員保険部
「船員保険事業（健康づくりの支援）に関するアンケート」

平成 27 年 11 月

ご記入にあたってのお願い

◇本アンケートは、記入日時点の状況について、船舶所有者もしくは代理の方がご回答ください。

◇質問へのご回答は、あてはまる番号に○をつけていただくか、回答欄にご記入いただく形式になります。

回答が「その他」の場合は（ ）内にその内容をご記入ください。

◇選択された回答によっては、次に回答する設問が異なる場合があります。質問文をよくお読みください。

ご回答いただいた調査票は、11月19日（木）までに、同封の返信用封筒（切手不要）によりご返送ください。

お問い合わせ先

株式会社サーベイリサーチセンター

「船員保険事業（健康づくりの支援）に関するアンケート」調査事務局

☎0120-396-740（フリーダイヤル 月～金 9～18時）

はじめに（生活習慣病予防健診とは）

船員保険では、生活習慣病（糖尿病、脂質異常症、高血圧など）の予防等を図り、将来にわたって健康に暮らしていただくために、毎年、35～74歳の被保険者の方、及び40～74歳のご家族（被扶養者）の方を対象に、「生活習慣病予防健診」等の健診事業を実施するなどして、加入者の皆さまの健康づくりの支援に取り組んでいます。

以下では、今後における船員保険事業の運営について検討するうえで参考とさせていただくため、「生活習慣病予防健診」等に関する質問を中心に、船員保険における健康づくりの支援のあり方について、船舶所有者の皆さまのご意見等をお聞きします。

（この下の問1.からお答えください）

問1. あなたは、船員保険が実施している「生活習慣病予防健診」をご存じですか。

（○は1つだけ）

1. 知っている

2. 知らない

問7. へお進みください

問2. ～問3. へお進みください

(問1.で「1.」とお答えの方へ)

問2. この健診をどこでお知りになりましたか。(○はいくつでも)

1. 全国健康保険協会からの広報
2. 船員保険会からの広報
3. 船主団体、加入団体からの広報
4. その他 (具体的に: _____)

(問1.で「1.」とお答えの方へ)

問3. これまでに、自社(船)の船員が生活習慣病予防健診を受診したことがありますか。(○は1つだけ)

1. 受診したことがある
2. 受診したことはない → 問7.へお進みください

(問3.で「1.」とお答えの方へ)

問4. この健診に満足されていますか。(○は1つだけ)

1. とても満足
2. おおむね満足
3. やや不満 → 問6.へお進みください
4. 不満 → 問6.へお進みください

(問4.で「1.」または「2.」とお答えの方へ)

問5. 主に、どのような点に満足されていますか。(○は主なものを3つまで)

1. 健診内容が充実している
2. 健診機関が充実している
3. 船員手帳の「健康証明書」欄に証明を受けることができる
4. 健診車が来てくれる
5. 費用が安い
6. その他 (具体的に: _____)

(問4.で「3.」または「4.」とお答えの方へ)

問6. 主に、どのような点がご不満ですか。(○は主なものを3つまで)

1. 健診内容が不十分である
2. 健診機関が少ない
3. 健診に時間がかかる
4. 予約が面倒である
5. 申込み手続きがわかりにくい
6. 費用が高い
7. その他 (具体的に: _____)

(問7.は、全員がお答えください)

問7. 船員保険では、毎年4月、船舶所有者の皆さまに、貴社(船)の35歳以上の船員の方に渡していただくため、生活習慣病予防健診のご案内パンフレットと健診の受診券をお送りしていますが、お手元に届いていますか。(○は1つだけ)

1. 届いている
2. 35歳以上の船員はいるが、届いているかよくわからない
3. 35歳以上の船員はいないので、届いていない → 問10.へお進みください

問8.へお進みください

(問7.で「1.」とお答えの方へ)

問 8. ご案内パンフレットと受診券は船員の方にお渡しただけにしていますか。

(○は1つだけ)

1. 全員に渡している → 問10.へお進みください

2. 一部の方に渡せていない

3. 渡せていない

(問8.で「2.」または「3.」とお答えの方へ)

問 9. お渡しただけなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 決まった機関で船員手帳健診を受けさせているから

4. 本人に渡す機会がなかったから

2. 健診の受診は個人に任せているから

5. その他

(具体的に：)

3. 自社で生活習慣病予防健診の申込みを取りまとめているから

(問10.～問12.は、全員がお答えください)

問 10. 生活習慣病予防健診は、費用の一部を船員保険が負担するため、船員手帳の健康証明を受けるための健診よりも、安い費用で健診が受けられることをご存じですか。

(○は1つだけ)

1. 知っている

2. 知らない

問 11. 生活習慣病予防健診の実施機関の多くは、船員手帳健診も取り扱っており、受診の際に船員手帳をお持ちいただければ、健康証明も併せて受けられることをご存じですか。

(○は1つだけ)

1. 知っている

2. 知らない

問 12. 船員保険では、前年度に、生活習慣病予防健診を受けなかった方について、船員手帳の「健康証明書」欄の写しのご提供をお願いしていることをご存じですか。

(○は1つだけ)

1. 知っており、提供したことがある → 問14.へお進みください

2. 知っているが、提供したことがない

3. 知らない → 問14.へお進みください

(問12.で「2.」とお答えの方へ)

問 13. 船員手帳の「健康証明書」欄の写しをご提供いただくことが難しい最も大きな理由は何ですか。(○は1つだけ)

1. 提供方法がわからなかった

4. 個人情報を提供することに不安がある

2. 面倒だった

5. 船員の同意を得られなかった

3. 提供することにメリットを感じなかった

6. その他 (具体的に：)

(問16.で「2.」とお答えの方へ)

問20. 船員保険では、特定保健指導の利用率が低い状況にありますが、利用者が少ない最も大きな理由は何だと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|-------------------|
| 1. 仕事が忙しい | 5. サービス内容に魅力を感じない |
| 2. 近くに利用できる実施機関がない | 6. その他 |
| 3. 利用手続きがわからない | (具体的に：) |
| 4. 乗船中は連絡が取れなくなる | |

(問16.で「2.」または「3.」とお答えの方へ)

問21. あなたの会社(船)において、特定保健指導の対象となる方がいた場合、このサービスを利用させてみたいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 利用させてみたいと思う | 2. 利用させてみたいとは思わない |
|----------------|-------------------|

(問22.は、全員がお答えください)

問22. 船員保険では、職場の研修、会合等の場において、保健師等を派遣し無料の健康講座(出前健康講座)を実施していることをご存知ですか。(○は1つだけ)

- | | |
|----------|----------------|
| 1. 知っている | |
| 2. 知らない | → 問24.へお進みください |

(問22.で「1.」とお答えの方へ)

問23. この健康講座を何で知りましたか。(○はいくつでも)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. 全国健康保険協会からの広報 | 4. 船員災害防止協会からの広報 |
| 2. 船員保険会からの広報 | 5. 他の船舶所有者からの情報 |
| 3. 船主団体、加入団体からの広報 | 6. その他(具体的に：) |

(問24.～問26.は、全員がお答えください)

問24. 無料の健康講座(出前健康講座)はどのようなテーマであれば申し込んでみたいと思いますか。(○は主なもの3つまで)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. メタボの予防・改善 | 8. 食生活の改善 |
| 2. 糖尿病 | 9. 腰痛・ひざ痛対策 |
| 3. 脂質異常症 | 10. 船内でできる運動 |
| 4. 高血圧 | 11. 歯の健康 |
| 5. 心臓病 | 12. メンタルヘルス |
| 6. 脳梗塞、脳卒中 | 13. その他 |
| 7. がん | (具体的に：) |

(問29. ~問37. は、全員がお答えください)

問 29. 船員が抱えている健康上の主な課題は何だと思われますか。

(○は主なものを3つまで)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 糖尿病 | 9. 腰痛、ひざ痛 |
| 2. 脂質異常症 | 10. 肩こり |
| 3. 高血圧 | 11. 歯（歯周病など） |
| 4. 肥満 | 12. メンタルヘルス |
| 5. 心臓病 | 13. アルコール依存症 |
| 6. 肝機能障害 | 14. その他 |
| 7. 十二指腸潰瘍、胃潰瘍 | (具体的に：) |
| 8. 腎臓病 | |

問 30. 船員の健康の保持・増進のために、改善を図る必要があると思われる生活習慣上の主な課題は何ですか。(○は主なものを3つまで)

- | | |
|------------------|--------------|
| 1. 喫煙 | 5. アルコール摂取 |
| 2. 運動不足 | 6. メンタルヘルス |
| 3. 休養・睡眠不足 | 7. 交代勤務が多いこと |
| 4. 食生活（栄養の偏り、大食） | 8. その他 |
| | (具体的に：) |

問 31. 自社（船）の船員の健康づくりを進めるうえで、船員保険から、主にどのような支援があればよいと思いますか。(○は主なものを3つまで)

1. 講演会や勉強会への講師の派遣、紹介
2. 健康づくりのパンフレット、教材等の提供
3. 健康診断や保健指導の実施機関の紹介、あっせん
4. 健康器具の貸出、配付（血圧計など）
5. 禁煙に関する取り組みの支援
6. 健康づくりに関する講演会、セミナーの開催
7. 相談会等の開催
8. その他（具体的に：)

問 32. 船員の中で、喫煙者の方はどのくらいいますか。(○は1つだけ)

1. 喫煙者はいない
2. 2割未満
3. 2割以上～5割未満
4. 5割以上
5. 把握していない

船員保険事業(健康づくりの支援)に関するアンケート調査結果
(船舶所有者調査)

平成28年 1 月

【調査主体】 全国健康保険協会 船員保険部
〒102-8016
東京都千代田区富士見二丁目 7 番 2 号 ステージビルディング14階
電話 03-6862-3061

【調査機関】 株式会社サーベイリサーチセンター
〒116-8581
東京都荒川区西日暮里 2 丁目 40 番 10 号
電話 03-3802-6711